

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部窓ナデの後横ナデ。体部窓ナデの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径14.9 器高 5.4	ほぼ完形。No60
口縁部窓ナデの後横ナデ。胴部粗い窓削り。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(15.4) 残存高10.8	口縁部40%、胴上部30%残存。
胴部上半ナデ。下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径13.3 胴部最大径14.1 器高12.4	口縁部60%、胴部90%、底部100%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	褐色	口径16.0 底径 5.0 胴部最大径21.7 器高20.9	口縁部90%、胴部70%、底部100%残存。 No28
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	褐色	口径14.8 底径 5.7 胴部最大径22.3 器高21.3	口縁部70%、胴部60%、底部100%残存。 No15
胴部上半粗いナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径15.4 残存高15.4	口縁部70%、胴上部40%残存。No19、 20、45
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径16.8 胴部最大径19.2 残存高19.2	口縁部・胴部70%残存。No23
胴上部指ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径(14.2) 残存高 5.5	口縁部30%、胴上部10%残存。
口縁部窓ナデの後横ナデ。胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 粗砂粒	褐色	口径17.6 残存高 5.4	口縁部50%残存。 No23、24
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径16.6 残存高 4.7	口縁部80%残存。 No57。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径17.7 残存高 5.6	口縁部70%、胴上部10%残存。No47
口縁部窓ナデの後横ナデ。胴部丁寧なナデ。脚台部窓ナデの後布によるナデ。脚台部に布目を残す。	A + B + C + D + F + 粗砂粒	赤褐色	口径16.8 底径11.0 胴部最大径21.6 器高29.7	口縁部・胴部70%、脚台部100%残存。
胴部ナデ。接合部に高杯と同様のホゾをもつ。	A + B + C + D + 粗砂粒	褐色	口径15.2 胴部最大径21.1 残存高23.5	口縁部90%、胴部70%残存。No46

器種	番号	形 細 の 特 徴	外 面 の 観 察
台付甕	47	脚端部に折り返しをもつが、S字型の折り返しとは異なる。	脚台部粗いナデ。
台付甕	48	器内が厚く作りが雑である。	脚台部粗いナデ。
台付甕	49	脚端部に折り返しをもたない。	脚台部ナデ。
台付甕	50	脚端部に折り返しをもたない。	胴下部範削り。脚台部ナデ。
台付甕	51	脚端部に折り返しをもたない。	胴下部範削りか。脚台部ナデ。
台付甕	52	脚端部内面に折り返し様に粘土接合痕をもつ。	脚台部ナデ。
甕	53	平底を呈すが底部の作りが雑。	胴部範削りの後ナデ。底部粗い範削り。
甕	54	平底を呈す。	胴中央部範削りの後ナデ、下部範削り。底部範削り。胴部に黒斑。
甕	55	平底を呈す。胴部はやや長胴を呈すと思われる。	胴部範削りの後ナデ。底部粗い範削り。

137 号住居跡出土土器（第 113 図）

小型甕	1	胴部最大径を中央部にもつが肩部が張らず下彫れの感を呈す。底部は上げ底。	胴上部ナデ、中央部・下部範磨き。底部ナデ。
甕	2	胴部が浅く、口縁部が大きく開く。底部僅かに窪む。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部範削り。底部ナデ。

138 号住居跡出土土器（第 115 図）

甕	1	口縁部内彎気味に開く。胴部が浅い。	口縁部横ナデ。胴部範削り。
甕	2	口縁部と胴部の境に先の丸い棒状工具で沈線を入れて段をつくる。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデか。
甕	3	口縁部直線的に開き端部は平坦。	口縁部ハケ目整形の後上半を横ナデ、下半をナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
脚台部指ナデ。折り返しには指頭による押えはみられない。	A+B+C+D+小砾	灰褐色	底径11.0 残存高 6.0	脚台部70%残存。 No.61
脚台部粗いナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	褐色	底径 8.9 残存高 6.1	脚台部80%残存。焼成不良。
脚台部丁寧なナデ。底部はナデで黒色を呈す。	A+B+C+D+F+粗砂粒	赤褐色	底径12.3 残存高 7.0	脚台部70%残存。 No.9
底部ナデ。脚台部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	橙褐色	底径10.6 残存高 7.9	脚台部70%残存。 No.4、6
脚台部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	底径(10.4) 残存高 6.0	脚台部60%残存。 No.62、64
底部範削りの後ナデか。脚台部粗い指ナデか。脚端部内面弱い指頭による押え。	A+B+C+D+粗砂粒	橙褐色	底径 5.5 残存高 6.7	脚台部80%残存。 No.8
胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	底径 6.4 残存高13.2	胴部下半40%、底部70%残存。 No.18、20、21
胴部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	褐色	底径 6.4 残存高10.9	胴部下半30%、底部100%残存。
胴部僅かに粘土接合痕を残すが、丁寧にナデている。	A+B+C+D+粗砂粒	褐色	底部 6.4 残存高17.2	胴部下半40%、底部100%残存。

胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	底径 3.1 胴部最大径11.6 残存高 7.7	胴部90%、底部100%残存。No.1
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	底径 9.0 胴部最大径 7.2 残存高 3.4	胴部70%、底部100%残存。No.2

胴部粗いナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(14.4) 残存高 5.3	口縁部30%残存。 No.1
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径 5.8 残存高 4.6	口縁部20%残存。 No.1
口縁部横ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色	口径(17.6) 残存高 7.2	口縁部10%残存。 No.1

139 号住居跡出土土器 (第117・118図)

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
甕	1	口縁部直線的に開く。最大径を胴部中央にもつ。底部はドーナツ状に粘土を貼付し、弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部指ナデ、下部笠削りであるが部分的にハケ目整形痕を残す。底部ナデ。
甕	2	胴部最大径を中央部より上にもつ。	胴部上端のみ粗いハケ目整形痕を残すが他は粗い笠削り。底部粗い笠削り。
台付甕	3	口縁部外反し最大径を胴部中央にもつ。脚端部内面には折り返しをもたず、粘土接合痕を残す。	口縁部横ナデ。胴部は笠削りし上端のみ後でナデ。脚台部ナデ、端部のみ笠削り。
台付甕	4	口縁部外反し最大径を胴部中央にもつ。脚端部内面には折り返しをもたない。	口縁部横ナデ。胴部は笠削りの後上部のみナデ。脚台部ナデ。
甕	5	口縁部直立気味に開く。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。
台付甕	6	脚端部に折り返しをもたない。	胴部ナデ。脚台部ナデ。
台付甕	7	口縁部外反気味に開き最大径を胴部中央にもつ。脚端部内面に折り返しをもたない。	口縁部横ナデ。胴部は笠削りし上部のみ後でナデ。脚台部ナデ。

140 号住居跡出土土器 (第120図)

甕	1	口縁部外反。最大径を胴中央部より僅かに下にもち下彫れを呈す。	口縁部横ナデ。胴部粗い笠削り。
小型甕	2		口縁部指頭による押え。顯著に指紋を残す。頸部のみ横位のナデ。胴上部粗い指ナデか。
甕	3	口縁部外反。胴部は下彫れを呈すと思われる。	口縁部横ナデ。胴部笠削り。
甕	4	口縁部外反。最大径を胴中央部より僅かに下にもち下彫れを呈す。	口縁部横ナデ。頸部に笠跡残す。胴部笠削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径19.6 底径 8.0 胴部最大径28.7 器高28.7	口縁部50%、胴部60%、底部100%残存。 No.5
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 7.0 胴部最大径21.4 残存高21.5	胴部60%、底部100%残存。No.4
口縁部籠ナデの後横ナデ。胴部丁寧なナデ。脚台部粗い指ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	褐色	口径16.5 底径10.5 胴部最大径24.5 器高33.4	口縁部40%、胴部60%、脚台部100%残存。 No.1
胴部ナデ。脚台部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	褐色 (黒色)	口径(15.9) 底径10.0 胴部最大径21.2 器高28.3	口縁部30%、胴部40%、脚台部100%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径(16.8) 残存高14.0	口縁部30%、胴上部20%残存。
胴部籠ナデ。脚台部籠ナデ。接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付。	A+B+C+D+粗砂粒	茶褐色 (橙褐色)	底径11.8 残存高10.4	胴下部80%、脚台部100%残存。No.6、7
胴部丁寧なナデ。脚台部籠ナデの後ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	淡褐色 (橙褐色)	口径14.1 底径 9.5 胴部最大径19.8 器高25.8	口縁部30%、胴部60%、脚台部100%残存。 No.3

胴部に粘土接合痕を残す粗いナデ。	A+B+C+D+小砾	赤褐色	口径(17.1) 胴部最大径25.4 残存高25.6	口縁部30%、胴部40%残存。No.1、2、3
口縁部指頭による粗い押え。胴上部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色 (赤褐色)	口径10.1 残存高 6.4	口縁部60%、胴上部40%残存。No.1、2、3
胴部ナデ。	A+B+C+D+小砾	褐色	口径(16.0) 残存高14.1	口縁部30%、胴上半部70%残存。No.1、2、3
胴部ナデ。	A+B+C+D+小砾	褐色 (淡褐色)	口径15.6 胴部最大径19.6 残存高18.0	口縁部90%、胴部60%残存。No.1、2、3

器種	番号	形態の特徴	外 面 の 観 察
S字甕	5	S字状の口縁の上に更に口縁部を形成する。	口縁部不明。胴部ハケ目調整か。
甕	6	上げ底を呈す。底部を粘土で充填してつくる。	胴下部ナデ。底部ナデ。
高杯	7	口縁部内反気味に開き杯部が浅い。	口縁部横ナデ。杯下部範削りの後ナデ。
S字甕	8	端部に面をもつ。	口縁部横ナデ。胴部ハケ目調整。
S字甕	9	端部に段をもつ。	口縁部横ナデ。胴部不明。
台付甕	10	胴端部は折り返しをもたない。	胴下部範削り。接合部横方向のナデ。接合部範削りの後端部のみ横方向のナデ。

145 号住居跡出土土器（第122・123図）

壺	1	口縁部外反し、端部は平坦。胴部は球形を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半丁寧なナデ、下半範削り。
壺	2	口縁部二段に外反する。端部は上下に肥厚する。	口縁部横ナデ。頭部ハケ目整形の後ナデ。
小型壺	3	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。
壺	4	平底を呈す。	胴部ナデ、部分的に指ナデ。底部ナデ。
甕	5	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部ナデ、部分的に指ナデか。
甕	6	口縁部直線的に開く。最大径を胴中央部より僅かに下にもち、下影れを呈す。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部以下は範削りの後ナデ。
甕	7	口縁部外反する。胴部はやや下影れの感を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部・中央部範削りの後ナデ、下部範削り。
小型甕	8	口縁部外反気味に開く。底部は平底。	口縁部横ナデ。胴上部範削りの後ナデ、中央部・下部範削り。底部範削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	残存高 4.9	口縁部10%残存。 No.1
底部指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	底径 6.2 残存高 4.2	底部70%残存。No.1, 2
杯底部範ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径18.8 残存高 5.1	杯部40%残存。No.1
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	口径(15.6) 残存高 3.7	口縁部20%残存。 No.3
胴部範削りか。	A + B + C + D + 小疋	灰色	口径(13.6) 残存高 3.1	口縁部20%残存。 No.1
底部指ナデ。脚台部範削り。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	底径 (8.6) 残存高 8.4	脚台部20%残存。 No.1

胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色 (黄褐色)	口径(17.5) 胴部最大径28.2 残存高26.2	口縁部40%、胴部60% 残存。No.8
頸部器面の剥離が著しく不明。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径(11.2) 残存高 9.1	口縁部30%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径 9.2 残存高 6.4	口縁部80%、胴上部 20%残存。
胴部ナデ、部分的に範削りの後ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	底径 9.0 残存高19.9	胴部下半60%、底部 100%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色 (黒色)	口径(17.2) 残存高 6.1	口縁部20%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + E + 細砂粒	橙褐色	口径17.4 胴部最大径23.0 残存高17.6	口縁部70%、胴部40% 残存。No.11
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(16.6) 胴部最大径20.2 残存高20.1	口縁部40%、胴部30% 残存。
胴部粗いナデ。底部のみ範ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径14.0 底径 6.1 胴部最大径15.2 器高14.4	ほぼ完形。No.10

器種	番号	形 細 の 特 微	外 面 の 観 察
壺	9	口縁部が長く、端部近くで内彎気味に開く。丸底を呈すと思われる。	口縁部横ナデか。胴部上半ナデ、下半笠削り。
壺	10	胴部最大径が口径を凌ぐ。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部・底部ナデ。
杯	11	口縁部で僅かに内屈する。底部は平底。	口縁部横ナデ。体部ナデ。底部笠削り。 口縁部・体部に黒斑。
高 杯	12	口縁部直線的に開き、端部は弱い凹面を呈す。杯部にしっかりとした段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部笠削りの後ナデか。
高 杯	13	口縁部直線的に開く。杯部に弱い段をもつが、かなり乱れている。	口縁部横ナデ。杯下部不明。口縁部に黒斑。
高 杯	14	脚端部が反る。	柱状部笠削りの後ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	15	裾部が水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	16	裾部が水平に開く。	口縁部横ナデか。杯下部・柱状部笠削りの後ナデか。裾部横ナデ。
碗	17	口縁部で外折する。底部は平底。	口縁部横ナデ。体部ナデ。底部笠削りの後ナデ。
瓶	18	口縁部外反する。最大径を胴中央部より僅かに下にもつ。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部丁寧なナデ、下部笠削りの後ナデ。孔端部笠削り。口縁部から胴部にかけて黒斑。

152 号住居跡出土土器（第125～131図）

壺	1	二重口縁を呈すが屈曲が弱く、直立気味に立ち上がりて内彎気味に開く。	口縁部横ナデ。頸部横位のナデ。
壺	2	底部突出する。後で粘土を貼付して作ったものか。	胴部笠削りの後ナデ。底部笠削り。
小型壺	3	胴部最大径を中央より下にもも窄まって底部に至る。	胴部上半笠削りの後ナデ、下半笠削り。 底部笠削り。
小型壺	4	胴部最大径を中央部より下にもつ。底部の作り雑。	胴部笠削りの後ナデ。底部笠削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径10.4 胴部最大径 8.8 残存高11.6	口縁部30%、胴部60%残存。No.4
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径(5.5) 胴部最大径 7.2 残存高 6.1	口縁部50%、胴部80%、底部30%残存。
体部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径(11.3) 底径 6.7 残存高 4.9	口縁部30%、体部40%、底部50%残存。 No.5
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径21.8 残存高 6.8	杯部80%残存。No.11
杯底部不明。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径19.2 残存高 5.0	杯部60%残存。
柱状部・ホゾの近くのみを範削り。他は紋り目を残すがその上をナデている。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径(13.9) 残存高10.1	柱状部100%、裾部60%残存。No.2
柱状部範削りの後ナデ。ホゾの頭を洗す。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径14.1 残存高 9.8	柱状部100%、裾部10%残存。No.12
杯底部ナデ。柱状部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径(13.0) 残存高11.0	柱状部100%、裾部10%残存。No.5
体部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径 9.6 底径 6.4 器高 8.4	口縁部70%、体部・底部100%残存。 No.14
胴部ナデ。孔端部周辺範削り。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径19.0 胴部最大径26.2	口縁部80%、胴部70%残存。No.5, 6, 8

頸部横位のナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(16.8) 残存高 5.5	口縁部10%残存。
胴部ナデ。底部範ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色 (橙褐色)	底径 4.1 残存高12.2	胴部下半30%、底部100%残存。
胴部上半指頭による押え。底部範ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径 3.6 胴部最大径16.9 残存高12.7	胴部60%、底部100%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径 6.6 残存高 6.7	胴部下半60%、底部80%残存。

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
小型壺	5	口縁部外反気味に開く。丸底を呈す。口縁部の器内が薄く全体的に丁寧に作られている。	口縁部横ナデ。胴部上半窓削りの後丁寧にナデ、下半窓削り。
小型壺	6		口縁部横ナデ。胴部上半丁寧なナデ。
小型壺	7	口縁部直線的に開く。丸底を呈す。作りが丁寧で器肉が薄い。	口縁部横ナデ。胴上部丁寧なナデ、中央部・下部窓削りの後ナデ。器面がやや荒れている。口縁部・胴上部上端には暗文状の窓磨きの可能性有り。胴中央部から下部にかけて黒斑。
小型壺	8	口縁部直線的に開く。胴部中央が強く張り出し、丸底を呈す。	口縁部横ナデと思われる。胴部上半ナデ、下半窓削りの後ナデか。器面が荒れています。
小型壺	9	口縁部外反気味に開き、胴部はほぼ球形を呈す。平底を呈す。	口縁部横ナデか。底部窓削りか。器面が荒れています。
壠	10	二重口縁を呈し二段に外反する。上げ底を呈す。	口縁部横ナデの後暗文状の窓磨き。頸部窓削りの後ナデその後暗文状の窓磨き。胴部窓削りの後ナデその後上部から中央部にかけて暗文状の窓磨き。底部ナデ。
壠	11	頸部が細く口縁部が内灣気味に強く開く。胴部最大径を中心より下にもつ、下膨れを呈す。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部窓削り。底部ナデ。
壠	12	口縁部外反する。上げ底を呈す。口径に最大径をもつ。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削り。底部ナデ。
壠	13	口縁部外反する。胴部最大径を中央にもつ。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削りの後ナデか。
壠	14	口縁部外反気味に開く。胴部最大径を中央より上にもつ。平底を呈す。作り難。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部・下部窓削り。底部窓削りの後ナデ。
壠	15	口縁端部近くで僅かに内屈する。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径13.4 胴部最大径14.9 器高15.6	口縁部60%、胴部100%残存。No.49
胴部上半ナデの後指頭による抑え。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(14.4) 残存高11.5	口縁部40%、胴部上半30%残存。No.22, 26
胴部丁寧なナデ。口縁部に暗文状の範磨きの可能性有り。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径14.8 胴部最大径16.1 器高17.1	口縁部90%、胴部80%残存。No.45
胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+F	茶褐色	口径14.0 胴部最大径14.1 器高14.0	口縁部・胴部70%残存。
胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(11.1) 底径 2.8 胴部最大径11.8 器高12.5	口縁部20%、胴部・底部100%残存。No.8
口縁部横ナデ。頸部分的に範削りの後ナデその後暗文状の範磨き。胴部やや粗いナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径11.2 底径 3.0 胴部最大径 9.9 器高11.8	ほぼ完形。No.47
胴部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	橙褐色	口径11.3 底径 2.3 胴部最大径 9.8 器高11.6	口縁部90%、胴部40%、底部100%残存。No.2, 3, 16, 21
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部粗いナデ。	A+B+C+D+F	赤褐色	口径11.2 底径 2.3 胴部最大径 8.6 器高 9.6	口縁部50%、胴部70%、底部100%残存。No.48 焼成不良。
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径 9.5 胴部最大径 9.1 器高10.2	口縁部50%、胴部70%残存。No.5%
胴部ナデ。	A+B++C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径10.7 底径 3.4 胴部最大径 9.8 器高10.5	完形。No.22
胴部指ナデ。底部中央が突出する。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径 9.7 胴部最大径 9.5 器高10.3	口縁部90%、胴部100%残存。No.43

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
埴	16	口縁部内反気味に開く。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部窪削り。火を受けて器面が荒れている。
埴	17	口縁部外反する。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部窪削り。
埴	18	口縁部外反気味に開く。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窪削り。底部ナデ。
埴	19	口縁部直線的に開く。胴部は球形を呈し、丸底。	口縁部横ナデの後暗文状の窪靡き。胴部窪削り。
埴	20	口縁部直線的に開き、頭部内面の稜が鋭い。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部窪削り。
埴	21	口縁部外反気味に開く。最大径を胴部中央にもつ。器面に光沢をもつ。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部窪削りの後ナデ。
埴	22	口縁部外反気味に開く。最大径を胴部中央よりも下にもち、上げ底を呈す。	口縁部ハケ目整形の後ナデ。胴上部ハケ目整形の後ナデ、中央部窪削りの後ナデ、下部窪削り。底部ナデ。
埴	23	口縁部直線的に開く。胴部最大径を中央にもち、上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。頭部指頭による押え。胴部上半ナデ、下半窪削り。底部窪削り。
埴	24	口縁部外反する。胴部はソロバン玉状を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窪削り。
埴	25	口縁部外反する。胴部最大径を中央にもち、弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部窪削りの後ナデ、下部窪削り。底部ナデ。
小型壺	26	胴部最大径を中央より下にもち、肩部の張りが弱く下膨れを呈す。胴上部に1孔有す。	胴部上半丁寧なナデ、下半窪削りの後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部不明。胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色 (灰 色)	口径(10.4) 胴部最大径 9.6 器高 10.5	口縁部30%、胴部100%残存。No.37
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径 10.1 底径 3.2 胴部最大径 9.6 器高 9.6	完形。No.46
胴部下半指ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径 9.5 底径 4.0 胴部最大径 9.2 器高 9.4	口縁部70%、胴部・底部 100% 残存。 No.52
口縁部横ナデの後暗文状の笠磨き。胴部指ナデ、上端は指頭による押え。	A + B + C + D + F	赤褐色	口径 (8.3) 胴部最大径 9.5 器高 10.2	口縁部30%、胴部60%残存。No.1
胴部上半ナデ、下半粗いナデ。	A + B + C + D + E + 細砂粒	橙褐色	口径 9.1 胴部最大径 8.9 器高 9.1	口縁部60%、胴部100%残存。No.39
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径 9.6 胴部最大径 9.8 器高 10.0	口縁部80%、胴部60%残存。No.22, 26, 27, 28
口縁部笠ナデの後横ナデ。胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径 10.3 底径 3.6 胴部最大径 10.7 器高 10.9	完形。No.30
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径 10.3 底径 2.8 胴部最大径 9.2 器高 9.3	口縁部30%、胴部70%、底部100%残存。
胴部上半ナデ、下半笠ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径 9.8 胴部最大径 9.8 器高 9.8	口縁部30%、胴部・底部100%残存。No.16
口縁部横ナデ。胴部ナデ。	A + B + C + + D + 細砂粒	赤褐色	口径 8.5 底径 3.2 胴部最大径 8.0 器高 8.3	完形。No.36
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	胴部最大径 11.1 残存高 6.9	胴部70%残存。No.10

器種	番号	形 素 の 特 徴	外 面 の 観 察
小型壺	27	口縁部S字状を呈すが段部が弱い。	口縁部横ナデ。胴部上半箄削りの後ナデか。下半箄削り。
小型壺	28	口縁部立ち上がり気味に開く。底部の作り難。	口縁部指頭による押えの後横ナデ。胴部上半ナデ、粘土接合痕を残す。胴部下半箄削り。底部箄削り。
高 杯	29	口縁部・裾部共に二段に外反する。	口縁部上段横ナデ、下段横位のナデ。杯下部箄削り。柱状部箄磨き。裾部上段横位のナデ、下段横ナデ。
高 杯	30	口縁部外反し段が鉗状に突出する。	口縁部横ナデの後暗文状の箄磨き。杯下部ナデの後暗文状の箄磨き。
高 杯	31	柱状部から裾部へゆるやかに移行して開く。脚端部は平坦。	杯下部ナデ。柱状部下半から裾部にかけてナデないし横ナデの後粗い暗文状の磨箄き。
高 杯	32	柱状部から裾部への屈曲はゆるやかで、裾部は内灣氣味に開く。	柱状部箄削りの後ナデか。裾部横ナデか。器面が荒れている。
高 杯	33	口縁部直線的に開き、杯部に段をもつ。裾部は水平に開く。	口縁部横ナデか。杯下部・柱状部ナデか。裾部横ナデか。器面がかなり荒れている。全面暗文状の箄磨きの可能性り有。
高 杯	34	口縁端部近くで僅かに外方向へ屈曲。杯部に小さい段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部箄削りの後ナデ。柱状部ナデ。裾部横ナデ。口縁部に黒斑。
高 杯	35	裾部水平に開く。	柱状部ハケ目整形の後ナデ。裾部ハケ目整形の後横ナデ。
高 杯	36	口縁部内湾氣味に開く。杯部に鋭い稜をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	37	口縁部外反し、杯部の段が弱い。	口縁部横ナデの後暗文状の箄磨き。杯下部ナデの後暗文状の箄磨き。柱状部ナデの後暗文状の箄磨き。裾部横ナデの後暗文状の箄磨き。
高 杯	38	口縁部外反する。杯部は浅く段がしっかりしている。	不明。器面が摩滅して荒れている。
高 杯	39	口縁部外反する。杯部は浅く段がしっかりしている。	口縁部横ナデ。柱状部不明。器面が摩滅して荒れている。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径11.0 胴部最大径11.1 器高 9.5	口縁部60%、胴部70% 残存。No54
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径 9.6 底径 3.2 胴部最大径10.7 器高 9.2	完形。No32
口縁部上段横ナデ、下段横位のナデ。 杯底部ナデ。柱状部上端ナデ、以下を 指頭による押えの後絞り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径21.9 底径19.6 器高17.3	杯部90%、柱状部100% 、裾部40%残存。 No17, 19, 20。
口縁部横ナデ。杯底部ナデの後暗文状 の磨き。	A + B + C + D	橙褐色	口径21.0 残存高 5.1	口縁部30%残存。
柱状部上端のみ絞り目を残し他はナ デ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	底径16.9 残存高11.6	柱状部70%、裾部40% 残存。
柱状部指頭による押え、下半のみ後に ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	底径13.8 残存高12.6	柱状部 100%、裾部 60%残存。
杯底部ナデか。柱状部上半指ナデ、下 半指頭による押え。	A + B + C + D + F	橙褐色	口径18.1 底径14.1 器高10.0	杯部90%、柱状部100% 、裾部70%残存。 No13
口縁部横ナデ。柱状部上半指ナデの後 絞り、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径19.8 底径15.2 器高15.6	杯部・柱状部100%、 裾部90%残存。No41
柱状部上半箝削り、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径16.0 残存高12.3	柱状部・裾部 100% 残存。No44
杯底部ナデ。柱状部絞り目を残すが下 端のみナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径(18.7) 底径13.8 器高16.6	杯部40%、柱状部・ 裾部 100%残存。 No42
口縁部箝削りの後横ナデその後暗文状 の磨き。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径20.0 底径13.7 器高16.5	杯部90%、柱状部100% 、裾部90%残存。 No35
柱状部絞り目残すが下端はナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	口径 9.5 残存高12.5	杯部・柱状部100% 残存。No38
柱状部絞り目残すが下端はナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径20.2 残存高11.2	杯部40%、柱状部60% 残存。No55

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
高杯	40	口縁部内側気味に開く。杯部の段はしっかりとしている。	口縁部横ナデ。杯下部ハケ目整形の後ナデ。柱状部ハケ目整形の後ナデ。据部ハケ目整形の後横ナデ。
高杯	41	口縁部直線的に開き、端部は弱い凹面を呈す。杯部の段は小さいがしっかりとしている。	口縁部横ナデの後粗い暗文状の笠磨き。杯下部笠削り。柱状部ナデの後暗文状の笠磨き。据部横ナデの後暗文状の笠磨き。
高杯	42	脚端部近くに横ナデによる弱い段をもつ。	柱状部ナデの後暗文状の笠磨き。据部横ナデの後中程まで暗文状の笠磨き。
高杯	43	口縁部直線的に開き、端部で僅かに立ち上がる。杯部の段はしっかりとしている。柱状部から据部へゆるやかに移行して開く。	口縁部横ナデ。杯下部・柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高杯	44	口縁部内側気味に開き端部は弱い凹面を呈す。杯部の段は小さいがしっかりとしている。	口縁部横ナデの後粗い暗文状の笠磨き。
高杯	45	口縁部内側気味に開く。杯部の段はしっかりとしている。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。
高杯	46	杯部に小さい段をもつ。	口縁部不明。杯底部笠削りか。器面が荒れている。
高杯	47	口縁部直線的に開く。杯部に段をもつ。	口縁部横ナデ。杯底部丁寧なナデ。
甕	48	口縁部外反する。胴部中央が強く張り出す。作りが雑。	胴部上半ナデ、下半笠削りの後ナデか。
甕	49		胴中央部不明。胴下部笠削りの後ナデか。底部笠削り。
甕	50	口縁部一旦立ち上がってから開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半笠削りの後ナデ、下半笠削り。
甕	51	口縁端部近くで僅かに内屈。胴部は球形を呈すと思われる。	口縁部横ナデ。頸部指部による押えの後横ナデ。胴部笠削りの後ナデか。器面が荒れている。
甕	52	口縁部外反し、球形の胴部をもつ。弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部・下部笠削り。底部笠削りの後ナデ。
甕	53	口縁部外反し、胴部は球形を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部笠削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
杯底部ナデ。柱状部上端ナデ、以下指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径16.8 底径12.9 器高15.0	杯部80%、柱状部100%、裾部40%残存。 No17, 18
口縁部横ナデの後暗文状の籠磨き。柱状部上端ナデ、以下指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径19.5 底径16.4 器高16.7	杯部・柱状部100%、 裾部70%残存。No25, 34
柱状部上端ナデ、以下指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径14.9 残存高10.6	柱状部100%、 70%残存。No.3, 21
杯部は器面が剥落して荒れている。柱状部上半ナデ、下半指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径17.2 底径14.0 器高15.1	杯部70%、柱状部100%、 裾部40%残存。 No19
口縁部横ナデの後粗い暗文状の籠磨き。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径19.2 残存高 6.1	口縁部100%、杯下部 30%残存。No20, 52
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径17.9 残存高 6.3	杯部100%残存。 No40
器面が剥落し荒れている。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(17.3) 残存高 7.6	口縁部40%、杯下部 80%残存。
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(20.0) 残存高 4.7	口縁部30%、杯下部 50%残存。
胴部上半籠ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径15.8 胴部最大径25.4 残存高17.9	口縁部90%、胴部70% 残存。No24, 31
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	茶褐色	底径 7.5 残存高15.2	胴部下半30%、底部 90%残存。No28
胴上部ナデ、中央部粗いナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径(18.9) 胴部最大径26.7 残存高18.5	口縁部30%、胴部20% 残存。No17
胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径14.8 胴部最大径17.9 残存高15.9	口縁部90%、胴部60% 残存。No50
胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	橙褐色	口径15.6 底径 5.2 胴部最大径19.6 器高20.4	口縁部・胴部70%、 底部100%残存。
胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	褐色 (茶褐色)	口径(16.0) 胴部最大径18.6 残存高17.5	口縁部40%、胴部30% 残存。

器種	番号	形 細 の 特 徴	外 面 の 観 察
甕	54	口縁部外反する。最大径を胴部中央より上にもつ。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部笠削り、下部指ナデの後笠削り。
甕	55	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもち、上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削りの後ナデか。底部ナデ。
甕	56	口縁部外反気味に聞く。平底を呈す。作りが雜で歪。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部・中央部指ナデ、下部笠削り。底部ナデ。
甕	57	口縁部外反する。胴部はほぼ球形を呈すと思われる。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。
甕	58	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部ナデ、中央部・下部笠削り。底部笠削り。
瓶	59	複合口縁を呈す。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。
椀	60	最大径を胴上部にもつ。平底を呈す。作りが雜で歪である。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部笠削り。底部笠削り。
椀	61	口縁部で外方向へ屈曲。上げ底を呈す。	口縁部・体部上端横ナデ。体部笠削りの後ナデ。底部ナデ。
椀	62	口縁部で外方向へ屈曲。平底を呈す。	口縁部・体部上端横ナデ。体部下部のみ笠削りで他はナデ。

153 号住居跡出土土器（第133・134図）

小型甕	1	口縁部直立する。上げ底を呈す。作り雜。	口縁部横ナデ、胴部笠削りの後ナデか。底部ナデ。器面が荒れている。
椀	2	口縁部内側気味に立ち上がる。丸底を呈す。	口縁部・体部上半ナデ、部分的にハケ目整形痕を残す。下半ハケ目整形。底部に黒斑。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部条線を残す粗いナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色 (橙褐色)	口径14.8 底径 5.1 胴部最大径19.5 器高20.1	口縁部80%、胴部70%、底部50%残存。 No33, 35
胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径14.4 底径 4.9 胴部最大径17.1 器高18.4	口縁部80%、胴部70%、底部100%残存。 No23
胴部粗いナデ。粘土接合痕を多く残す。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径12.6 底径 2.8 胴部最大径15.2 器高16.4	口縁部60%、胴部70%、底部100%残存。 No13, 14, 18
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径18.7 胴部最大径22.6 残存高19.8	口縁部90%、胴部70%残存。No53
胴部上半丁寧なナデ、下半粗いナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色 (茶褐色)	口径(16.6) 底径 (5.0) 器高26.3	口縁部・胴部40%、 底部100%残存。No29
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(22.8) 残存高13.8	口縁部40%、胴部上半30%残存。
胴部ナデ。	A + B + 粗砂粒	黄褐色	口径(10.8) 底径 6.3 器高 8.4	口縁部40%、胴部・ 底部100%残存。
体部ナデ。	A + B + C + F + 細砂粒	赤褐色	口径13.8 底径 2.4 器高 8.5	口縁部80%、体部70%、底部100%残存。 No11
体部窓ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径12.0 底径 6.2 器高 7.9	完形。No.6

口縁部窓ナデの後横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓ナデ。	A + B + C + D + E + 細砂粒	赤褐色 (褐色)	口径10.4 底径 5.5 器高11.1	完形。No.9
口縁部ナデ。体部窓ナデの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径10.6 器高 8.5	口縁部70%、胴部100%残存。No.16

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
瓶	3	口縁部僅かに内彎する。	口縁部・胴部・底部ナデか。器面が荒れている。
小型壺	4	最大径を胴部中央より下にもち下彎れを呈す。上げ底を呈す。	口縁部・胴部笠磨き。頸部に笠削りの跡を残す為、全体を笠削りした後笠磨きしたと思われる。底部笠磨き。
壺	5	口縁部直線的に開き、胴部は球形を呈す。	口縁部上半笠削りの後上端のみ横ナデ、下半笠磨き。胴部笠磨き。
壺	6	口縁部内凹気味に開く。上げ底を呈す。	口縁部縱位の笠磨き、上端のみ横ナデ。胴部横位の笠磨き。底部ナデ。
壺	7	口縁部内彎する。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削りの後ナデ。口縁部・胴部上半に暗文状の笠磨きか。
壺	8	口縁部直線的に開く。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。口縁部と胴部上半に暗文状の笠磨きか。
壺	9	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデか。
壺	10	胴部から口縁部への屈曲が弱いが内面はしっかりした稜をもつ。	口縁部横ナデ、胴部ナデ。器面が荒れている。
壺	11	口縁部内彎し、平底を呈す。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ナデ。底部笠削り。
壺	12	口縁部の屈曲が弱い。平底を呈す。	不明。
椀	13	口縁部外反する。	口縁部横ナデか。胴部ナデか。器面が荒れている。
鉢	14	口縁端部立ち上がる。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。底部ナデ。
椀	15	口縁部短く外反する。底部中央小さく窪む。	口縁部・体部上半ナデ、下半笠削りの後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部・胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径15.6 底径4.2 器高9.3	口縁部40%、胴部50%、底部100%残存。 No.5
口縁部横ナデ。胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+F	茶褐色	口径10.2 底径3.2 胴部最大径11.7 器高9.5	口縁部90%、胴部・ 底部100%残存。 No.15
口縁部上端のみ横ナデ。以下鎧磨き。 胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径9.4 胴部最大径7.1 器高8.9	口縁部20%、胴部100%残存。 No.8, 14
口縁部暗文状の鎧磨き、上端のみ横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	口径(10.8) 底径2.6 器高7.6	口縁部40%、胴部60%、底部100%残存。 No.14
胴部窓ナデの後ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(12.0) 器高6.9	口縁部30%、胴部90%残存。 No.19
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(11.6) 器高6.1	口縁部30%、胴部80%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(13.0) 残存高5.0	口縁部20%残存。 No.14
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径(12.2) 残存高4.7	口縁部40%、胴部20%残存。 No.12
胴部窓ナデ。	A+B+C+D+F	茶褐色	口径11.6 底径4.2 器高8.0	口縁部20%、胴部・ 底部100%残存。 No.10
不明。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径12.4 底径4.9 器高6.6	口縁部30%、胴部40%、底部100%残存。 No.3
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径(15.6) 残存高4.5	口縁部・胴部20%残存。 No.14
胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(11.4) 底径2.8 器高5.8	口縁部30%、胴部60%、底部100%残存。 床直。
口縁部ナデ。体部窓ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(10.6) 器高6.9	口縁部10%、体部30%残存。 No.13

器種	番号	形態の特徴	外観の観察
壺	16	横ナデにより口縁部を作りだす。口縁部内面に稜をもつ。	口縁部笠削りの後横ナデ。胴部・底部笠削り。
杯	17	口縁部短く立ち上がり、平底を呈す。	口縁部・体部上半横ナデ。体部下半ナデの後部分的に笠削り。底部ナデ。
S字甕	18	脚台部内面に折り返しをもつ。	ハケ目を留齒文状に残す。
S字甕	19	脚台部内面に折り返しをもつ。	浅い目の細かいハケ目を留齒文状に残す。
S字甕	20	段部がしっかりとなく、口縁部は立ち上がり気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	21	段部がしっかりとしている。口縁部は短く開く。	口縁部横ナデ。胴部上半ハケ目調整。
台付甕	22	口縁部外反し、胴部やや長胴を呈す。	口縁部横ナデ。胴部ハケ目整形の後ナデ。脚台部笠削りの後ナデ。器面が荒れている。胴部に黒斑。
台付甕	23	口縁端部が立ち上がる。胴部中央に最大径をもつ。脚台部は中程が膨らまずほとんど直線的に開く。	口縁端部の横ナデを除き他は笠磨き。胴上部笠磨き。中央部・下部ナデ。接合部指頭による押え。脚台部ナデ。

154 号住居跡出土土器（第 136 図）

高杯	1	杯部に稜をもつ。柱状部は円柱状を呈し細長い。	口縁部・杯下部・柱状部・裾部笠磨き。
高杯	2	杯部に弱い段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。器面が荒れている。口縁部・杯下部ともに笠磨きの可能性有り。
高杯	3		柱状部笠磨き。
器台	4		口縁部横ナデ。受部笠削りの後ナデ。

157 号住居跡出土土器（第 138 図）

壺	1	口縁部直立気味に外反する。	口縁部笠削り。口縁部に黒斑。
---	---	---------------	----------------

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部窓磨き。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径(10.8) 器高 4.9	口縁部50%、胴部・底部100%残存。No.11
体部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径 9.8 底径 5.8 器高 3.8	口縁部70%、体部80%、底部100%残存。No.13
折り返しには弱い指頭による押え。他は弱い指ナデと思われる。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	底径(11.5) 残存高 4.2	脚台部30%残存。
指ナデ。砂粒を多く含む粘土を両面から貼付。折り返しには指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	底径(8.3) 残存高 6.2	脚台部60%残存。No.6
胴上部指ナデ様の押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	灰褐色	口径(13.4) 残存高 4.2	口縁部30%残存。No.40
胴部上半ナデ、部分的に窓ナデか。	A + B + C + D + F + 細砂粒	灰褐色	口径11.7 胴部最大径17.2 残存高 8.0	口縁部80%、胴部上半30%残存。No.2
胴部窓ナデ。脚台部弱い指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径10.7 底径 7.0 器高18.1	完形。No.12, 17
胴部丁寧なナデ。脚台部指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径 9.6 底径 6.1 器高14.8	口縁部100%、胴部・脚台部60%残存。No.7

口縁部窓磨き。杯底部不明。柱状部窓削りの後ナデか。裾部横ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径15.2 底径11.8 器高16.9	口縁部30%、杯下部70%、柱状部90%、裾部60%残存。No.1, 2, 3
口縁部暗文状の窓磨き。杯底部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径15.9 残存高 6.4	口縁部70%、杯下部90%残存。No.1
柱状部上端のみ窓削り。他は指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高 8.5	柱状部60%残存。No.3
	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	口径(9.0) 残存高 2.2	器受部30%残存。No.2

不明。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(15.0) 残存高 4.1	口縁部20%残存。No.1
-----	---------------------	-----	---------------------	---------------

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
S字甕	2	口縁部やや立ち上がり気味。	口縁部横ナデ。胴上部範削り。胴中央部・下部は目の細かい浅いハケ目調整の可能性有り。
鉢	3	口縁部内凹する。	口縁部横ナデ。胴部範磨き。

158 号住居跡出土土器（第140～142図）

壺	1	二重口縁を呈す。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ、その後範磨き。頸部範磨き。
壺	2		口縁部横ナデ。頸部ハケ目整形の後範削り。
壺	3		肩部に範による沈線文。摩滅が著しい。
壺	4	上げ底を呈す。	胴下部範削りの後ナデ、下端指頭による押え。底部範削り。
小型壺	5	口縁部内凹しながら開くが開きが弱い。胴部最大径を中央にもつ。	口縁部範磨き。胴部範磨き、下部は範削りの後範磨き。
小型壺	6	口縁部内凹気味に開く。胴部最大径を中央より僅かに上にもつと思われる。作りが丁寧である。	口縁部範磨き。頸部にハケ目整形痕を残す。胴部ハケ目整形の後範磨き。口縁部・胴部中央に黒斑。
小型壺	7	弱い上げ底を呈す。	胴中央部範削りの後ナデ、下部範削り。底部ナデ。
壙	8	口縁部に比べ胴部が浅い。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ハケ目調整。
壙	9	口縁部内凹しながら開く。口縁部に比べ胴部が浅い。	口縁部横ナデの後範磨き。胴部ナデ。
壙	10	底部中央が僅かに窪み、上げ底を呈す。	胴部・底部ナデ。
壙	11	口縁部内凹気味に開く。口縁部に比べ胴部が浅い。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半範削りの後ナデ。頸部にハケ目整形痕残す。
手 横	12		口縁部ハケ目整形の後ナデ。胴部ハケ目整形の後ナデ。
手 捏	13	口径に比べ器高が低い。胴部が強く張る。	口縁部範削りの後横ナデか。胴部上半ナデ、下半範削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部条線を残すナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	橙褐色	口径(15.4) 残存高 6.2	口縁部30%、胴上部 20%残存。No 1
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径(19.0) 残存高 6.1	口縁部・胴部10%残 存。No 1

口縁部横ナデ。頭部ナデ。	A+B+C+D+小疎	赤褐色	口径(13.7) 残存高 6.7	口縁部20%残存。
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。頭部ハケ目整形の後ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	口径(12.4) 残存高 5.2	口縁部40%残存。
肩部ナデ。		黄褐色	残存高 4.4	肩部20%残存。
底部範削りの後指ナデ。	A+B+C+D+E+細砂粒	褐色 (赤褐色)	底径 7.7 残存高 3.5	底部100%残存。 No 5
口縁部上端範磨き、以下ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+E	黄褐色	口径(10.9) 残存高19.5	口縁部・胴部40%残 存。No 3
口縁部横ナデ。胴部ハケ目整形の後丁寧なナデ。	A+B+C+F	淡褐色	口径(11.5) 胴部最大径13.5 残存高11.7	口縁部40%、胴部50 %残存。No 2, 3, 4, 5
胴部範削りの後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径3.7 残存高 4.8	胴部下半・底部40% 残存。
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径11.5 器高 7.3	口縁部80%、胴部30 %残存。No 4, 5
口縁部範磨き。胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	口径15.4 残存高 6.2	
胴部ナデ。	A+B+C+D	黄褐色	底径 1.1 胴部最大径 6.6 残存高 4.0	胴部50%、底部100 %残存。
口縁部範磨き。胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径15.5 器高 5.7	口縁部90%、胴部100 %残存。No 2
口縁部・胴部ナデ。	A+B+C+D	赤褐色	口径 6.0 残存高 3.6	口縁部・胴部15%残 存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 6.2 胴部最大径 8.0 残存高 4.6	口縁部70%、胴部80 %残存。No 3

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
手 捨	14	杯状を呈す。	口縁部・体部とも指頭による押え。底部ナデ。
甕	15	口縁部一旦立ち上がって短く外反する。	口縁部横ナデ。胴部窓削りの後ナデか。摩滅している。
椀	16	口縁部立ち上がり気味に短く直線的に開く。	口縁部・体部上端横ナデ。体部ナデ。
椀	17	口縁部短く開く。屈曲強い。	口縁部・体部上端横ナデ。体部丁寧なナデ。
椀	18	口縁部の屈曲弱い。内面に稜をもつ。	口縁部・体部上端横ナデ。
杯	19	口縁部内屈する。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。杯部粗い簡単な窓削りの後ナデ。底部ナデ。
杯	20	口縁部立ち上がる。	口縁部横ナデ。体部ナデ。底部窓削り。体部に黒斑。
高 杯	21	脚部は「ハ」字状に開く。6孔を有す	脚部窓磨き。
高 杯	22	杯部に稜をもつ。	口縁部窓削りの後横ナデ、その後暗文状の窓磨き。杯下部窓削りの後ナデ。柱状部窓磨き。接合部に窓跡残す。
高 杯	23		杯下部窓削りの後ナデ。
S字甕	24	段部はしっかりしている。口縁部は端部近くで外反。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	25	段部は弱く、口縁部は強く外方向へ開く。	口縁部横ナデ。胴上部細かい浅いハケ目調整。
S字甕	26	段部が弱い。口縁部の器内厚い。	口縁部横ナデ。
S字甕	27		胴下部窓削りの後ハケ目調整。脚台部ナデ。胴下部に黒斑。
S字甕	28	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部・体部指頭による押え。	A + B + C + 細砂粒	赤褐色	口径(7.6) 残存高 2.6	口縁部・体部30%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径(12.6) 胴部最大径17.4 残存高10.0	口縁部・胴部30%残存。
体部ナデ。	A + B + C + D	赤褐色	口径(14.8) 残存高 5.7	口縁部10%、体部20%残存。No.2
体部丁寧なナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(12.3) 残存高 6.1	口縁部20%、体部10%残存。
体部ナデ。	A + B + C + D	赤褐色	口径(11.2) 残存高 2.8	口縁部・体部10%残存。
体部ナデ。器面が剥落して荒れてい る。	A + B + C + F + 細砂粒	赤褐色	口径13.1 底径 3.7 器高 4.6	完形。No.1
体部ナデ後暗文状の範磨き。	A + B + C + D + 粗砂粒	茶褐色	口径11.6 底径 6.7 残存高 4.0	口縁部・体部30%， 底部20%残存。No.4
脚部上端範削りし以下を横ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	底径14.7 残存高 7.4	脚部60%残存。No.5
口縁部範削りの後横ナデ、その後暗文 状の範磨き。	A + B + C + F	褐色	口径12.6 残存高 9.4	口縁部20%、杯下部 40%、柱状部30%残存。
杯底部範削りの後ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 5.0	杯下部 100% 残存。 No.2
胴上部ナデ。	A + B + C + D + E + F + 細砂粒	黄褐色	口径13.7 残存高 5.7	口縁部20%、胴上部 10%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + 細砂粒	黄褐色	口径13.0 残存高 3.7	口縁部20%、胴上部 10%残存。
	A + B + C + 細砂粒	赤褐色	口径14.1 残存高 2.8	口縁部20%残存。
胴下部ナデ。接合部両面に砂粒を多く 含む粘土を貼付。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	残存高 9.6	胴下部70%、脚台部 30%残存。
折り返し指頭による押え。	A + B + C + 細砂粒	黄褐色	底径(9.8) 残存高 4.1	脚台部30%部残。

器種	番号	形態の特徴	外観の観察
台付甕	29	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ナデ。
S字甕	30	脚台部内面に折り返しをもつが、折り返しが弱い。	脚台部のハケ目調整痕を鋸歯状に残す。

159 号住居跡出土土器（第144～146図）

壺	1	複合口縁を呈す。口縁部は外反し端部近くで僅かに内屈する。	口縁部横ナデ。頸部ナデ。胴上部笠削りの後ナデ。口縁部赤彩か。
小型壺	2	口縁部内灣気味に開き、最大径を胴部中央より上にもつ。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。胴部に黒斑。
壺	3	口縁部短く開く。最大径を胴部中央にもつ。上げ底を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。底部ナデ。
小型壺	4	口縁部内灣気味に開く。最大径を胴部中央にもつ。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部・底部笠削り。
高杯	5	杯部に段をもつ。口縁部内灣気味に開く。	口縁部・杯下部不明。柱状部笠磨き。裾部横ナデ。
高杯	6	杯部に弱い段をもつ。口縁部外反気味に開く。端部で僅かに立ち上がる。	口縁部横ナデの後暗文状の笠磨き。杯下部笠削りの後ナデ。柱状部暗文状の笠磨き。
高杯	7		杯下部ナデ。柱状部笠磨き。裾部横ナデ。
高杯	8	杯部に段をもつ。口縁部は外反気味に開き端部近くで僅かに内屈する。柱状部下端一箇所に円孔状の窪み。	口縁部横ナデと思われる。杯下部笠削りの後ナデ。柱状部笠削りの後ナデか。裾部横ナデ。
瓶	9	最大径を胴部中央にもち口縁部は内湾しながら立ち上がる。	口縁部笠削り、上端のみ指頭による抑え。胴部笠磨りの後ナデ。
瓶	10	口径と胴部最大径がほぼ等しく、胴部最大径を中心より上にもつ。口縁部は立ち上がり気味に開くが開きが弱い。	口縁部ナデ。頸部笠削りの後ナデ。胴部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
折り返し指頭による押え。	A+B+C+細砂粒	淡褐色	底径(10.2) 残存高 2.4	脚台部20%残存。
脚台部ナデ。接合部上面窓ナデ。	A+B+C+E	橙褐色	底径(8.8) 残存高 6.5	脚台部30%残存。

頸部ナデ。胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(18.9) 残存高11.7	口縁部40%、胴上部30%残存。№2、3
胴中央部、部分的に指ナデ 様 窓ナデか。上部・下部はナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径13.0 胴部最大径17.0 残存高16.7	口縁部70%、胴部40%残存。№11、12
胴部ナデ。胴下部と中央部の接合部分に窓で刻みを入れて接合するが刻みは胴下部のみに入る。	A+B+C+D+E+細砂粒	赤褐色	口径12.3 底径 6.9 胴部最大径21.8 器高20.6	口縁部70%、胴部50%、底部40%残存。№7、8、9、10、13、14
胴部上半窓削り、下半粗いナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径12.6 底径 3.8 胴部最大径13.0 器高14.0	口縁部90%、胴部80%、底部100%残存。
杯部不明。柱状部上半指ナデの後続り、下半指頭による押えの後ナデ。	A+B+C+D+E+粗砂粒	赤褐色	口径18.5 底径15.2 器高17.4	杯部30%、柱状部100%、底部60%残存。№9、10
口縁部横ナデの後暗文状の窓磨き。柱状部上端続り、以下窓削り。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	口径19.4 残存高12.0	口縁部80%、柱状部60%残存。
杯底部ナデ。柱状部指頭による押えの後ナデ。	A+B+C	赤褐色	底径13.0 残存高11.4	柱状部100%、器部20%残存。№7
杯底部窓ナデ。柱状部上半指ナデの後続り、下半指頭による押えの後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(18.3) 残存高14.2	杯部30%、柱状部100%残存。№2、3
口縁部窓削り。胴部窓削りの後ナデ。孔端部窓削り。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径16.4 底径 8.4 胴部最大径19.8 器高24.4	口縁部90%、胴部70%残存。№13
口縁部・胴部とも窓削りの後ナデ。孔端部窓削り。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径17.0 底径7.7 胴部最大径17.7 器高22.2	口縁部・胴部90%残存。№14

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
壺	11	口縁部内側気味に開く。口径と胴部最大径がほぼ等しい。	口縁部笠削りの後ナデ。胴部上半笠削りの後ナデ、下半笠削り。
壺	12	口縁部内側気味に強く開く。口径に比べ器高が低い。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。
壺	13		口縁部笠削りの後上端近くのみを横ナデ、他はナデ。
壺	14	口縁部外反する。口径に比べ器高が低い。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。底部笠削り。
碗	15	体部半球形を呈す。	口縁部・体部上端横ナデ。体部笠削り。体部に黒斑。
壺	16		不明。
壺	17		口縁部ハケ目整形の後上端のみを横ナデ。胴上部ハケ目調整。
壺	18	突出する底部。	胴部下端笠削りの後ナデ。底部木葉痕をもつ。
甕	19	胴部最大径を中央より上にもつ。平底を呈す。	胴部粗い笠磨きを部分的にナデ消す。部分的に笠削りもみられる。底部笠削り。
甕	20	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。
甕	21	口縁部直立気味に外反する。	口縁部横ナデ。胴部ハケ目整形の後ナデか。

161号住居跡出土土器（第148・149図）

壺	1	口縁部外反し端部は平坦。胴部はほぼ球形を呈すと思われる。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部丁寧なナデ、下部笠削り。
小型壺	2	胴部最大径を中央にもち平底を呈す。	胴部上半ナデ、下半笠削り。
壺	3	口縁部外反気味に開く。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。底部ナデ。赤彩か。口縁部・胴部に黒斑。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径 9.4 胴部最大径 8.8 残存高 9.0	口縁部 100%、胴部 20% 残存。No. 4、13
口縁部横ナデの後箇磨き。胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(15.2) 残存高 4.3	口縁部・胴部 10% 残存。
口縁部箇削りの後横ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径 10.8	口縁部 90% 残存。 No. 15
胴部ナデ。	A + B + C + D	赤褐色	口径 13.3 底径 5.0 器高 5.3	口縁部・胴部 90%、 底部 100% 残存。 No. 1
口縁部・体部上端横ナデ。体部箇ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径 12.4 器高 6.8	口縁部・胴部 50% 残存。No. 4、6
不明。	A + B + C + D	赤褐色	口径(12.4) 残存高 5.3	口縁部・胴部 20% 残存。
口縁部横ナデ。胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高 6.2	口縁部 50% 残存。
底部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径 9.0 残存高 2.4	底部 40% 残存。No. 8
胴部箇削りの後ナデ。	A + B + C + D 細砂粒	褐色	底径 6.4 胴部最大径 24.7 残存高 23.9	胴部 70%、底部 100% 残存。No. 11
	A + B + C + D	赤褐色	口径 17.2 残存高 4.5	口縁部 100% 残存。 No. 14
胴部ナデ。	A + B + C	橙褐色	口径(14.9) 残存高 7.7	口縁部・胴上部 20% 残存。No. 2

胴部上端指頭による押え。胴部粗いナデ。凹凸が多い。	A + B + C + D + E + F + 細砂粒	赤褐色	口径 16.9 胴部最大径 27.7 残存高 24.4	口縁部 20%、胴部 70% 残存。No. 2
胴部ナデ。	A + B + C + D	茶褐色	底径 4.6 胴部最大径 16.3 残存高 13.8	胴部 80%、底部 100% 残存。No. 4
口縁部ハケ目整形の後上端のみ横ナデ。胴部上半指頭による押え、下半箇ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径 7.8 底径 1.8 胴部最大径 7.9 器高 8.6	完形。No. 5

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
壇	4	口縁部直線的に開く。胴部最大径を中央より上にもつ。	口縁部横ナデ。頸部にハケ目整形痕残す。胴部笠削り。
	5	口縁部内擣し、平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。底部ナデ。
	6	口縁部外反する。口径と胴部最大径がほぼ等しい。	口縁部横ナデ。胴部・底部笠削りの後ナデ。
碗	7	体部から口縁部への移行はゆるやかで丸底を呈す。	口縁部・体部上端横ナデ。体部上半ナデ、下半笠削り。
高杯	8	杯部に段をもつ。口縁部は直線的に開く。柱状部から裾部への移行ゆるやか。	口縁部横ナデ。杯下部・柱状部ナデ。裾部横ナデ。
甕	9	口縁部外反する。長胴を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部笠削り。
甕	10	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。

162 号住居跡出土土器（第151図）

壺	1	口縁部外反気味に開き端部は弱い凹面を呈す。最大径を胴部中央にもつ。上げ底を呈す。	口縁部暗文状の笠磨き。頸部に工具の跡が残る。胴部上端ナデ、上部・中央部笠磨き、下部笠削りの後ナデ。底部笠削り。
甕	2	口縁部直線的に開く。胴部最大径を中央にもち、底部突出し、弱い上げ底を呈す。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部笠は削りの後ハケ目整形、その後ナデ。底部ナデ。
壇	3	上げ底を呈す。	胴部上半ナデ、下半笠削り。
手 持	4	平底を呈す。	口縁部・体部指ナデか。底部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(8.8) 胸部最大径 7.4 器高 8.3	口縁部20%、胴部100% 残存。No.7
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径 8.8 底径 3.9 胸部最大径 8.4 器高 8.2	完形。No.11
胴部上半指ナデ、下半範ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(8.0) 胸部最大径 7.9 器高 7.7	口縁部30%、胴部100% 残存。No.8
口縁部・体部上半横ナデ、下半範削りの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(13.9) 器高 5.4	口縁部40%、体部60% 残存。No.9
口縁部中程から底部ナデ。器面が荒れている。柱状部範削り。	A + B + C + D + E + 細砂粒	橙褐色	口径17.4 底径12.3 器高13.8	杯部・柱状部100%、 底部60%残存。No.10
胴部範ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(16.8) 胸部最大径18.9 残存高20.6	口縁部30%、胴部70% 残存。No.6
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黒褐色 (赤褐色)	口径16.5 胸部最大径21.3 残存高16.7	口縁部・胴部上半20% 残存。No.1

口縁部暗文状の範磨き。胴部ナデ。底部範ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径14.9 底径 5.9 胸部最大径21.9 器高23.7	口縁部 100%、胴部 50%、底部 100% 残存。
口縁部ハケ目整形の後横ナデ、胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径16.9 底径 6.6 胸部最大径21.2 器高23.5	口縁部80%、胴部70%、 底部 100% 残存。
胴上部・中央部ナデ、下部指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径 2.0 胸部最大径10.0 残存高 7.0	胴部・底部 100% 残存。No.2
口縁部・体部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径 (8.8) 底径 6.0 器高 4.3	口縁部・体部30%、 底部20%残存。

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
高杯	5		柱状部窪磨き。
高杯	6		柱状部窪削りの後ナデか。
高杯	7	杯部に段をもつ。口縁部内縁気味に聞く。柱状部から裾部に移行する部分でゆるやかに屈曲して聞く。全体的に作りが薄く丁寧であるが胎土が粗い。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。柱状部ハケ目整形の後ナデ。裾部横ナデ。

166 号住居跡出土土器 (第155・156図)

壺	1	二重口縁を呈す。口縁端部が立ち上がる。頭部は僅かに開き気味に立ち上がる。胴部中央に最大径をもつ。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。頭部ナデの後暗文状の窪磨き。胴部丁寧なナデ。底部ナデ。胴部下半に黒斑。
高杯	2	口縁部直線的に聞く。杯部に弱い段をもつ。裾部短く聞く。柱状部に3孔有す。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯下部ナデ。柱状部窪磨き。裾部窪削りの後横ナデ。
高杯	3	柱状部から裾部へ強く屈曲する。	柱状部窪磨き。裾部横ナデの後窪磨き。
壺	4	口縁部直線的に聞く。平底を呈す。	口縁部横ナデの後暗文状の窪磨き。胴部窪削りの後暗文状の窪磨き。底部窪削り。
壺	5	口縁部内縁気味に聞く。平底を呈す。	口縁部窪削りの後上半を横ナデ。胴部窪削りの後ナデ。底部ナデ。
小型壺	6	口径と胴部最大径が等しい。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半窪削りの後ナデ、下半窪削り。底部窪削りの後ナデ。
S字甕	7	口縁部の屈曲弱い。口縁部内面の端部近くに段をもつ。胴部は無花状を呈す。脚台部内面に折り返しをもつ。	口縁部横ナデ。胴部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが、やや乱れている。
S字甕	8	段部が弱い。口縁端部に弱い段をもつ。	口縁部横ナデ。胴部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
柱状部上端範割り、以下ナデ。	A+B+C+D 細砂粒	赤褐色	残存高 5.4	柱状部40%残存。
杯底部ナデ。柱状部上端ナデ、以下範割り。	A+B+C+E+F +粗砂粒	橙褐色	残存高11.0	柱状部100%残存。
杯底部ナデ。柱状部上半範割り、下半ナデ。	A+B+C+D+ 小礫	赤褐色	口径17.5 底径11.6 器高19.1	杯部40%、柱状部70%、据部50%残存。

口縁部横ナデ。頸部ナデの後暗文状の範磨き。胴部ナデ。	A+B+C+D+E +細砂粒	赤褐色	口径19.4 底径 5.8 胴部最大径21.9 器高24.3	口縁部70%、頸部100%、胴部90%、底部100%残存。No4
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯底部器面が剥落して荒れている。柱状部範割り。	A+B+C+D+F +細砂粒	橙褐色	口径15.3 底径10.7 器高15.6	杯部90%、柱状部100%、据部70%残存。No7, 8, 9 焼成良好。
柱状部範割り。	A+B+C+D+E+F +細砂粒	橙褐色	底径10.6 残存高 9.3	柱状部100%、据部60%残存。No13
口縁部横ナデの後暗文状の範磨き。胴部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	口径10.6 底径 3.0 器高 6.4	完形。No 1 焼成良好。
口縁部横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	口径 9.8 底径 3.0 器高 6.3	口縁部90%、胴部・底部100%残存。No15
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	口径 9.8 底径 2.8 器高 7.8	口縁部90%、胴部・底部100%残存。No 2
胴部丁寧なナデ。接合部上面範ナデの後砂粒を多く含む粘土を貼付したものと思われるが、粘土が剥落している。接合部下面色調・胎土とも器内とほとんど変わらない粘土を貼付した後丁寧な指ナデ。脚台部ナデ。	A+B+C+粗砂 粒	黄褐色	口径13.6 底径 9.5 胴部最大径21.0 器高24.5	口縁部50%、胴部60%、脚台部80%残存。No14
胴部上半指ナデ様の押え。接合部上面範ナデ、下面指ナデ。	A+B+C+D+ 粗砂粒	黄褐色	口径12.8 胴部最大径20.5 残存高22.3	口縁部90%、胴部70%、脚台部30%残存。No12

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
S字甕	9	口縁部内面端部近くに段をもつ。脚台部内面に折り返しをもつ。	口縁部横ナデ。胴部窓削りの後ケ目調整。肩部と胴部下端に窓削りを残す。脚台部上端窓削り。脚台部ナデ。胴部にスス付着。
甕	10	口縁部中程で屈曲して聞く。最大径を胴部中央より下にもつ。	口縁部窓削りの後横ナデ。胴部窓削りの後ナデ。胴部中央に黒斑。
甕	11	口縁部外反する。胴部下彎れを呈す。	口縁部上端横ナデ、以下はナデ。胴部上半丁寧なナデ、下半は窓削りか。
甕	12	口縁部外反する。弱い上げ底を呈す。	胴部窓削り。

168 号住居跡出土土器（第158、160～165図）

壺	1	口縁部外反氣味に聞く。	口縁部上端横ナデ、下半窓削りの後ナデ。胴部窓削り。
壺	2	二重口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頸部ナデか。
壺	3		口縁部窓削りの後横ナデか。胴部上端ナデ。
壺	4		口縁部・胴部上端横ナデか。胴上部窓削り。
壺	5	平底を呈す。	胴下部・底部窓削り。
壺	6		胴上部窓削りの後ナデ、中央部・下部窓磨き。
壺	7	上げ底を呈す。	胴下部窓磨きか。底部窓削りの後部分的にナデ。底部に黒斑。
壺	8		胴部・底部窓削り。
壺	9	口縁部内彎氣味に聞き端部が外方向へ肥厚する。	口縁部ハケ目整形の後上端部を横ナデ、以下をナデ。
壺	10	平底を呈す。	胴部窓削りの後ナデ。底部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部中央窓ナデの後ナデ、その後指ナデ様の押え。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径11.0 底径 8.4 胴部最大径14.9 器高19.4	口縁部・胴部90%、 脚台部50%残存。 No.3, 7, 9
胴部窓ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径17.6 胴部最大径21.3 残存高18.8	口縁部80%、胴部40%残存。No.5, 7, 8, 9
胴部上端指頭による押え。胴部窓ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径14.2 残存高15.2	口縁部100%、胴部上半70%残存。No.16
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	褐色	口径12.9 底径 5.4 胴部最大径14.5 器高13.0	口縁部70%、胴部90%、底部100%残存。 No.11

胴部ナデ。	A+B+C+F	橙褐色	口径15.9 残存高22.5	口縁部・胴部30%残存。
頭部ナデ。	A+B+C+F	橙褐色	口径14.8 残存高 4.9	口縁部20%残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+D	赤褐色	残存高 5.2	口縁部30%残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 6.8	胴上部20%残存。 No.22
胴下部・底部ナデ。	A+B+C+D+F	橙褐色 (灰褐色)	底径 6.5 残存高 3.8	底部100%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	胴部最大径25.9 残存高20.0	胴部30%残存。
胴下部・底部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色 (黒色)	底径 7.2 残存高 3.4	底部100%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径(8.0) 残存高21.0	胴部・底部20%残存。
口縁部中程まで横ナデ、以下をナデ。	A+B+C+D+F	赤褐色	口径23.0 残存高 4.9	口縁部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径 7.7 残存高15.0	

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
小型壺	11	上げ底を呈す。	胴上部・中央部笠磨き、下部笠削り。底部ナデ。
小型壺	12	丸底を呈す。	胴部・底部丁寧な笠削り。
小型壺	13	口縁部短く外反する。最大径を胴部中央にもつ。	口縁部横ナデ。胴部笠削り、部分的にナデ。底部不明。
壺	14		胴部ハケ目整形の後ナデ。
小型壺	15	口縁部外反気味に開き端部は弱い凹面を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部笠削りの後ナデ。
小型壺	16	口縁部外反気味に開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部笠削りの後ナデ。
小型壺	17	口縁部直線的に開く。	不明。
小型壺	18	口縁部内彎気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ。
小型壺	19	口縁部内彎気味に開く。	口縁部横ナデ。胴部笠削りか。
小型壺	20	口縁部内彎気味に立ち上がる。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部ナデ。
小型壺	21	口縁部外反する。	不明。
鉢	22	口縁部短く外反する。最大径を胴部中央にもつ。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。底部不明。
鉢	23	口縁部短く外反する。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。
碗	24	口縁部近くで僅かに外屈。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部笠削り。
堵	25		胴中央部ナデ、下部笠削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径 3.7 胴部最大径15.7 残存高 8.1	胴部40%、底部100%残存。
胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	胴部最大径15.6 残存高10.8	胴部70%残存。
胴部範削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径13.9 底部(6.0) 胴部最大径15.0 器高14.4	口径部90%、胴部80%、底部10%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	胴部最大径22.4 残存高11.8	胴部40%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径12.6 残存高 5.2	口径部・胴上部60%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径(11.4) 残存高3.8	口径部・胴上部20%残存。
不明。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径(10.7) 残存高 4.1	口径部・胴上部30%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(13.0) 残存高 4.3	口径部・胴上部30%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黃褐色	口径(11.5) 残存高 3.2	口径部・胴上部20%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(11.7) 残存高 4.9	口径部・胴上部10%残存。
不明。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(8.5) 残存高 3.8	口径部・胴上部20%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D	茶褐色	口径(10.2) 底径(5.2) 器高 9.0	口径部・胴部60%、底部10%残存。№2
胴部ハケ目調整。	A + B + C + D + F	褐色 (茶褐色)	口径(9.6) 残存高 4.6	口径部・胴部10%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径11.2 残存高 6.6	口径部30%、胴部40%残存。№23
胴部範削り。	A + B + C + D + 細砂粒	黑褐色	底径 3.3 残存高 4.4	

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
壺	26		胴部ナデ。底部笠削り。
壺	27	口縁部内側気味に開く。口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部・胴部笠磨き。
壺	28	口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部不明。胴部笠削りの後ナデか。
壺	29	口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部横ナデ。胴部不明。
壺	30	口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部・胴部不明。
壺	31	口縁部直線的に開く。	口縁部横ナデ。胴部笠削り。
壺	32	口縁部内側気味に開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。
壺	33	胴部から口縁部にかけて屈曲が弱いが内面は強く屈曲する。口縁部は内彎し、平底を呈す。	口縁部笠削りの後横ナデ。胴部笠削り。底部笠削り。
壺	34		口縁部ハケ目整形の後横ナデか。胴部笠削りの後ナデ。
壺	35	上げ底を呈す。	胴部笠削り。赤彩か。
高杯	36	胴部「ハ」字状に開き、3孔を有す。口縁端部に段をもつ。薄く、作りが丁寧。	口縁部不明。脚部笠削りの後端部近くから横ナデ。
高杯	37	脚部「ハ」字状に開き、3孔を有す。薄く、作りが丁寧。	脚部笠削りの後横ナデ、その後笠磨き。
高杯	38	脚部「ハ」字状に開き、3孔を有す。薄く、作りが丁寧。	脚部笠削りの後端部近くから横ナデ。
高杯	39	脚部「ハ」字状に開き、3孔を有す。薄く、作りが丁寧。	脚部笠削りの後端部近くから横ナデ。その後笠磨き。
高杯	40	柱状部下端に3ないし4孔を有す。	柱状部笠磨き。裾部横ナデか。
高杯	41	柱状部下端に3孔を有す。	柱状部不明。裾部横ナデの後笠磨き。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部窓ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色	底径 2.3 残存高 3.1	底部100%残存。
口縁部窓磨き。胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径(10.9) 残存高 5.4	口縁部・胴部20%残存。
口縁部・胴部不明。底部に凹凸多い。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径(10.2) 器高 5.4	口縁部40%、胴部50%残存。
胴部不明。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径12.2 器高 5.3	口縁部70%、胴部100%残存。
不明。	A+B+C+細砂粒	褐色	口径11.0 残存高 5.1	口縁部20%、胴部10%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D	黄褐色	口径(17.2) 残存高 4.7	口縁部20%、胴部10%残存。No.14
胴部ナデ。	A+B+C+	褐色 (茶褐色)	口径(13.1) 残存高 6.4	口縁部40%、胴部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色 (赤褐色)	口径(11.1) 底径(3.1) 器高 5.1	口縁部30%、胴部・底部40%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	残存高 4.8	口縁部10%、胴部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+小疎	橙褐色	底径(2.6) 残存高 3.0	底部60%残存。
口縁部不明。胴部窓削り。	A+B+C	橙褐色	口径(11.0) 底径(11.5)	口縁部10%、胴部30%残存。
脚部ナデ。	A+B+C+D	橙褐色	底径 9.1 残存高 2.9	脚部60%残存。
	A+B+C	橙褐色	底径 9.4 残存高 2.7	脚部30%残存。
脚部上半窓削り、下半横ナデ。	A+B+C+D	茶褐色	底径11.0 残存高 8.7	脚部90%残存。No.25
柱状部上半窓削りの後ナデ、下半ナデ。	A+B+C	橙褐色	残存高 4.1	柱状部20%残存。
柱状部ナデか。窓ナデの後横ナデ。	A+B+C+F	橙褐色	底径(12.4) 残存高 2.5	脚部40%残存。

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
高杯	42	範削りにより稜を作る。	口縁部範磨き。杯下部範削り。赤彩か。
高杯	43	杯部に段も稜ももない。	口縁部横ナデ。接合部近くは範削り。
高杯	44	脚部「ハ」字状に開く。3孔を有す。	杯下部範削りの後ナデか。脚部範磨き。
高杯	45	脚部に3孔づつ上下に千鳥状に6孔有す。	脚部範磨き。
高杯	46	脚部に3孔有す。	脚部範磨き。
高杯	47	杯部に段をもつ。口縁部直線的に開く。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯下部ハケ目整形の後ナデ。
高杯	48	柱状部下端に3孔有す。杯下部が小さい。	杯下部ナデ。柱状部範磨き。
高杯	49		杯下部ナデ。柱状部範磨き。
高杯	50	柱状部下端に3孔有す。	口縁部範磨き。杯下部範削り。柱状部範磨き。
高杯	51	柱状部が短く裾部が大きく開く。裾部上端に3孔有す。	柱状部粗い範磨き。裾部範削りの後ハケ目整形、その後裾部の中程から横ナデ。
S字甕	52	段部が弱く、口縁部は外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	53	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	54	段部がしっかりしている。口縁部やや開き気味。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	55	口縁部の器肉厚い。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	56	口縁部が立ち上がり、段部はしっかりしている。	口縁部横ナデ。頸部にハケ目調整痕残す。胴上部ハケ目調整。
S字甕	57	段部が弱く、口縁部短く直線的に開く。	口縁部横ナデ。頸部にハケ目調整痕残す。胴上部ハケ目調整。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部・杯底部笠削き。	A+B+C+F	赤褐色	口径(10.4) 残存高 3.7	口縁部30%、杯下部 40%残存。
杯底部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(14.4) 残存高 4.8	杯部40%残存。
杯底部不明。脚部笠削りの後ナデか。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	底径13.2 残存高 8.6	脚部80%残存。No12
脚部上半笠削り、下半横ナデ。	A+B+C+F	赤褐色	残存高 6.5	脚部50%残存。No17
脚部笠削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 8.9	脚部60%残存。No 9
口縁部ハケ日整形の後横ナデか。	A+B+C+D+E+F	橙褐色	口径16.9 残存高 6.5	口縁部60%、杯下部 90%残存。
杯底部笠削き。柱状部上半指ナデの後 抜り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 8.0	杯下部40%、柱状部 90%残存。
杯底部ナデ。柱状部笠削き。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 5.0	杯下部40%、柱状部 20%残存。
柱状部笠削り。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	残存高 6.2	杯下部50%、柱状部 100%残存。No20
柱状部笠削りの後ナデか。帽部上半笠 削りの後ナデか。笠によるキズ跡が目 立つ。	A+B+C+D	黄褐色	底径11.4 残存高 5.7	柱状部100%、帽部 90%残存。No 8
胴上部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	灰褐色	口径(12.1) 残存高 4.9	口縁部20%、胴上部 30%残存。
胴上部強いナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	灰褐色	口径16.2 残存高 6.1	口縁部50%、胴上部 40%残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(18.2) 残存高 4.0	口縁部20%、胴上部 10%残存。
胴上部指ナデ様の押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	灰褐色	口径14.8 残存高 4.6	口縁部70%、胴上部 20%残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+D+E+F+細砂粒	橙褐色	口径(15.6) 残存高 5.1	口縁部・胴上部20% 残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+F+細砂粒	橙褐色	口径(13.3) 残存高 4.8	口縁部30%、胴上部 20%残存。

器種	番号	形 熊 の 特 徴	外 面 の 観 察
S字甕	58	口縁端部が肥厚する。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	59	段部が弱く、口縁部は開く。	口縁部横ナデ。胴部上端ハケ目調整。
S字甕	60	段部が弱く、口縁部は開く。	口縁部横ナデ。頭部にハケ目調整痕残す。胴上部ハケ目調整。
S字甕	61	口縁端部近くで短く立ち上がる。	口縁部横ナデ。頭部範削り。胴上部ハケ目調整。
S字甕	62	段部が弱く、口縁部は開く。口縁部の器内厚い。	口縁部横ナデ。頭部範削り残す。胴部上半ハケ目調整。
S字甕	63	段部が弱く、口縁部は開く。	口縁部横ナデ。頭部に範削り残す。胴部上半ハケ目調整。
S字甕	64	段部が弱く、口縁部が厚い。	口縁部横ナデ。頭部範削り残す。胴上部ハケ目調整。
S字甕	65	口縁部が厚く、開く。	口縁部横ナデ。頭部範削り残す。胴上部ハケ目調整。
S字甕	66	口縁部の開きが弱い。	口縁部横ナデ。頭部、部分的に範削り残す。胴上部ハケ目調整。
S字甕	67	段部が弱く、口縁部開く。	口縁部横ナデ。頭部範削り。胴上部ハケ目調整。
S字甕	68	段部がしっかりしている。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	69	口縁端部近くで強く外方向へ屈曲。	口縁部横ナデ。
S字甕	70	段部・口縁部ともしっかりしており、作りも丁寧。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	71	段部が弱く、口縁部の屈曲も弱い。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	72	段部が弱く、口縁部は著しく退化。	口縁部横ナデ。胴上部目の細かい浅いハケ目調整。
S字甕	73	口縁部著しく退化。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整、中央部に範削りを残す。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴上部指ナデ様の押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径(14.3) 残存高 5.3	口縁部・胴上部30% 残存。No 6
	A + B + C + D + F + 細砂粒	灰褐色	口径15.1 残存高 2.2	口縁部50%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径(15.4) 残存高 3.5	口縁部30%、胴上部 40%残存。
胴上部範削りの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(12.4) 残存高 5.9	口縁部10%、胴上部 30%残存。
胴部上半指ナデ様の押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	褐色	口径(12.8) 残存高 8.0	口縁部20%、胴部上 半40%残存。
胴部上半指ナデの後ナデか。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	口径(14.3) 残存高 9.9	口縁部20%、胴部上 半30%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(15.4) 残存高 4.7	口縁部30%、胴上部 20%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(12.0) 残存高 3.0	口縁部20%、胴上部 10%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(12.2) 残存高 3.2	口縁部40%、胴上部 20%残存。
胴上部指ナデ様のナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	口径(13.1) 残存高 2.7	口縁部30%、胴上部 20%残存。
胴上部指ナデ様の押え。	A + B + C + 細砂粒	灰褐色	口径11.2 残存高 4.7	口縁部30%、胴上部 20%残存。
	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径(15.4) 残存高 2.2	口縁部20%残存。
胴上部指ナデ様の押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(11.0) 残存高 4.8	口縁部・胴上部10% 残存。焼成良好。
胴上部指ナデ様の押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径(14.3) 残存高 4.1	口縁部・胴上部10% 残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + 細砂粒	黄褐色	口径(11.9) 残存高 2.5	口縁部・胴上部10% 残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(12.2) 残存高 5.6	口縁部・胴上部20% 残存。No 16

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
S字斐	74	口縁部著しく退化し開く	口縁部横ナデか。
台付斐	75	口縁部が内屈し受け口状を呈す。	摩滅が著しく不明。
台付斐	76	受け口状を呈し、最大径を胴部中央より上にもつ。	口縁部笠削りの後横ナデ。胴部笠削り。
斐	77	口縁端部で立ち上がる。端部は凹面を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半笠削りの笠磨き。
台付斐	78		胴下部ハケ目調整。
S字斐	79		胴下部笠削りの後ハケ目調整。脚台部ハケ目調整。
S字斐	80	脚台部内面に折り返しをもつ。	胴下部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。
S字斐	81		ハケ目調整。
S字斐	82		胴下部ハケ目調整。
S字斐	83		脚台部ハケ目調整。
S字斐	84		脚台部ハケ目調整。
S字斐	85	脚台部内面に折り返しをもつ。	ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。
S字斐	86	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
不明。	A + B + C + 粗砂粒	橙褐色	口径(16.8) 残存高 2.7	口縁部10%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径(13.6) 残存高 3.2	口縁部10%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径10.3 胴部最大径14.3 残存高15.6	口縁部70%、胴部40%残存。 №18
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	口径(11.7) 残存高 6.9	口縁部10%、胴部上半30%残存。
胴下部ナデ。接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付。接合部下面指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	残存高 6.5	胴下部50%残存。 №2
接合部上面窓ナデの後砂粒を多く含む粘土を貼付した後指ナデ。接合部下面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色 (黒色)	残存高 4.8	接合部 100 %残存。
胴下部窓ナデ。接合部上面に貼付される粘土は剥落か。接合部下面は色調の僅かに異なる粘土を貼付の後丁寧なナデか。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	底径(10.9) 残存高11.2	胴下部40%、脚台部30%残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後上面を粗いナデ、下面を指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 2.3	接合部 100 %残存。
接合部両面に粘土を貼付した後上面をナデ、下面を指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 3.6	接合部 100 %残存。
接合部両面に粘土を貼付した後下面を指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 2.5	接合部 100 %残存。
接合部上面を指ナデした後胴部を接合し、更に砂粒を多く含む粘土を貼付し指ナデ。下面も砂粒を多く含む粘土を貼付した後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 2.2	接合部 100 %残存。
脚台部指ナデの後折り返し近くを横位のナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	灰褐色	底径(12.2) 残存高 4.7	脚台部40%残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付し下面を指ナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径10.7 残存高 7.0	脚台部80%残存。 №21

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
S字斐	87	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。
S字斐	88	脚台部内面に折り返しをもつが弱い。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れている。
S字斐	89	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れている。
S字斐	90	脚台部内面の折り返し乱れる。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れている。
S字斐	91		脚台部のハケ目調整著しく乱れる。
S字斐	92	脚台部内面の折り返し乱れる。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。
S字斐	93	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。
S字斐	94	脚台部内面に折り返しをもつが乱れる。	脚部下端・脚台部浅いハケ目調整。
台付斐	95	折り返しをもたない。	接合部指ナデ。脚台部笠削りの後ナデか。
台付斐	96	脚台部内面の折り返し乱れる。	脚部下端笠削り。脚台部笠削りの後ナデ。
器台	97	口縁部外反する。脚部は「ハ」字状に開き、3孔を有す。	口縁部横ナデ。器受部笠削り。脚部笠磨き。
器台	98	口縁端部肥厚する。脚部は「ハ」字状に開き、3孔を有す。	口縁部横ナデ。器受部笠削り。脚部笠磨き。
器台	99	口縁部短く外反する。稜が鋭い。脚部が「ハ」字状に開き3孔を有す。	口縁部横ナデ。器受部ナデか。脚部笠磨き。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
接合部上面を指ナデしそこに洞部を接合する。接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付する。その後指ナデし更に丁寧にナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径 9.3 残存高 6.1	脚台部80%残存。
接合部両面に砂粒の多い粘土を貼付。脚台部ナデ。折り返しは指頭による押えか。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	底径 9.0 残存高 5.5	脚台部40%残存。
接合部両面に粘土を貼付し上面を窓ナデ、下面指ナデ。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + E + F + 細砂粒	灰褐色	底径 10.4 残存高 7.1	脚台部 100 % 残存。 No.3
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後ナデ。脚台部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径 (8.1) 残存高 7.2	脚台部40%残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後下面を指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 3.8	接合部 100% 残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後上面を窓ナデ、下面を指ナデ。脚台部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	底径 8.6 残存高 7.0	脚台部70%残存。
接合部両面に黒色を帯びた砂粒を多く含む粘土を貼付した後両面ナデ。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径 10.4 残存高 8.1	脚台部50%残存。 No.11
接合部上面窓ナデ、下面ナデ。脚台部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径 (8.2) 残存高 6.1	脚台部20%、接合部 100 % 残存。
脚台部指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径 7.4 残存高 5.2	脚台部80%残存。
接合部上面ナデ。脚台部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径 8.4 残存高 6.3	脚台部60%残存。
器受部ナデ。脚部窓削りの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径 8.5 残存高 9.0	器受部90%、脚部30 % 残存。 No.15
器受部ナデ。脚部窓削りの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径 8.3 残存高 6.6	器受部90%、脚部30 % 残存。 No.5
器受部窓ナデ。脚部ナデか。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径 3.8 残存高 4.1	器受部 100 %、脚部 20% 残存。 No.1

170号住居跡出土土器（第167図）

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
壺	1	口径が胴部最大径より大きい。口縁部中程で弱く内凹する。弱い上げ底を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ナデ、下半指頭による押えの後、胴部下端から底部にかけて範削り。
高杯	2	柱状部から溜部への移行はゆるやか。	柱状部ナデ。溜部横ナデ。
高杯	3	杯部に稜をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。

172号住居跡出土土器（第169・170図）

壺	1	口縁部外反する。	口縁部上半横ナデ、下半ナデ。胴上部範削りの後ハケ目調整。
壺	2	口縁部外反する。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部範削りの後ナデ。
壺	3	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ナデ、下半範削りの後ナデ。胴部中央に黒斑。スス付着。
甕	4	口縁部外反する。最大径を胴部中央より下にもつ。上げ底を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部・中央部粗いナデ、下部ナデ。
甕	5	口縁部外反する。口縁部の器肉厚い。	口縁部範ナデの後横ナデ。胴部範削りの後ナデ。
甕	6	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部上半範削りの後ナデ。
小型壺	7	範削りにより底部を作りだす。	胴部上半丁寧なナデ、下半範削り。底部範削り。
小型壺	8	口縁部外反氣味に開く。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半範削りの後ナデ。
高杯	9	杯部に段も稜もなく接合部からそのまま内凹氣味に開く。	杯部範削りの後ナデ、上半は横ナデ、その後暗文状の範磨き。黒斑有り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部上端近くのみ横ナデ、以下ナデ。胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径 9.2 底径 2.6 胴部最大径 8.0 器高 9.8	口縁部50%、胴部・底部100%残存。 Na 2
柱状部指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	底径 14.2 残存高 8.6	柱状部・胴部100%残存。 Na 1
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	赤褐色	口径 18.7 残存高 6.7	口縁部60%、杯下部40%残存。貯藏穴

胴上部ナデ。	A + B + C + D	黄褐色	口径 16.9 残存高 8.8	口縁部90%残存。 Na 3, 5
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 粗砂粒	灰褐色	口径 19.2 残存高 9.0	口縁部・胴上部70%残存。柱穴。
胴部窓ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	茶褐色	口径 18.3 胴部最大径 29.0 残存高 24.7	口縁部40%、胴部30%残存。 Na 4
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	褐色	口径 19.5 底径 5.0 胴部最大径 23.6 器高 25.8	口縁部・胴部60%、底部100%残存。 Na 7
頸部窓削り。胴部上半窓ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径 17.1 胴部最大径 23.9 残存高 21.7	口縁部 100%、胴部40%残存。 Na 8
口縁部窓ナデの後横ナデ。胴部上半ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	茶褐色	口径 16.8 胴部最大径 20.5 残存高 13.8	口縁部 100%、胴部上半80%残存。 Na 6, 7
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径 5.0 胴部最大径 13.1 残存高 7.0	胴部70%、底部100%残存。 Na 5
胴部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	黄褐色	口径(13.2) 胴部最大径 12.7 器高 11.3	口縁部10%、胴部30%残存。 Na 9
杯部上半横ナデ、下半ナデ、その後暗文状の窓磨き。	A + B + C + F	黄褐色	口径 13.9 残存高 4.1	杯部90%残存。柱穴。

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
高杯	10	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデの後範磨き。杯下部範削り。
高杯	11	口縁部直線的に開く。	口縁部横ナデ。杯下部範削り。

174号住居跡出土土器（第172・173図）

壺	1	最大径を胴部中央より上にもつ。上げ底を呈す。	口縁部・胴部とも器面の剥落が著しく、荒れている。底部中央はナデ。
壺	2	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部上半範削りの後ナデ。
壺	3	口縁部直線的に開き、丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデ。
壺	4	口縁部直線的に開く。底部僅かに突出。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデ。底部ナデ。
壺	5		胴上部・中央部ナデ、下部範削り。
高杯	6	杯部の稜を範削りによって作りだす。口縁部外反する。	口縁部横ナデの後暗文状の範磨き。杯下部ハケ目調整。
高杯	7	杯部に明瞭な稜をもたない。	口縁部横ナデの後暗文状の範磨き。杯下部部分的に範削りを残す。口縁部に黒斑。
高杯	8		柱状部範磨き。上端に範跡残す。
高杯	9	杯部の稜を範削りによって作りだす。	口縁部範削りの後横ナデ。杯下部範削りの後ナデ。
高杯	10	口縁部大きく開く。杯部に弱い段をもつ。作りが雑。	口縁部横ナデ。杯下部範削りの後ナデ。柱状部ナデ。
高杯	11		柱状部ナデ。
壺	12	最大径を胴部中央にもつ。上げ底を呈す。ドーナツ状の粘土を貼付したものか。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部・中央部ナデ。胴下部範削りの後ナデ、部分的に範削り残す。底部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部横ナデの後窓磨き。杯底部窓磨き。	A + B + C + F + 細砂粒	淡褐色	口径19.0 残存高 5.8	口縁部60%、杯下部100%残存。No.2
杯下部ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + F + 細砂粒	茶褐色	口径18.1 残存高 5.9	口縁部70%、杯下部90%残存。No.1

口縁部・胴部とも不明。	A + B + C + D + 小砾	茶褐色	底径 7.1 胴部最大径27.7 残存高29.5	口縁部30%、胴部40%、底部100%残存。 No.12
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径(25.1) 残存高17.1	口縁部30%、胴上部20%残存。 No.11
胴部上半ナデ、下半窓ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径10.4 胴部最大径 9.1 器高 9.6	口縁部50%、胴部100%残存。 No.1、4
口縁部窓ナデの後横ナデ。胴部上端指頭による押え。胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径(11.2) 底径 4.8 胴部最大径13.0 器高12.4	口縁部20%、胴部60%、底部80%残存。 No.9
胴部指ナデ。	A + B + C + D + E + 細砂粒	赤褐色	胴部最大径 8.7 残存高 5.4	胴部70%残存。
口縁部横ナデの後暗文状の窓磨き。杯底部ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径18.8 残存高 6.3	口縁部70%、杯下部100%残存。
口縁部横ナデの後暗文状の窓磨き。杯底部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径17.6 残存高 5.3	口縁部60%、杯下部90%残存。
柱状部窓削りの後上端のみ先の丸い棒状工具によるナデ。	A + B + C + F + 細砂粒	茶褐色	残存高 7.7	柱状部70%残存。
口縁部窓削りの後横ナデ。杯底部窓削りの後ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径22.4 残存高 7.8	口縁部70%、杯下部100%残存。 No.4
杯底部荒れている。柱状部窓削り。上端のみ先の丸い棒状工具によるナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径19.5 残存高10.4	口縁部60%、杯下部90%、柱状部40%残存。
柱状部窓削りの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	残存高 8.3	柱状部70%残存。 No.5
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径(17.1) 底径 6.5 胴部最大径24.7 器高25.9	口縁部30%、胴部60%、底部100%残存。 No.6

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
甕	13	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ。
甕	14	口縁部外反する。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部ナデ。
甕	15	口縁部外反気味に開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部ナデ。
甕	16	底部中央指頭による押えのため窪む。	胴下部ハケ目整形の後ナデ。底部範削り。
S字甕	17	口縁部器内厚い。	口縁部横ナデ。胴上部範削りの後ハケ目調整。
台付甕	18		胴部範削りの後部分的にナデ。
瓶	19	口縁部に粘土接合痕を残す。	口縁部ナデ。胴部ナデ。底部ナデ。口縁部に黒斑。

176 号住居跡出土土器（第 175 図）

小型甕	1	口縁部内側気味に開く。口径と胴部最大径がほぼ等しく、胴部最大径を中心にもつ。上げ底を呈す。	口縁部横ナデの後範磨き。胴部範磨き。下部に向うほど範磨きの密度が粗になる。底部ナデ。
鉢	2	口縁部外反する。丸底を呈す。	口縁端部のみ横ナデ。口縁部・胴部浅いハケ目調整。
杯	3	上げ底を呈す	体部範磨き。底部範削りの後範磨き。
S字甕	4	段部はしっかりしている。口縁部短く外反する。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字甕	5	段部が弱い。	口縁部横ナデ。
S字甕	6	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部範歯状のハケ目が著しく乱れる。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径(20.2) 残存高 7.5	口縁部20%、胴上部 10%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	口径19.7 残存高 8.9	口縁部40%、胴上部 20%残存。No.7
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	口径(19.1) 残存高 6.3	口縁部20%残存。
胴下部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	褐色 (黄褐色)	底径 5.4 残存高 5.5	底部60%残存。
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	灰褐色 (黄褐色)	口径(19.0) 残存高 4.5	口縁部20%、胴上部 10%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	橙褐色	残存高14.7	胴部40%残存。No.11
口縁部ハケ目整形。胴部ハケ目整形の後観ナデ。底部指ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	黄褐色	口径14.3 底径 4.8 器高10.0	完形。No.2

口縁部荒磨き。胴部ナデ。	A + B + C + D + F	茶褐色	口径(10.9) 底径 (3.6) 胴部最大径11.0 器高11.5	口縁部10%、胴部30%、底部50%残存。 No.1、3
口縁部横ナデ。胴部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	褐色	口径(15.4) 器高 6.5	口縁部30%、胴部60%残存。No.3
体部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	赤褐色	口径 9.3 底径 3.3 器高 3.3	体部60%、底部 100%残存。No.2
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 紹砂粒	黄褐色	口径(12.8) 残存高 2.7	口縁部10%残存。
	A + B + C + D + 紹砂粒	橙褐色	口径(14.7) 残存高 2.3	口縁部10%残存。
脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + 紹砂粒	茶褐色	底径 (8.9) 残存高 4.5	脚台部30%残存。 No.2

177 号住居跡出土土器 (第177~182図)

器種	番号	形 築 の 特 徴	外 面 の 観 察
壺	1	複合口縁を呈す。口縁部内側気味に開く。弱い上げ底を呈す。	口縁部暗文状の範磨き。頭部ハケ目整形の後ナデ。胴下部ハケ目整形の後ナデ。底部ナデ。
壺	2	複合口縁を呈す。胴部はほぼ球形を呈す。	口縁部範磨き。頭部・胴部上端ナデ。胴部範磨き。
壺	3	二重口縁を呈す。口縁端部弱い凹面を呈す。	口縁部横ナデ。
壺	4	二重口縁を呈す。口縁部外反する。頭部やや開き気味に立ち上がる。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ、その後暗文状の範磨きか。頭部ハケ目整形の後ナデ、その後暗文状の範磨きか。
壺	5		胴部上半範磨き、下半範削りの後ナデ。
壺	6		口縁部・胴上部範磨き。
壺	7	胴部は球形を呈すと思われる。	胴部上半範削りの後範磨き。
小型壺	8	胴部最大径を中央にもつ。上げ底を呈す。	胴部範磨き。底部範削りの後ナデ。
壺	9	胴部最大径を中央にもつ。上げ底を呈す。底部はドーナツ状の粘土を貼付したものか。	胴部上端ハケ目整形の後ナデ。胴部範磨き。底部ナデ。
壺	10		胴上部ハケ目調整の後範磨き。
壺	11	口縁部内側気味に開く。	口縁部ハケ目整形の後暗文状の範磨き。
小型壺	12	球形の胴部をもち、上げ底を呈す。	胴部範磨き。底部範削りの後ナデ。
壺	13	球形の胴部をもち、上げ底を呈す。	胴部範磨き、上端のみ範削りを残す。底部範削り、中央の窪みのみ範削りの後ナデ。胴部から底部にかけて黒斑。
壺	14	平底を呈す。作りが雑である。	胴部ハケ目調整。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部・頸部荒磨き。胴下部ハケ目整形の後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(14.8) 底径 8.0	口縁部・頸部20%残存。胴下部30%、底部100%残存。 No15, 17, 24
口縁部荒磨き。胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口底17.4 胴部最大径22.9 残存高32.8	口縁部70%、頸部100%、胴部50%残存。 No24
	A + B + C + D + 細砂粒	黒色	口径(17.4) 残存高 3.2	口縁部10%残存。 No14
口縁部ハケ目整形の後横ナデ、その後暗文状の荒磨き。頸部ハケ目整形の後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 8.8	口縁部70%、頸部100%残存。
胴部丁寧なナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	残存高13.0	胴部30%残存。
口縁部荒磨き。	A + B + C + D	褐色	残存高 6.6	口縁部10%、胴上部20%残存。
胴部上半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	残存高 6.2	胴部上半40%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色 (黄褐色)	底径 3.6 胴部最大径14.1 残存高10.9	胴部40%、底部100%残存。
胴部上端荒削り。胴部ハケ目調整。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径 6.6 胴部最大径28.6 残存高27.1	口縁部20%、胴部70%、底部100%残存。 No13, 35
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高14.0	胴上部70%残存。 No13
口縁部荒磨き。	A + B + C + D + F	黄褐色	口径12.7 残存高 8.2	口縁部90%残存。 No 3
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色 (黄褐色)	底径 3.2 残存高10.0	胴部50%、底部100%残存。No33
胴部ナデ。底部荒ナデ。	A + B + C + D	赤褐色	底径 3.9 残存高 6.8	胴部50%、底部100%残存。
胴部粗い指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径 4.5 胴部最大径 9.7	胴部・底部100%残存。No 8

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
壺	15	平底を呈す。	胴部上半箄削りの後ナデか、下半箄削り。底部箄削り。
壺	16	球形の胴部をもち、丸底を呈す。	胴部箄削りの後ナデか。
小型甕	17		口縁部横ナデ。胴上部箄削りの後ナデ。
壺	18	弱い上げ底を呈す。	胴下部箄削りの後ナデ。底部箄削りの後ナデ。胴下部から底部にかけて黒斑。
甕	19	口縁部内彎気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目整形の後ナデ。
甕	20	口縁部近くで強く外方向へ屈曲して水平に短く開く。	口縁部横ナデ。胴部上半箄削りの後ナデ。
甕	21	頸部で強く屈曲して「く」字状を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部箄削りの後ナデ。
甕	22	口縁部外反気味に開く。胴部は球形を呈すと考えられる。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴上部ハケ目整形の後ナデ、中央部箄削り。
甕	23	口縁部外反する。	口縁部ハケ目整形の後上半を横ナデ。胴上部ハケ目整形、中央部箄削りの後ナデ。
甕	24	口縁部外反気味に開く。上げ底を呈す。	口縁部ハケ目整形の後横位のナデ。胴部上半ハケ目整形、下半ハケ目整形の後箄削り。底部箄削りの後ナデ。
壺	25		胴部下半箄削りの後ナデ。
甕	26	口縁部直線的に開く。最大径を胴部中央にもつ平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部箄削り。底部箄削り。胴部スス付着。底部に火を受けている。
高 杯	27	杯部に段をもつ。端部は平坦。	口縁部ハケ目整形の後箄磨き。杯下部箄磨き。
高 杯	28	杯部に段をもつ。口縁部外反する。杯部が浅い。	口縁部箄磨き。杯下部箄磨き。

内面の観察	胎土色調	法量	備考
胴部ナデ。底部窓ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色 底径 3.9 残存高 4.8	胴部下半30%、底部80%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D	淡褐色 胴部最大径 8.0 残存高 6.3	胴部70%残存。№12
胴部ナデ。	A+B+C+D	淡褐色 口径 (9.4) 残存高 5.1	口縁部・胴上部10%残存。
胴下部ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色 底径 5.2 残存高 4.8	胴下部20%、底部70%残存。№13
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴上部ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色 口径(15.2) 残存高 7.9	口縁部30%残存。
胴部上半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色 口径16.6 胴部最大径23.1 残存高14.2	口縁部80%、胴部上半90%残存。№20
胴上部窓削り。	A+B+C+D+F+粗砂粒	橙褐色 口径(19.8) 残存高 9.1	口縁部20%、胴上部10%残存。№10
胴部窓ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色 口径(14.0) 胴部最大径18.8 残存高13.6	口縁部20%、胴部上半40%残存。№38
胴部窓ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色 口径(15.0) 胴部最大径20.7 残存高15.4	口縁部20%、胴部上半40%残存。№32
口縁部ハケ目調整。胴部上半窓ナデ、下半ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	褐色 口径12.8 底径 5.6 胴部最大径18.3 器高16.9	口縁部100%、胴部・底部70%残存。№15
胴部下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色 残存高13.0	胴部下半80%残存。№7
胴部窓削りの後丁寧なナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色 口径12.4 底径 4.0 胴部最大径15.2 器高14.1	口縁部80%、胴部70%、底部30%残存。№9
口縁部ハケ目整形の後窓磨き。	A+B+C+D	赤褐色 口径15.2 残存高 4.6	杯部80%残存。№29
口縁部窓磨き。	A+B+C+D	橙褐色 口径(18.9) 残存高 3.1	口縁部・杯下部20%残存。

器種	番号	形 猛 の 特 徴	外 面 の 観 察
高 杯	29	接合部からそのまま開いて口縁部に至る。	口縁部横ナデの後範磨き。
高 杯	30	柱状部円柱状を呈し、裾部は水平に開く。	口縁部横位の範磨き。杯下部・柱状部範磨き。裾部横ナデの後範磨き。
高 杯	31	柱状部円柱状を呈し、裾部は水平に開く。	口縁部・杯下部範磨き。柱状部範磨き。裾部横ナデの後範磨き。
高 杯	32	柱状部円柱状を呈し、裾部は内側気味に開く。	杯下部・ハケ目整形の後ナデ。柱状部範磨き。裾部ハケ目整形の後横ナデ。
高 杯	33	柱状部円柱状を呈し、裾部は水平に開く。	柱状部範磨き。裾部横ナデの後範磨き。
高 杯	34	柱状部短く、裾部は大きく開く。	柱状部範磨き。裾部横ナデの後範磨き。
器 台	35	裾部短く水平に開く。柱状部に3孔有す。	柱状部範磨き。裾部横ナデ。
高 杯	36	柱状部下端に3孔有す。	柱状部範磨き。
高 杯	37	柱状部と裾部の境目に貼り付けによる段をもつ。	柱状部・裾部範磨き。
高 杯	38		柱状部範磨き。
高 杯	39		柱状部範磨き。範跡を残す。
高 杯	40		柱状部範磨き。
高 杯	41		柱状部範磨き。
高 杯	42		柱状部範磨き。
高 杯	43		柱状部範磨き。
堆	45	口縁部直線的に開き、口径が胴部最大径を凌ぐ。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデ。底部ナデ。赤彩か。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部横ナデ。	A+B+C+小砾	黄褐色	口径15.0 残存高 5.2	杯部80%残存。No.25
口縁部・杯底部範磨き。柱状部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	底径 9.4 残存高10.0	杯下部・柱状部100%、 根部60%残存。No.31
口縁部・杯底部範磨き。柱状部範削り。	A+B+C+F+細砂粒	淡褐色	底径 (9.6) 残存高 9.7	杯下部・柱状部100%、 根部20%残存。No.26
杯底部ハケ目整形の後ナデ。柱状部範削りの後ナデ。	A+B+C+D+F	茶褐色	底径11.0 残存高10.5	杯下部90%、柱状部 100%、根部70%残存。 No.20
柱状部範削り。根部ハケ目整形の後横ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	褐色	底径 9.5 残存高 7.5	柱状部100%、根部 20%残存。
柱状部範削りの後ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	褐色	底径13.2 残存高 6.6	柱状部100%、根部 50%残存。
柱状部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	底径11.6 残存高 5.6	柱状部30%、根部40% 残存。
柱状部範磨り。根部ハケ目調整。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 7.5	柱状部80%残存。
柱状部上端に絞り目残す。以下はナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 9.7	柱状部100%、根部 20%残存。
柱状部絞り目をナデ消す。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 6.2	柱状部60%残存。 No.5
柱状部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 9.0	柱状部90%残存。
柱状部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 7.2	柱状部70%残存。
柱状部範削り。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	残存高 7.5	柱状部80%残存。
不明。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	残存高 4.7	柱状部30%残存。
杯底部範磨き。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 3.8	柱状部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径10.2 底径 (2.5) 器高 9.6	口縁部40%、胴部60%、 底部30%残存。

器種	番号	形態の特徴	外観の観察
壺	46	口縁部内彎気味に開く。丸底を呈す。	口縁部ハケ目整形の後暗文状の荒磨き。胴部窓削りの後上半を荒磨き。
壺	47	口縁部内彎気味に開く。口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部窓削りの後横ナデ。胴部窓削りの後ナデ。
壺	48	口径が胴部最大径を凌ぐ。底部は小さく突出し平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部窓削りの後上半をナデ。底部ナデ。胴部に黒斑。
壺	49	頸部内面に稜をもつ。	口縁部窓削りの後横ナデ、胴部ナデ。底部先の丸い棒状工具によるナデ。
壺	50	頸部内面に横ナデにより僅かに稜をもつ。	口縁部上端横ナデ、以下はナデ。胴部ナデ。
壺	51	口縁部内彎気味に開く。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。
壺	52	底部弱い上げ底。	胴部窓削りの後ナデ。底部ナデ。
鉢	53	口縁部直線的に開く。薄い精製土器。	口縁部窓削りの後ナデ。体部窓削りの後ナデ。底部窓削りの後ナデ。
杯	54	半球形を呈す。	口縁部横ナデ。体部指ナデの後窓削り。
器台	55	口縁部外反する。脚部「ハ」字状に開き3孔を有す。	口縁部横ナデ。器受部ハケ目整形の後荒磨き。脚部ハケ目整形の後荒磨き。脚部下端横ナデ。
S字甕	56	段部はしっかりしているが、口縁部の器肉が厚い。	口縁部横ナデ。胴上部窓削りの後ハケ目調整。
S字甕	57	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚部窓削りの後ハケ目調整。胴下部のハケ目調整は乱れている。脚台部鋸歯文状のハケ目調整痕が残すが乱れている。
S字甕	58	段部は粘土紐を貼付しただけか。脚台部膨らむ。	口縁部横ナデ。胴部ハケ目整形の後窓削り、その後部分的に粗いナデか。脚台部窓削り。脚端部窓削りの後横ナデ。
S字甕	59	段部はしっかりしている。口縁部肥厚する。	口縁部横ナデ。胴上部窓削りの後ハケ目調整。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部ハケ目整形の後縮文状の範磨き。胴部ナデ。底部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(8.0) 胴部最大径 5.8 器高 7.1	口縁部10%、胴部100%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+F+細砂粒	黄褐色	口径 9.1 残存高 5.5	口縁部50%、胴部40%残存。No39
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径 9.9 底径 0.8 器高 5.3	完形。No34
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(11.7) 器高 6.1	口縁部10%、胴部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	口径(13.0) 器高 6.8	口縁部20%、胴部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	口径(16.8) 残存高 4.7	口縁部20%、胴部30%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	胴部大径 5.7 残存高 2.7	胴部30%残存
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径(18.6) 底径(4.8) 器高 8.7	口縁部・胴部30%、底部20%残存。
体部範ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径10.8 器高 4.6	90%残存。No21
器受部ハケ目整形の後ナデ。脚部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径 8.2 底径(12.9) 器高10.4	口縁部70%、器受部100%、脚部40%残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+F+粗砂粒	橙褐色	口径(15.0) 残存高 6.3	口縁部・胴上部20%残存。No1
胴部ナデ。接合部両面に器内の胎土と色調の異なる粘土を貼付。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A+B+C+F+細砂粒	灰褐色	底径 9.2 胴部最大径20.7 残存高21.9	胴部70%、脚台部100%残存。No18
胴部ハケ目調整。脚台部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(13.4) 底径 9.3 胴部最大径21.8 器高27.1	口縁部40%、胴部60%、底部100%残存。No37
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(14.6) 残存高 8.5	口縁部・胴上部30%残存。No32

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
S字斐	60	段部はしっかりといる。口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部ザックリしたハケ目調整。
S字斐	61	口縁部の器内が厚く、短く開く。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字斐	62	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。段部指ナデ。胴上部ハケ目調整。
S字斐	63	脚台部内面に折り返しをもつ。	胴下部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残す。
S字斐	64	脚台部内面に折り返しをもつ。	胴下部ハケ目調整。脚台部ナデ
S字斐	65	脚台部内面に折り返しをもつ。	胴下部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れている。
S字斐	66	脚台部内面に折り返しをもつ。	胴下部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れている。
S字斐	67	脚台部内面に折り返しをもつ。	鋸歯状のハケ目調整痕乱れる。
S字斐	68	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れる。
S字斐	69		脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れる。
S字斐	70		脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れる。
S字斐	71	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れる。
S字斐	72	脚台部内面に折り返しをもつ。	脚台部ハケ目調整痕を鋸歯状に残すが乱れる。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴上部指ナデ様の押え、中央部・下部 笠ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	灰褐色	口径(12.0) 残存高14.0	口縁部10%、胴部30%残存。No.30
胴上部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径(10.1) 残存高 2.8	口縁部・胴上部10%残存。
胴上部ナデ。	A+B+C+F+粗砂粒	灰褐色	口径(15.2) 残存高 2.8	口縁部20%残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後上面をナデ、下面を指ナデ。 脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	底径(8.4) 残存高 9.8	脚台部40%残存。
接合部上面笠ナデの後砂粒を多く含む粘土を貼付、その後ナデ。下面砂粒を多く含む粘土を貼付した後ナデ。脚台部中央と折り返し指頭による押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	淡褐色	底径(10.0) 残存高 9.6	接合部 100%、脚台部40%残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	灰褐色	底径 7.3 残存高 7.8	接合部 100%、脚台部80%残存。
胴下部笠ナデ。接合部上面笠ナデの後砂粒を多く含む粘土を貼付。下面器肉と同じ胎土の粘土を貼付。脚台部ナデ。折り返しハケ目整形の後ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	底径 7.4 残存高 9.4	胴下部30%、脚台部100%残存。No.6
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付。脚台部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	灰褐色	底径 9.6 残存高 7.9	脚台部 100% 残存。No.2
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後指ナデ。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色	底径 9.8 残存高 6.6	脚台部 100% 残存。No.4
接合部上面指ナデした後胴部下端を接合し、砂粒を多く含む粘土を貼付の後笠ナデ。下面砂粒を多く含む粘土を貼付の後指ナデその後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	残存高 5.1	接合部90%、脚台部40%残存。No.14
接合部上面砂粒を多く含む粘土を貼付。下面も同様に貼付したと思われるが剥落している。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	残存高 3.0	接合部 100% 残存。No.36
接合部両面とも砂粒を多く含む粘土を貼付。脚台部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 8.6 残存高 6.5	接合部50%、脚台部70%残存。
接合部上面を笠ナデした後砂粒を多く含む粘土を貼付。下面砂粒を多く含む粘土を貼付。脚台部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径 9.4 残存高 6.9	接合部 100%、脚台部60%残存。No.19

器種	番号	形態の特徴	外面の概観
S字甕	73	脚台部内面に折り返しをもつが弱い。	脚台部摩滅が著しい。
S字甕	74	脚台部内面に折り返しをもつが弱い。	脚台部ハケ目調整痕が鋸歯状を呈さない。
台付甕	75		胴部下端箄削り。

178号住居跡出土土器（第184図）

壺	1	二重口縁を呈す。	口縁部暗文状の箄磨き。頸部暗文状の箄磨き。胴部上端箄削りの後ナデか。
壺	2	二重口縁を呈すと思われる。	頸部ハケ目整形の後ナデ。
壺	3		ハケ目整形の後ナデ。光沢あり。
甕	4	上げ底を呈す。	胴下部ハケ目調整。底部砂粒を多く含む粘土を貼付。
壠	5		胴部箄磨き。赤彩。
壠	6	丸底を呈す。	胴部箄削り。
高杯	7	杯部に稜も段ももたない。	口縁部横ナデの後暗文状の箄磨き。
高杯	8		柱状部箄磨き。裾部横ナデ。

179号住居跡出土土器（第184～187図）

壺	1	二重口縁を呈す。口縁端部で立ち上がる。胴部下膨れを呈す。	口縁部横ナデ。頸部ハケ目整形の後ナデ。胴上部ナデ、中央部・下部粗い箄磨き。
壺	2	口縁部外反する。端部は平坦。作りは雑。	口縁部箄削りの後横ナデ。胴上部箄削り。
壺	3	口縁部外反する。端部は平坦。作りは雑。	口縁部箄削りの後横ナデか。胴部上半箄削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
接合部両面に砂粒を多く含む胎土を貼付。下面はその後指ナデ。脚台部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	底径(9.0) 残存高 7.8	接合部100%、脚台部40%残存。
接合部両面に粘土を貼付。脚台部ナデ。折り返しは指頭による押えをもたない。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	底径 9.9 残存高 8.3	接合部100%、脚台部60%残存。
接合部上面箒ナデ。高杯と同様のホゾをもつ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高 2.2	接合部50%残存。 No.38

頸部ナデ。胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径(27.7) 残存高11.4	口縁部40%、頸部70%残存。No.2
頸部箒ナデの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	褐色	残存高 5.7	頸部20%残存。
ハケ目調整。	A + B + C + D + F	淡褐色	胴部最大径27.2	胴部20%残存。
底部砂粒を多く含む粘土を貼付。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	底径(7.9) 残存高 3.5	底部50%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D	橙褐色	残存高 4.9	胴部40%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + F	褐色	残存高 2.2	胴部・底部20%残存。
口縁部横ナデの後暗文状の箒磨き。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径12.1 残存高 4.5	杯部90%残存。No.1
柱状部箒削り。	A + B + C + D	橙褐色	残存高 5.3	柱状部40%残存。 No.7

頸部ナデ。胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径21.7 胴部最大径25.4 残存高32.6	口縁部・頸部70%、 胴部60%残存。No.23
胴上部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径16.4 残存高10.0	口縁部70%残存。 No.15, 18, 19
胴部上端指頭による押え。胴部上半ナデ。	A + B	赤褐色	口径15.4 残存高18.4	口縁部80%、胴部上半30%残存。No.19

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
壺	4	口縁部外反する。胴部下彫れを呈す。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部粗い 笠磨き。下部笠削りの後ナデ。
壺	5	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。底部は上 げ底か。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ハケ目整 形の後ナデ、下部丁寧なナデ。底部笠削 り。胴部に黒斑。赤彩か。
壺	6	胴部下彫れを呈す。上げ底を呈す。	胴部笠削りの後ナデか。器面が摩滅して いる。
壺	7	胴中央部に最大径をもつ。平底を呈す。	胴部上半ナデ、下半笠削りの後ナデ。底 部笠削り。
小型壺	8	丸底を呈す。	胴部上半ハケ目整形の後ナデ、下半笠削 りの後ナデ。
小型壺	9	上げ底を呈す。ドーナツ状の粘土を貼付したものか。	胴下部ナデ。底部ナデ。
壠	10	平底を呈す。	胴部笠削り。底部笠削りの後ナデ。
壠	11	上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部・底部ナデ。
壠	12	口縁部外反気味に開く。	口縁部・胴上部横ナデ。胴中央部・下部 ナデ。
壠	13	口縁部内彎気味に開く。器高に比べ口径が大きい。	口縁部笠削りの後上端近くを横ナデ。胴 部上半笠磨き、下半笠削りの後ナデ。
壠	14		頸部笠削り。
杯	15	上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。体部・底部ナデ。口縁部 から体部にかけて黒斑。
器 台	16	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。器受部笠削りか。
器 台	17	3孔を有す。	脚部笠磨き。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径14.3 胸部最大径21.8 残存高20.5	口縁部70%、胸部60%残存。No.18
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(12.4) 底径(6.7) 胸部最大径22.0	口縁部20%、胸部70%、底部30%残存。
胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	底径5.0 胸部最大径15.8 残存高13.7	胸部90%、底部100%残存。No.20
胴上部指ナデ、中央部籠ナデ。底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	底径4.6 胸部最大径14.4 残存高10.5	胸部40%、底部50%残存。No.24
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	残存高8.0	胸部50%残存。No.10
底部籠ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色 (淡褐色)	底径5.2 残存高4.2	底部100%残存。No.7
胴部指ナデ。	A + B + C + D + F	淡褐色	底径2.4	胸部30%、底部100%残存。
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径4.5 胸部最大径8.1 残存高7.7	口縁部30%、胸部・底部100%残存。No.26
胴部上半ナデ、下半籠ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(10.5) 胸部最大径11.1 器高7.1	口縁部20%、胸部90%残存。No.12
口縁部横ナデの後暗文状の籠磨き。胴部ナデ。	A + B + C + D	赤褐色	口径(15.0) 残存高4.8	口縁部20%、胸部30%残存。
口縁部暗文状の籠磨き。	A + B + C + D	赤褐色	残存高3.3	口縁部・胸部30%残存。
体部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	灰褐色	口径(11.8) 底径4.9 器高4.5	口縁部40%、体部50%、底部100%残存。No.20, 22, 24
器受部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径8.4 残存高2.5	口縁部30%、器受部100%残存。
脚部籠削り。上端のみ籠削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡茶褐色	残存高4.9	脚部30%残存。

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
高 杯	18	口縁部内湾気味に開く。柱状部から裾部への屈曲は強い。	口縁部ハケ目整形の後上端近くを横ナデ。以下はハケ目整形の後ナデ。杯下部ナデ。柱状部・裾部笠磨き。
高 杯	19	杯部に弱い段をもつが部分的に不明瞭。口縁部内湾気味に開く。柱状部から裾部へ強く屈曲する。	口縁部笠削りの後上半を横ナデ、その後暗文状の笠磨き。杯下部笠削りの後暗文状の笠磨き。柱状部笠削りの後暗文状の笠磨き。裾部横ナデの後暗文状の笠磨き。口縁部・裾部に黒斑。
高 杯	20	杯部に段も稜も、もたない。	口縁部ハケ目整形の後下半を笠削り、その後暗文状の笠磨き。杯下部笠削り。
高 杯	21	杯部に段も稜も、もたない。	口縁部上半横ナデ、下半ナデ。
高 杯	22	口縁部外反する。	口縁部上半横ナデ。下半ナデ。杯下部ナデ。
高 杯	23	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデ。
高 杯	24	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。柱状部下端・裾部横ナデ。
高 杯	25		柱状部粗い暗文状の笠磨きか。
高 杯	26		柱状部ナデ。
高 杯	27	柱状部から裾部への屈曲が強い。	柱状部ナデ。裾部横ナデ
高 杯	28		柱状部笠削りの後ナデ。
高 杯	29		脚部笠削りの後ナデ。
高 杯	30		裾部横ナデか。
高 杯	31		裾部横ナデか。
高 杯	32		裾部横ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部横ナデの後暗文状の範削き。杯底部範削き。柱状部範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径17.6 残存高16.1	杯部・柱状部100%、裾部10%残存。No.22杯部はII号住居跡より出土。焼成良好。No.3
杯底部ナデ。柱状部上半指ナデの後続り、下半範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	淡褐色	口径19.0 底径14.0 器高17.6	杯部90%、柱状部100%、裾部90%残存。No.17, 18
口縁部・杯底部暗文状の範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径18.4 残存高5.1	口縁部70%、杯下部100%残存。No.11
口縁部下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	淡褐色	口径(19.3) 残存高5.5	杯部30%残存。
杯底部範ナデの後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径(17.1) 残存高6.1	杯部30%残存。
	A+B+C+D+F+細砂粒	褐色	口径(18.0) 残存高3.6	口縁部20%残存。No.26
柱状部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	底径(14.1) 残存高10.1	柱状部・裾部40%残存。No.5, 6, 10
柱状部上半指ナデ、下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高8.7	柱状部100%残存。No.1, 4
柱状部指ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高7.3	柱状部60%残存。
柱状部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径(14.5) 残存高7.0	柱状部40%、裾部30%残存。
柱状部上半指ナデの後続り、下半ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	残存高7.0	柱状部90%残存。No.3
脚部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色	底径(7.2) 残存高6.3	脚部80%残存。No.1
	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径(15.0) 残存高1.7	裾部30%残存。
柱状部下端ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径(13.2) 残存高3.0	裾部40%残存。
柱状部下端範削り。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	底径(12.6) 残存高2.7	裾部30%残存。

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
壺	33	口縁部外反気味に開く。作りが雑。	口縁部横ナデ。胴上部指ナデ。
壺	34	口縁部下半に膨らみをもつ。	口縁部笠削りの後横ナデ。胴部上半笠削りの後ナデ。
壺	35	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ。
壺	36	頸部で「く」字状に屈曲し、口縁部短く開く。作りが雑。	口縁部横ナデ。胴部指ナデの後部分的に笠削り。底部笠削り。
壺	37	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部上端ナデ、以下は指ナデ。
壺	38	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部笠削り。
瓶	39	底部からそのまま口縁部に至る。底部中央に1孔有す。	口縁部横ナデ。胴部・底部笠削り。胴部に黒斑。
S字壺	40		胴下部ハケ目調整。脚台部の鋸歯状のハケ目調整痕乱れる。

180 号住居跡出土土器（第 189 図）

壺	1	胴部球形を呈す。作りは丁寧。	口縁部笠磨き。胴部上端のみナデ、以下は笠削りの後笠磨き。底部笠削りか。
壺	2	上げ底を呈す。作りは丁寧。	胴下部笠磨き。底部ナデ。
小型壺	3	胴部最大径を中央より僅かに下にもち下膨れを呈す。弱い上げ底を呈す。	口縁部・胴上部・中央部笠磨き、胴下部笠削りの後ナデ。底部笠削り。
鉢	4	口縁端部が立ち上がる。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。体部上部・中央部笠磨りの後部分的にハケ目整形、その後ナデ。体部下部・底部笠削りの後ナデ。
瓶	5	底部が僅かに突出。	胴部下半ナデ。底部笠削り。胴部下半に黒斑。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴上部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径17.8 残存高 5.7	口縁部・胴上部90% 残存。No.15
胴部上半ナデ。	A+B+C+F+粗砂粒	赤褐色	口径(15.9) 胴部最大径20.5 残存高13.7	口縁部・胴部上半30% 残存。No.13
胴上部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	黄褐色	口径(21.9) 残存高 6.5	口縁部20%残存。 No.17
胴部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	褐色	口径17.9 底径 6.5 胴部最大径24.0 器高25.9	口縁部90%、胴部70%、底部100%残存。 No.18, 19, 21
胴部箇ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径16.4 残存高10.1	口縁部90%、胴上部 40%残存。No.16, 18, 21
胴部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	黄褐色	口径(15.4) 最大径16.6 残存高13.2	口縁部20%、胴部40% 残存。
胴部箇削り。孔端部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	黄褐色	口径19.3 底径 5.4 器高10.3	口縁部・胴部70%、 底部100%残存。 No.16, 18
胴下部箇ナデ。接合部両面に器肉と胎土・色調の違う粘土を貼付。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	残存高 6.5	胴下部・脚台部30% 残存。No.14

胴部上端指頭による押え、以下は丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径 (6.4) 胴部最大径23.9 残存高20.1	胴部80%、底部10% 残存。No.10
胴下部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	底径 7.4 残存高 4.9	胴下部20%、底部100% 残存。
口縁部箇削き。胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径 4.6 胴部最大径14.6 残存高15.2	口縁部10%、胴部70%、底部100%残存。 No.9
体部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径14.7 底径 3.0 器高 5.7	口縁部・体部90%、 底部100%残存。
胴部下半ナデ。孔端部箇削り。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	底径 (9.2) 残存高12.2	胴下部20%、底部30% 残存。

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
瓶	6	複合口縁を呈す。	口縁部指頭による押え。胴部笠削りの後ナデ。
甕	7	口縁部短く内灣気味に開き、端部は弱い凹面を呈す。 上げ底を呈す。	口縁部笠削りの後ナデ。胴上部・中央部笠削りの後ナデ、下部笠削り。底部笠削り。
高杯	8		柱状部笠磨き。
器台	9	脚部に3孔を有す。	不明。摩滅著しい。
高杯	10	脚部「ハ」字状に開く。	脚部ハケ目整形の後笠磨き。
壇	11	口縁部内湾気味に開く。上げ底を呈す。	口縁部横ナデの後笠磨き。胴部笠削りの後笠磨き。底部ナデ。
S字甕	12		ハケ目調整痕を鋸齒状に残す。
S字甕	13	脚台部内面に折り返しをもつが弱い。	胴下部ハケ目調整。脚台部ハケ目調整痕を鋸齒状に残すが乱れている。
S字甕	14	段部が弱く、口縁部短く外反気味に開く。	口縁部横ナデか。胴上部笠削りの後ハケ目調整。
S字甕	15	脚台部内面に折り返しをもつが弱い。	脚台部ハケ目調整痕を鋸齒状に残すが乱れている。

181号住居跡出土土器（第191・192図）

壺	1	複合口縁を呈す。	口縁部中央を強く横ナデする。頸部ナデ。胴部上半笠削りの後ナデ、下半笠削り。
壺	2	平底を呈す。	胴部下半粗いハケ目整形の後ナデ。底部笠削り。
壇	4	上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。底部ナデ。胴部に黒斑。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部指頭による押え。胴部範剤り。孔端部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	茶褐色	口径(21.7) 底径(7.0) 器高21.0	口縁部10%、胴部・底部30%残存。 No.3
口縁部・胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径11.8 底径3.6 胴部最大径12.8 器高14.9	口縁部・胴部60%、底部40%残存。No.8
柱状部上半指ナデ、下半ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	残存高7.3	柱状部70%残存。
不明。	A+B+C+D	橙褐色	残存高4.0	脚部30%残存。
脚部範剤りの後ナデ。脚端部近くハケ目調整。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	底径(8.7) 残存高5.7	脚部40%残存。
口縁部横ナデ。胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色 (茶褐色)	口径10.7 底径2.0 器高6.3	口縁部70%、胴部80%、底部100%残存。 No.7
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後下面を指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	灰褐色	残存高5.3	接合部80%、脚台部30%残存。No.2
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後丁寧な指ナデ。脚台部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黒色	底径8.1 残存高7.5	胴下部30%、脚台部50%残存。No.4
胴上部範ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径(13.8) 残存高2.2	口縁部・胴上部10%残存。
接合部に色調の違う粘土を貼付。上面範ナデ、下面ナデ。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径9.6 残存高6.9	接合部100%、脚台部90%残存。

口縁部・頸部範ナデの後横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	茶褐色	口径21.3 残存高23.0	口縁部50%、頸部・胴部40%残存。 No.3, 4
胴部下半粗いハケ目調整。	A+B+C+D+F+粗砂粒	茶褐色	底径7.8 残存高11.4	胴部下半40%、底部90%残存。No.2
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	底径2.4 胴部最大径6.8 残存高5.7	胴部・底部100%残存。

器種	番号	形 熊 の 特 徴	外 面 の 観 察
碗	5	口縁部短く内擣気味に開く。	口縁部弱い横ナデ。体部ナデ、下端のみ箇削り。底部ナデ。
杯	6	上げ底を呈す。	口縁部細かいハケ目調整。体部・底部ナデ。
高 杯	7	口縁部外反する。杯部に粘土接合による稜をもつ。	口縁部横ナデか。摩滅が著しい。
S字甕	8	段部は、しっかりしている。口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。

182号住居跡出土土器（第194図）

壺	1	口縁部外反する。胴部中央に最大径をもつ。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部箇削りの後ナデ。底部箇削り。
高 杯	2	口縁部2段に外反する。口縁端部が立ち上がる。	口縁部上段横ナデ、下段ナデ。杯下部ナデ。赤彩か。
高 杯	3	杯部の段は不明瞭。	口縁部上半横ナデ、下半ナデ。杯下部・柱状部ナデ。
高 杯	4		柱状部箇削りの後ナデ。
高 杯	5	脚部に3孔を有す。	不明。
甕	6	口縁部短く外反する。上げ底を呈す。	口縁部指頭による押えの後横ナデ。胴部粗いナデ。底部箇削り。胴部に黒斑。
S字甕	7	段部はしっかりしている。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目調整。

183号住居跡出土土器（第196・197図）

壺	1	口縁部に段をもち短く開く。	口縁部横ナデ。頸部ハケ目整形の後ナデ。
甕	2	口縁部外反する。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部・体部上半横ナデ。下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径13.4 底径(4.9) 器高 6.5	口縁部・体部50%、 底部40%残存。
口縁部・体部細かいハケ目調整。底部やや目の粗いハケ目調整。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径11.5 底径 5.6 器高 5.6	ほぼ完形。
口縁部ハケ目整形の後横ナデか。杯底部ナデ。小さいホゾをもつ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径19.4 残存高 6.9	杯部100%残存。 No.1
胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径(14.8) 残存高 3.2	口縁部20%残存。

胴部上半箇ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径20.3 底径 7.0 胴部最大径30.0	口縁部80%、胴部50%、底部70%残存。 No.4
口縁部上段横ナデ、下段ナデ。杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径22.0 残存高 8.4	口縁部・杯底部30%残存。
口縁部下半・杯底部ナデ。柱状部上半指ナデの後絞り、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(20.7) 残存高15.6	杯部30%、柱状部100%残存。No.3、5
柱状部指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高 7.6	柱状部40%残存。
脚部上端ハケ目整形の後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高 4.6	脚部50%残存。
胴部粗いナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径21.5 底径 7.2 胴部最大径24.2 器高29.3	口縁部・胴部・底部90%残存。No.2
胴上部指ナデ様の押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径14.3 残存高 4.7	口縁部20%、胴上部30%残存。

頭部ハケ目整形の後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	口径(18.1) 残存高 5.6	口縁部10%残存。
	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	口径(17.3) 残存高 4.6	口縁部20%残存。

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
甕	3	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ。
甕	4	上げ底を呈す。	胴部下半箒削りの後ナデ。底部箒削り
小型甕	5	平底を呈す。	胴下部ハケ目調整。底部ナデ。
甕	6	底部が突出する。	底部周辺指頭による押え。
甕	7		胴下部箒削り。
甕	8		胴下部箒削りの後ナデ。
甕	9	口縁部短く外反する。	口縁部指頭による押えの後胴部上端とともに横ナデ。胴部ナデ。
S字甕	10	段部が弱く、口縁部が外方向に強く聞く。	口縁部横ナデ。頸部・胴部上端ハケ目調整。
台付甕	11		脚台部ハケ目調整。
台付甕	12	脚台部内面に折り返しをもたない。	脚台部ハケ目整形の後ナデ。
台付甕	13	脚台部内面に折り返しをもたない。	脚台部ナデ。
培	14	口縁部内灣氣味に聞く。底部の作り難。	口縁部横ナデ。胴部・底部ナデ。胴部に黒斑。
培	15	口縁部内灣氣味に聞く。底部は小さく、上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半箒削り。底部ナデ。
培	16	口縁部外反氣味に聞く。平底を呈すが作りが難。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部・底部箒削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胸上部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	口径(24.8) 残存高14.3	口縁部20%、胸上部 40%残存。No.13
胸部下半ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	赤褐色	底径 6.4 残存高16.2	胸部下半50%、底部 100%残存。3番の 要と同一個体と思わ れる。No.12,13
胸下部・底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径 5.2 残存高 2.4	胸下部40%、底部100 %残存。No.8
底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色 (黒色)	底径 (7.0) 残存高 3.5	底部30%残存。
胸下部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	淡褐色 (黒色)	底径 (9.4) 残存高 3.1	胸下部20%、底部10 %残存。
胸下部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	底径 (6.7) 残存高 4.1	底部20%残存。
胸部上端指頭による押え。	A+B+C+D+小球	赤褐色	口径(23.0) 残存高10.7	口縁部30%、胸部20 %残存。No.16
胸部上端ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(14.0) 残存高 2.8	口縁部10%残存。
接合部上面ナデ、下面・脚台部指ナ デ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	残存高 5.2	接合部 100%、脚台 部70%残存。No.7
脚台部ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 (7.7) 残存高 4.1	脚台部20%残存。
脚台部窓ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径(10.5) 残存高 5.2	脚台部30%残存。
口縁部窓ナデの後横ナデ。胸部上半ナ デ、下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 8.4 胸部最大径 7.6 器高 8.6	ほぼ完形。No.4
胸部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径 (9.0) 底径 1.0 胸部最大径 7.5 器高 8.3	口縁部30%、胸部・ 底部100%残存。 No.11
口縁部窓ナデの後横ナデ。胸部粗いナ デ。	A+B+C+D+細砂粒	灰褐色	口径 8.6 器高 8.5	口縁部50%、胸部・ 底部100%残存。 No.19

器種	番号	形 無 の 特 微	外 面 の 観 察
壺	17	平底を呈す。	胴部上半ナデ、下半窓削り。底部窓削り。
壺	18	底部の作り難。	胴部ナデ。底部窓削り。
杯	19	平底を呈す。	口縁部・体部上半ナデ。体部下半・底部窓削り。
鉢	20	口縁部で内屈する。	口縁部・体部ナデ。
高 杯	21	口縁部外反気味に開く。杯部の段は不明瞭。	口縁部上端近くを横ナデ、以下はナデ。杯下部ナデ、その後杯部全体を暗文状の窓磨き。柱状部ナデの後、暗文状の窓磨き。
高 杯	22	口縁部外反する。杯部の段は不明瞭。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。柱状部ナデ。
高 杯	23	口縁部外反気味に開く。杯部に段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部上半ナデ、下半窓削り。
高 杯	24	杯部の段が弱い。	口縁部横ナデか。杯下部ナデ。
高 杯	25	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	26	裾部水平に開く。	柱状部窓削りの後ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	27	裾部水平に開く。	柱状部ナデ、裾部横ナデの後粗い暗文状の窓磨き。
高 杯	28		柱状部窓磨き。
高 杯	29		柱状部ハケ目整形の後ナデ。

184 号住居跡出土土器（第199～202図）

壹	1	複合口縁を呈すが、亂れている。	口縁部横ナデ。頸部ナデ。
---	---	-----------------	--------------

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胸部指ナデ。	A+B++C+D 細砂粒	褐色	底径 3.7 残存高 5.1	胸部50%、底部100%残存。No.10
胸部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	茶褐色	底径 4.1 胸部最大径 8.0 残存高 4.9	胸部・底部100%残存。No.5
口縁部・体部ナデ、底部指ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	茶褐色	口径(10.4) 底径 (6.2) 器高 5.1	口縁部・体部・底部 20%残存。
口縁部・体部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	褐色	口径(18.1) 残存高 6.3	口縁部20%、体部10%残存。
口縁部上端近くを横ナデ、以下は笠ナデの後、杯底部とともにナデ。更に、暗文状の笠磨き。柱状部上端絞り目を残す。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	口径19.5 残存高 8.4	杯部100%残存。 No.17
口縁部下端に笠ナデの跡を残す。杯底部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	褐色	口径19.6 残存高 9.5	口縁部50%、杯下部 100%残存。No.6
口縁部笠ナデの後横ナデ。杯底部笠ナデの後ナデ。	A+B+C+D+ F+細砂粒	褐色	口径19.2 残存高 6.5	口縁部90%、杯下部 100%残存。No.9
口縁部下端に笠ナデの跡を残す。杯底部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	残存高 4.4	杯底部100%残存。 No.1
柱状部絞り目を残す。上端のみ笠削り。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	底径(14.8) 残存高 9.5	柱状部90%、裾部30%残存。No.17
柱状部上半指ナデの後絞り。下半指頭による押え。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	底径(14.7) 残存高 9.8	柱状部100%、裾部30%残存。No.10
柱状部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	底径(16.6) 残存高 7.3	柱状部30%、裾部20%残存。No.15
柱状部指ナデの後絞り、その後下半をナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	残存高 7.5	柱状部60%残存。
柱状部上端指ナデ、以下は指頭による押え。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	残存高 5.2	柱状部30%残存。 No.2

頸部ナデ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	口径16.9 残存高 6.5	口縁部80%残存。
-------	-----------------	-----	-------------------	-----------

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
壺	2	突出した平底を呈す。	胴部部分的に箒削り跡を残す。器面が著しく剥落して不明。
壺	3	平底を呈すと考えられる。	胴下部粗いハケ目調整。底部箒削り。
壺	4	上げ底を呈す。	胴部下端・底部箒削り。
壺	5	平底を呈す。	胴部下端・底部箒削り。
壺	6	平底を呈す。	胴下部箒削りの後ナデ。底部箒削り。
甌	7	上げ底を呈す。	胴下部箒削りの後ナデ。底部箒削り。
合付甌	8		胴下部箒削り。
瓶	9	底部に1孔を有す。	胴部下半箒削り。
瓶	10	底部に5孔を有すものか。	胴下部ナデ。底部周辺箒削り。
壠	11	口縁部内側気味に聞く。丸底を呈す。	口縁部箒削りの後ナデ。胴部箒削りの後ナデ。
壠	12	口縁部外反する。平底を呈す。口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部横ナデ。胴部中央のみ箒削り。底部箒削り。
壠	13	口縁部外反する。平底を呈す。胴部最大径が口径より大きい。	口縁部横ナデ。胴部下端のみ箒削り。他は丁寧なナデ。底部箒削り。口縁部から胴部にかけて黒斑。
壠	14	口縁部外反気味に聞く。平底を呈す。最大径を胴部にもつ。	口縁部横ナデ。胴部・底部ナデ。
壠	15	口縁部外反する。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。底部箒削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	茶褐色	底径 6.4 胴部最大径20.9 残存高21.3	胴部80%、底部100%残存。№7
胴下部・底部ナデ。	A+B+C+D+粗砂粒	灰褐色 (褐色)	底径(11.0) 残存高 4.1	底部30%残存。
底部窓削り。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	底径 (7.3) 残存高 2.3	底部50%残存。
底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	底径 9.6 残存高 3.0	底部90%残存。№21
胴下部ナデ。底部窓ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径10.7 残存高15.6	胴下部50%、底部100%残存。№10
胴部下半粗いナデ。	A+B+C+D	褐色	底径 7.2 残存高11.3	胴部下半40%、底部90%残存。
胴下部窓削り。接合部はソケット状を呈す。	A+B+C+D+粗砂粒	橙褐色	残存高 6.2	胴下部80%残存。 №26
底部窓ナデ。孔端部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	底径 (4.6) 残存高 3.9	底部40%残存。
孔端部窓削り。胴下部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径 (9.0) 残存高 5.4	底部20%残存。
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+F	黄褐色	口径(12.8) 器高 5.5	口縁部20%、胴部30%残存。
胴部ナデ。底部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径 7.6 底径 3.2 胴部最大径 5.6 器高 6.4	完形。№16
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径 8.4 底径 3.1 胴部最大径 8.7 器高 9.3	口縁部80%、胴部・底部100%残存。 №1
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径 8.4 底径 4.2 胴部最大径 8.6	完形。№8
胴部指ナデ	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径 8.4 底径 4.2 胴部最大径 7.8	口縁部20%、胴部・底部100%残存。 №6

器種	番号	形 種 の 特 徴	外 面 の 観 察
壺	16	口縁部外反気味に開く。平底を呈す。作りは雜。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部窓削りの後ナデ。底部ナデ。
小型壺	17	口縁部外反気味に開く。平底を呈す。作りは雜。	口縁部横ナデか。胴部窓削りの後ナデ。底部窓削り。
椀	18	口縁部短く外方向へ開く。	口縁部横ナデ。体部ナデ。
高 杯	19	口縁部短く外反気味に開く。脚部「ハ」字状に開く。	口縁部・体部上端横ナデ。体部ナデ。脚部ナデ。脚端部近くのみ横ナデ。体部に黒斑。
椀	20	口縁部短く外方向へ開く。上げ底を呈す。底部にドナツ状の粘土を貼付したものか。	口縁部・体部上半横ナデ。体部下半・底部ナデ。
椀	21	口縁部短く外反する。窓削りによって底部を粗く作りだす。	口縁部・体部上端横ナデ。体部ナデ。底部窓削り。
手 捺	22	丸底を呈す。	口縁部・体部ナデ。
高 杯	25	口縁部外反気味に開く。杯部に弱い段をもつ。標部水平に開く。	口縁部横ナデ。杯下部・柱状部ハケ目整形の後横ナデ。
高 杯	26	杯部に段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部ハケ目整形の後ナデ。柱状部不明。
高 杯	27	口縁部外反するが、端部近くで内屈。杯部に段をもつ。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯下部ナデ、その後杯部全体に暗文状の窓磨き。
高 杯	28	口縁部外反するが、端部近くで僅かに内屈。	口縁部粗いハケ目整形の後横ナデ。杯下部・柱状部ハケ目整形の後ナデ。口縁部と杯下部・柱状部の工具が違う。
高 杯	29	口径に比べ杯部が浅い。杯部に段をもつ。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。その後暗文状の窓磨き。杯底部ハケ目整形の後ナデ。口縁部に黒斑。
高 杯	30	口縁部外反する。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯下部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部ナデ。底部粗い指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(8.7) 底径 5.2 胴部最大径 9.3 器高 8.8	口縁部20%、胴部・底部100%残存。 No.19
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(9.4) 底径 5.2 胴部最大径11.5 器高13.9	口縁部30%、胴部・底部100%残存。 No.13
体部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(10.2) 残存高 5.7	口縁部・体部20%残存。
体部ナデ。脚部ナデ。接合部中央に空洞がある。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口底10.0 底径11.2 器高15.8	口縁部70%、体部100%、脚部70%残存。 No.2
体部下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色	口径(12.2) 底径 6.6 器高 5.6	口縁部30%、体部60%、底部100%残存。 No.3
口縁部・体部横ナデ。底部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	口径13.1 器高 5.9	口縁部90%、体部・底部100%残存。No.23
口縁部・体部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径 5.1 器高 2.6	80%残存。No.9
杯底部ナデ。柱状部絞り目や指頭による押えの後の跡をナデ消す。裾部窓ナデの後横ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径19.2 底径14.9 器高16.5	口縁部60%、杯底部・柱状部100%、裾部20%残存。No.20
杯底部ナデ。柱状部箇削り。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径18.1 残存高13.0	口縁部80%、杯下部・柱状部100%残存。 No.17
口縁部上半横ナデ、下半ナデ、その後暗文状の窓磨き。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径18.7 残存高 7.2	口縁部80%、杯下部100%残存。No.11
口縁部上半横ナデ下半ナデ、杯底部ナデ。柱状部上端指ナデの後絞り。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径19.8 残存高 8.8	口縁部・杯下部70%残存。No.24
口縁部横ナデ。杯底部ナデの後暗文状の窓磨き。ホゾをもつ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径18.5 残存高 5.8	杯部100%残存。 No.15
口縁部横ナデ。杯底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径17.2 残存高 5.9	口縁部90%、杯下部80%残存。No.25

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
高 杯	31	口縁部外反する。杯部に段をもつ。	口縁部上半横ナデ、下半ナデ。杯下部ナデ。
高 杯	32	口縁部内灣気味に開く。	口縁部横ナデ。
高 杯	33	杯部に段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部窪削りの後ナデ。
高 杯	34		口縁部横ナデ。
高 杯	35	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデか。
高 杯	36		柱状部窪磨き。
高 杯	37		柱状部ハケ目整形の後ナデ。
高 杯	38		柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	39		裾部横ナデ。

185 号住居跡出土土器（第 204 図）

壺	1	二重口縁を呈す。	口縁部上段と下段の境目に窪状工具により刻目を入れる。口縁部下段ハケ目整形の後ナデ。頸部窪削り。
壺	2	複合口縁を呈す。	口縁部指ナデ。頸部窪磨き。
壺	3	平底を呈す。	胴上部ナデ、中央部・下部窪削り。底部ナデ。
壺	4	口径に比べ器高が浅い。	口縁部横ナデ。胴部窪削り。
壺	5	上げ底を呈す。	不明。摩滅が著しい。
鉢	6	口縁部内湾する。	不明。摩滅が著しい。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
杯底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径19.8 残存高 7.7	口縁部90%、杯下部 100%残存。No.12
	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径(20.5) 残存高 5.6	口縁部20%残存。
杯底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径15.8 残存高 4.5	口縁部50%、杯下部 100%残存。No.11, 14
	A+B+C+D+F+細砂粒	褐色	口径19.0 残存高 4.1	口縁部30%残存。
柱状部指頭による押え。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径15.8 残存高 5.7	裾部 100% 残存。 28番の高杯と同一個体。No.5
	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	残存高10.0	柱状部80%残存。 No.24
柱状部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	残存高10.2	柱状部 100% 残存。 No.22
柱状部指ナデの後絞り、その後範削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	底径(13.0) 残存高 7.2	柱状部20%、裾部40%残存。
	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径(15.7) 残存高 2.3	裾部20%残存。

口縁部・頸部ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	残存高 6.0	口縁部・頸部40%残存。
口縁部・頸部ハケ目整形の後範磨き。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(15.6) 残存高 4.2	口縁部・頸部10%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径 (4.5) 残存高 5.8	胴部・底部40%残存。
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径(15.0) 残存高 4.3	口縁部・胴部20%残存。
底部ナデ。	A+B+C+D+F+粗砂粒	黄褐色	底径 8.2 残存高 2.9	底部 100% 残存。 No.86
不明。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(15.8) 残存高 3.5	口縁部10%残存。

器種	番号	形態の特徴	外観の観察
S字甕	7	段部は、しっかりとししている。口縁部外反する。脚台部内面に折り返しをもつ。	口縁部横ナデ。胴部クシ目調整。脚台部クシ目調整痕を鋸齒状に残すが、乱れている。
S字甕	8	段部は弱く、口縁部は外方向へ開く。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後クシ目調整。
S字甕	9	段部が著しく形状化。	口縁部横ナデ。
S字甕	10	脚台部内面に折り返しをもつ。	鋸齒状にハケ目調整痕を残すが、乱れている。
S字甕	11		鋸齒状にハケ目調整痕を残す。
台付甕	12		胴部下端・脚台部上端笠削りの後ナデ。
器台	13		器受部・脚部ナデ。

187 号住居跡出土土器（第206～219図）

壺	1	複合口縁を呈す。胴部はほぼ球形を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部丁寧なナデ。胴下部に位置する接合部は、笠削りの後ナデ。胴部に黒斑。
壺	2	複合口縁を呈す。	口縁部は、下端を指頭による押えの後横ナデ。胴上部笠削りの後丁寧なナデ。
壺	3	複合口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頸部ナデ。
壺	4	複合口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頸部ナデ。
壺	5	複合口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頸部ナデ。
壺	6	口縁部外反気味に開く。	口縁部横ナデ。口縁部上端近くに粘土接合痕を残す。胴部上半ハケ目整形の後笠削り。その後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胸部ナデ。脚台部ナデ。折り返し指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色 (黒色)	口径(14.9) 底径 9.4 胸部最大径22.8 器高28.4	口縁部10%、胸部60%、脚台部100%残存。No 1
胸部ナデ。接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径12.8 胸部最大径16.4 残存高17.5	口縁部70%、胸部60%残存。
	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径17.8 残存高 2.2	口縁部70%残存。
脚台部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	底径(10.0) 残存高 3.8	脚台部20%残存。
接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付した後、下面を指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	残存高 3.0	接合部100%残存。
接合部上面窓ナデ。下面粘土を貼付した後指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 2.2	接合部100%残存。
器受部・脚部指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	残存高 3.7	器受部・脚部20%残存。

胸部窓ナデの後ナデか。粘土接合痕を多く残す。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径18.7 胸部最大径28.2 残存高30.2	口縁部・頸部100%、胸部70%残存。No 68
頸部ナデ。胴上部ナデ。外面の窓削りの為、穴があき、それを内側から粘土を貼付してふさいでいる。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径18.4 残存高 8.0	口縁部・頸部70%，胴上部10%残存。No 62, 63
頸部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径 8.6 残存高 5.7	口縁部・頸部70%残存。No 155
頸部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径21.6 残存高 5.5	口縁部20%，頸部10%残存。No 3
頸部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径11.9 残存高 6.5	口縁部・頸部30%残存。
胸部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径18.8 残存高15.8	口縁部90%，胸部上半40%残存。No 69

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
壺	7	複合口縁を呈す。強く外反する。	口縁部粗いハケ目整形の後横ナデ。頭部・胴部上半粗いハケ目整形の後ナデ。
壺	8	二重口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頭部ナデ。
壺	9	二重口縁を呈す。	口縁部横ナデ。
壺	10	複合口縁を呈す。胴部はほぼ球形で平底をもつ。	口縁部横ナデ。頭部ナデ。胴部は粗い範磨きをするが、上端と下端はナデ、下端には指頭による押えの跡を残す。底部範削り。
壺	11	二重口縁を呈す。口縁端部弱い凹面を呈す。	口縁部横ナデ。頭部ナデ。胴部範削りの後ナデ。
壺	12	二重口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頭部ナデ。胴上部丁寧なナデ。
壺	13	二重口縁を呈す。	口縁部横ナデ。頭部ナデ。胴上部範削りの後ナデ。
壺	14	口縁部に粘土紐を貼付し二重口縁の形状をなす。	口縁部横ナデ。頭部ハケ目整形の後ナデ。
壺	15	頸部に凸帯が廻るが、乱れている。	口縁部横ナデ。
壺	16	口縁部外反する。口縁端部弱い凹面を呈す。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデ。特に胴部上半は丁寧にナデを行なう。
壺	17	口縁部内灣気味に開き、胴部は下膨れを呈す。底部は突出した平底である。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ハケ目整形の後ナデ、下部範削りの後ナデ。底部範削り。
壺	18	口縁部強く外反する。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデ。
甕	19	胴部最大径を中央より上にもつ。上げ底を呈す。	胴部ハケ目調整。底部ナデ。胴中央部から下部にかけて黒斑。
甕	20	口縁部直線的に開く。	口縁部横ナデ。胴部範削りの後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部粗いハケ目整形の後横ナデ。頭部窓削り。胴部上半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(10.8) 残存高14.0	口縁部・胴部上半40%残存。No.26, 32
頭部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(18.0) 残存高 5.3	口縁部20%残存。
	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(17.1) 残存高 5.2	口縁部30%残存。 No.67
頭部ナデ。胴部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径19.7 底径 7.8 胴部最大径29.6 器高33.8	口縁部・頭部80%、 胴部70%、底部100% 残存。No.74, 97, 108, 121, 129
頭部窓削りの後ナデ。胴部窓ナデの後粗いナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	口径22.7 残存高21.2	口縁部・頭部100%、胴 上部70%残存。No.23
頭部ナデ。胴上部指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径21.4 残存高10.7	口縁部50%、胴上部 70%残存。No.53, 113, 131
頭部ナデ。胴上部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(20.2) 残存高10.4	口縁部・頭部10%、胴 上部20%残存。No.62
頭部窓ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(19.8) 残存高6.6	口縁部10%残存。
	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(16.2) 残存高 4.4	口縁部10%残存。 No.122
胴部ナデ、中央部のみ部分的に窓削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径17.2 残存高22.0	口縁部70%、胴部30% 残存。No.63, 81
胴上部・中央部丁寧なナデ、下部ハケ目整形の後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径20.9 底径 6.8 胴部最大径25.3 器高23.1	口縁部80%、胴部50%、 底部60%残存。 No.32, 36
胴部粗い指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径14.8 残存高20.3	口縁部50%、胴部40% 残存。No.114, 130
胴部ハケ目調整。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	底径 5.9 胴部最大径20.6 残存高21.0	胴部80%、底部100% 残存。No.10, 36, 59
胴部ナデ、下部のみ部分的に窓削り。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径18.0 胴部最大径22.4 残存高21.4	口縁部80%、胴部70% 残存。No.40

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
甕	21	口縁部外反する。胴部中央に最大径をもつ。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ハケ目調整、下部ナデ。
甕	22	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。部分的に笠削り跡をそのまま残す。底部笠削り。
甕	23	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。平底を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。底部ナデ。
壺	24	口縁部直線的に開く。口縁端部弱い凹面を呈す。底部は突出し、弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。底部笠削りの後ナデか。
壺	25		胴部笠削りの後ナデ。胴部上半は特に丁寧にナデを行なう。
壺	26	口縁部外反気味に開く。底部は弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。底部笠削り。
甕	27	頸部で強く「く」字状に屈曲し、口縁部は外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部丁寧なナデ。
甕	28	頸部で強く「く」状に屈曲し、口縁部は外反気味に開く。	口縁部横ナデ。胴上部笠削りの後ナデ。
壺	29		胴下部笠削りの後ナデ。
甕	30	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。
甕	31	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。
甕	32	口縁部直線的に開く。端部は、弱い凹面を呈す。	口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデ。
甕	33	口縁部内凹気味に開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径19.1 胴部最大径26.0 残存高26.3	口縁部90%、胴部70%残存。No.45
胴上部・中央部箒ナデ、下部・底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径18.6 底径 5.6 胴部最大径26.6 器高28.4	口縁部60%、胴部50%、底部100%残存。No.158, 159
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径17.0 底径 5.8 胴部最大径24.5 器高27.0	口縁部・胴部・底部70%残存。No.130
頭部箒ナデの後横ナデ。胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径(19.1) 底径 8.3 胴部最大径30.6 器高36.8	口縁部40%、胴部70%、底部100%残存。No.136
胴部箒ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	残存高17.6	胴部30%残存。No.137
胴部ナデ。底部箒ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	口径(17.6) 底径 5.0 器高22.5	口縁部20%、胴部30%、底部90%残存。No.21, 85
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径(18.6) 残存高12.1	口縁部10%、胴上部20%残存。No.85
胴上部箒削りの後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径16.3 残存高 5.8	口縁部90%、胴上部30%残存。No.62, II, 115
胴下部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	残存高16.8	胴下部60%残存。No.60
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径18.0 残存高16.5	口縁部70%、胴部60%残存。No.115, 124
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径17.8 胴部最大径22.5 残存高16.5	口縁部90%、胴部60%残存。No.62
胴部箒ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(19.0) 残存高13.1	口縁部・胴上部30%残存。No.27, 32
胴部箒ナデ、上端のみ指頭による押え。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径16.8 胴部最大径22.4 残存高20.4	口縁部90%、胴部70%残存。No.150, 156, 158

器種	番号	形態の特徴	外 面 の 観 察
甕	34	頸部で強く「く」字状に屈曲し、口縁部は外反する。	口縁部横ナデ。胴上部窓削りの後ナデ、上端は丁寧にナデ。
甕	35	頸部で強く「く」字状に屈曲する。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ。
甕	36	口縁部外反する。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴上部ハケ目調整。
甕	37	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴上部窓削りの後ナデか。
甕	38	口縁部直線的に開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部窓削りの後ナデ。特に胴部上半は丁寧にナデを行なう。
甕	39	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部不明。
甕	40	口縁部外反する。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部窓削りの後ナデ。
甕	41	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部上半窓削りの後ナデ、下半窓削り。
甕	42	口縁部直線的に短く開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半窓削りの後ナデ。胴部にスス付着。
甕	43		胴部窓削りの後ナデ。
瓶	44	口縁部の外反は弱い。	口縁部横ナデ。胴部窓削りの後ナデ。
小型甕	45	口縁部外反する。底部は弱い上げ底と思われる。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削り。底部窓削り。
小型甕	46	口縁部短く外反する。胴部は下彫れを呈し、上げ底をもつ。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部ハケ目整形の後下半を窓削りその後ナデ。底ナデ。
小型甕	47	口縁部外反する。頸部に粘土接合痕を残す。	口縁部横ナデ。胴部不明。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴上部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(18.6) 残存高10.6	口縁部・胴上部10% 残存。No27, 32, 40, 70
胴上部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	口径(17.8) 残存高 5.1	口縁部20%残存。 No55
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴上部 ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色 (橙褐色)	口径(18.2) 残存高 5.7	口縁部・胴上部20% 残存。No113
胴上部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(17.0) 残存高 5.3	口縁部20%残存。
胴部上半ナデ、下半箄ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	口径16.5 残存高17.2	口縁部70%、胴部40% 残存。No131
胴上部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(15.5) 残存高11.6	口縁部・胴上部30% 残存。No88
胴部粗いナデ、部分的に指頭による押え。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径20.2 胴部最大径26.5 残存高20.0	口縁部50%、胴部70% 残存。No41
胴上部指ナデ、中央部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色 (赤褐色)	口径(17.5) 残存高17.2	口縁部40%、胴部20% 残存。No 4
胴部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色 (灰褐色)	口径(25.0) 残存高14.5	口縁部30%、胴上部 40%残存。No6, 121
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	残存高16.5	胴部20%残存。No81
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色 (赤褐色)	口径(27.6) 残存高17.0	口縁部・胴部10%残存。
胴部上半ナデ、下半箄ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(15.6) 底径(6.0) 胴部最大径17.1 器高18.2	口縁部80%、胴部50% 、底部40%残存。 No14
胴部上半ナデ、下半箄削りの後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径(14.4) 底径 5.5 胴部最大径15.6 器高13.7	口縁部20%、胴部60%、 底部30%残存。 No11, 92
胴上部ナデ・中央部箄ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径(13.7) 残存高10.0	口縁部・胴部20%残存。 No130, 133

器種	番号	形 細 の 特 微	外 面 の 観 察
壺	48		胴下部範削り。
壺	49	平底を呈す。	胴下部・底部範削りの後ナデ。
壺	50	底部突出する。	胴下部範削り後ナデ。底部範削りの後ナデ。
甕	51	上げ底を呈す。	胴下部ナデ。底部周辺範削り。底部ナデ。
甕	52	上げ底を呈す。	胴部下端ハケ目整形の後ナデ。底部範削りの後ナデ。
壺	53	底部突出する。	胴部下端範削り。
小型壺	54	口縁部内湾気味に開く。最大径を胴部中央にもつ。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半範削り。底部ナデ。口縁部から胴部中央にかけて黒斑。
小型壺	55	圓球形の胴部をもつ。底部は小さく、上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ハケ目整形の後ナデ、下半範削りの後ナデ。底部ナデ。胴中央部に黒斑。
小型壺	56	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。底部中央のみ小さく窪む。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半範削りの後ナデ。底部ナデ。
小型壺	57	作りが雑で歪みが著しい。	口縁部横ナデ。胴上部範削りの後ナデ。
小型壺	58	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。
小型壺	59	底部中央のみ小さく窪む。	胴部範削りの後ナデ。底部範削りの後ナデ。
小型壺	60	平底を呈す。	胴中央部ナデ、下半範削り。胴中央部に黒斑。
小型壺	61		胴部上半丁寧なナデ、下半範削りの後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴下部笠削り。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径(6.7) 残存高 8.3	胴下部・底部30%残存。 No58, 59, 62, 63
胴下部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 6.6 残存高 6.4	胴下部30%、底部100%残存。 No76
胴下部・底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径 8.9 残存高 4.0	胴下部20%、底部80%残存。 No51
胴下部ナデ。底部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	底径 3.2 残存高 7.2	胴下部40%、底部100%残存。 No114, 130
底部ハケ目調整。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 6.8 残存高 2.4	底部100%残存。
底部笠削り。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	底径 5.0 残存高 1.8	底部 100% 残存。
胴部上半ナデ、下半笠ナデ、上端のみ指頭による押え。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径10.1 底径 4.8 胴部最大径12.8 器高14.2	口縁部70%、胴部90%、底部100%残存。 No53
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径11.6 底径 3.8 胴部最大径16.0 器高14.2	口縁部80%、胴部90%、底部100%残存。 No33
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径12.3 底径 5.1 胴部最大径13.5 器高13.5	口縁部30%、胴部70%、底部100%残存。 No24
口縁部笠ナデの後横ナデ。胴上部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径12.3 残存高 8.1	口縁部 100%、胴上部70%残存。 No 5
	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径(14.3) 残存高 5.3	口縁部20%残存。 No103
胴部上半ナデ、部分的に指頭による押え。下半笠ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径 3.6 胴部最大径24.0 残存高10.8	胴部60%、底部100%残存。 No103, 105
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 5.0 残存高 8.5	胴部30%、底部80%残存。 No145
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 8.4	胴部30%残存。 No90

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
小型壺	62		胴部下半窓削り。
培	63	口径が胴部最大径が、ほぼ等しい。弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部窓削りの後ナデ、下部窓削り。底部ナデ。
培	64	口径が胴部最大径を凌ぐ。弱い上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削り。底部ナデ。
培	65	口縁部内灣気味に開く。丸底を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部窓削りの後ナデ。底部窓削りの後ナデ。
培	66	口縁部内灣気味に開き、端部近くで立ち上がる。胴部はソロバン玉状を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半丁寧なナデ、下半窓削りの後ナデ。
培	67	口径が胴部最大径より僅かに大きい。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。胴中央部に黒斑。
培	68	口縁部外反する。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。頭部にハケ目整形痕を残す。胴部上半窓削りの後ナデ、下半窓削り。底部ナデ。
培	69	口縁部内灣気味に開く。口径が胴部最大径より大きい。上げ底を呈す。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削り。底部ナデ。
培	70	口縁部直線的に開く。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削りの後ナデ。
培	71	口縁部直線的に開く。胴部球形を呈す。底部は弱い上げ底。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部・下部窓削りの後ナデ。底部ナデ。
培	72	胴部球形を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半窓削り。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胸部下半箇割り。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 8.8	胸部50%残存。No52, 70
胸中央部指頭による押えの後ナデ、下部指ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径(10.1) 底径 2.2 胸部最大径 9.8 器高10.5	口縁部10%、胸部・底部100%残存。 No13
胸部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	口径(10.5) 底径 2.0 胸部最大径 8.9 器高 9.7	口縁部40%、胸部・底部100%残存。 No31, 46, 70
胸部ナデ。底部箇ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 (9.9) 胸部最大径 9.2 器高 9.9	口縁部30%、胸部100%残存。No82
胸部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径 9.8 胸部最大径 8.4 器高 9.9	口縁部・胸部90%残存。No141, 148, 149
胸部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 9.8 胸部最大径 9.1 器高 9.3	口縁部90%、胸部100%残存。No99, 101
胸部指ナデ、上端のみ指頭による押え。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径 9.3 底径 2.6 胸部最大径 8.1 器高 8.8	口縁部60%、胸部・底部100%残存。 No116
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。胸部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径 8.6 底径 2.5 胸部最大径 7.6 器高 8.5	口縁部80%、胸部・底部100%残存。 No148
胸部丁寧なナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 9.3 胸部最大径 8.6 器高 9.3	口縁部・胸部90%残存。No109, 111
胸上部指頭による押え、以下はナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 (9.0) 底径 1.8 胸部最大径 8.8 器高10.2	口縁部40%、胸部・底部100%残存。 No165
胸部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径 (8.0) 胸部最大径 8.5 器高 9.4	口縁部10%、胸部100%残存。No160, 163

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
培	73	口縁部外反気味に開く。胴部最大径を中央より上にもつ。上げ底を呈す。	口部縁横ナデ。胴上部ナデ、中央部・下部範削りの後ナデ。底部ナデ。
培	74	口縁部内湾気味に開く。胴部最大径が口径より大きい。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部範削り。底部ナデ。胴上部に黒斑。
培	75	口縁部内湾気味に開く。口径が胴部最大径を凌ぐ。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部・中央部ナデ、下部範削り。
培	76	口縁部内湾気味に開く。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ナデ、下半範削り。
培	77		口縁部横ナデ。
培	78	胴部中央に最大径をもつ。上げ底を呈す。	胴上部・中央部ナデ、下部範削り。底部ナデ。
培	79		胴部範削りの後ナデ。胴中央部に黒斑。
培	80	上げ底を呈す。	胴部ナデ、下端のみ範削りの後ナデ。底部ナデ。
培	81	胴部は球形を呈すと思われる。	胴部上半ナデ、下半範削りの後ナデ。
培	82	胴部球形を呈す。	胴部上半ナデ、下半範削り。
培	83	平底を呈す。	胴上部ナデ、中央部・下部範削り。底部範削りの後ナデ。
培	84	突出した平底を呈す。	胴部ナデ。底部範削り。
培	85	丸底を呈す。	胴部下半範削りの後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	口径 9.3 底径 3.9 胸部最大径 8.1 器高 8.0	口縁部70%、胴部80%、底部100%残存。 №100
胴上部指頭による押え、中央部・下部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	口径 7.9 底径 3.9 胸部最大径 8.6 器高 8.2	完形。№17
胴部上半指頭による押え、下半ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径 8.6 底径 2.5 胸部最大径 7.1 器高 8.1	口縁部90%、胴部80%、底部100%残存。 №89, 91
胴上部ナデ、中央部・下部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径 (8.2) 胸部最大径 8.1 器高 7.0	口縁部10%、胴部70%残存。№19
	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径 9.9 残存高 3.4	口縁部90%残存。 №71
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径 3.4 胸部最大径 10.9 残存高 7.1	胴部60%、底部100%残存。№25
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	残存高 5.9	胴部60%残存。№91
胴部上半ナデ、下半窓ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	褐色	底径 4.8 残存高 6.2	胴部30%、底部90%残存。№65
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	胸部最大径 9.3 残存高 6.7	胴部40%残存。№15, 16
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	胸部最大径 8.2 残存高 6.5	胴部100%残存。№93
胴部下半指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	淡褐色	底径 2.0 残存高 4.2	胴部50%、底部100%残存。№15
胴部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	底径 3.0 残存高 4.5	胴部60%、底部100%残存。№78
胴部下半ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	残存高 4.2	胴部40%残存。№64

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
壺	86	小さな平底を呈す。	胴部下端窓削り。底部ナデ。
碗	87	口縁部外反する。	口縁部・体部上端ハケ目整形の後ナデ。体部上半ハケ目整形の後ナデ、下半窓削りの後ナデ。
碗	88	口縁部強く外折。平底を呈す。	口縁部横ナデ。体部上部・中央部窓削りの後ナデ、下部窓削り。体部に黒斑。
碗	89	口縁部外反する。底部は僅かに突出し、平底を呈す。	口縁部指頭による押えの後横ナデ。体部窓削りの後ナデ。底部窓削り。
碗	90	口縁部内彎気味に開く。最大径を口径にもち、丸底を呈す。	口縁部・体部上端横ナデ。体部窓削り。
杯	91	口縁部外反する。平底を呈す。口縁部の歪み著しい。	口縁部横ナデ。体部ナデ。体部下端・底部窓削り。
碗	92	平底を呈す。口縁部を欠く。	体部窓削りの後ナデ。底部窓削り。
壺	93	底部は小さく、弱い上げ底を呈す。	胴部窓削り。底部ナデ。
手 捏	94	口縁部を欠く。平底を呈す。	胴部・底部ナデ。
鉢	95	口縁部内彎する。平底を呈す。	口縁部・体部丁寧なナデ。底部窓削りの後ナデ。
手 捏	96	口縁部はほぼ直行する。頸部に粘土接合痕を残す。弱い上げ底を呈す。	口縁部指頭による押え。体部指ナデ。底部ナデ。
高 杯	99	口縁部外反し、杯部の段は小さい。柱状部から裾部へゆるやかに移行して開く。	口縁部上半横ナデ、以下はナデ。杯下部窓削りの後ナデ。柱状部窓磨き。裾部横ナデの後窓磨き。
高 杯	100	口縁部中程に弱い段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部窓削りの後ナデ。柱状部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴下部窓ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黄褐色	底径 1.8 残存高 5.5	胴部40%、底部100%残存。No126
体部上半ナデ、下半粗いナデ。	A+B+C+D+細砂粒	茶褐色	口径12.5 残存高 7.5	口縁部50%、胴部30%残存。No127
体部上半窓ナデ、下半ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径14.1 底径 3.4 器高 7.2	口縁部80%、体部90%、底部100%残存。No58
体部上半ナデ。下半窓削り。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	口径11.0 底径 5.6 器高 7.5	口縁部・体部90%、底部100%残存。No142, 144
体部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径11.2 胴部最大径10.8 器高 8.4	口縁部70%、体部80%残存。No173
体部ナデ。底部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	口径12.2 底径 5.4 器高 6.1	口縁部・体部90%、底部100%残存。No80, 96
体部窓削りの後ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	橙褐色	底径 5.2 残存高 4.8	底部100%残存。
胴部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	赤褐色	底径 1.4 残存高 2.7	胴部30%、底部100%残存。No68
胴部指ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黃褐色	底径 2.3 残存高 3.5	胴部40%、底部100%残存。No73
口縁部・体部ナデ。	A+B+C+D+細砂粒	黃褐色	口径12.4 底径 5.9 体部最大径15.1 器高11.0	口縁部50%、体部90%、底部100%残存。No7
口縁部ナデ。体部指ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	黃褐色	口径 5.6 底径 3.8 器高 7.0	口縁部70%、胴部90%、底部100%残存。No169
口縁部上半横ナデ、下半ナデ。杯底部ナデの後暗文状の窓磨き。柱状部上端指ナデの後剥り、以下はナデ。振部横ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	口径18.0 底径13.8 器高15.5	口縁部・杯下部90%、柱状部100%、振部70%残存。No101, 147, 151, 152
杯底部ナデ。柱状部窓削り。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	口径(19.2) 残存高18.3	杯部40%、柱状部90%残存。No1, 13

器種	番号	形態の特徴	外面の観察
高杯	101	柱状部から裾部にゆるやかに移行して開く。	杯下部窓削りの後ナデ。柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	102	柱状部から裾部へ強く屈曲して開く。	杯下部窓削りの後ナデ。柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	103	杯部に段をもつが小さく、不明瞭。	口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯下部ハケ目整形の後ナデ。
高杯	104	口縁部内側気味に開く。杯部に小さい段をもつ。	口縁部上端近くを横ナデ。杯下部ナデ。
高杯	105	口縁部内側気味に開く。杯部に小さい段をもつ。	口縁部ナデ。杯下部ナデ。
高杯	106	口縁部内側気味に開く。杯部の段は弱い。	口縁部上端近くを横ナデ。杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	107	口縁部直線的に開く。杯部の段は弱いが、粘土の接合痕を残す。	口縁部ハケ目整形の後横ナデか。杯下部ナデ。
高杯	108	口縁部内側気味に開く。杯部に小さい段をもつ。	口縁部横ナデ。杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	109	口縁部外反気味に開く。口縁部と杯下部の境目に粘土接合痕を残す。	口縁部上半横ナデ。杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	110	窓削りによって弱い段を作りだす。	口縁部窓削りの後上半を横ナデ、下半をナデ。杯下部窓削りか。
高杯	111	杯部に段をもつ。	杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	112	杯部に小さい段をもつ。	杯下部・柱状部窓削りの後ナデ。
高杯	113	杯部に小さい段をもつ。	杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	114		杯下部ハケ目整形の後ナデ。
高杯	115		杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	116	作りが雑。	杯下部粗い指ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
杯底部笠磨き。柱状部指頭による抑え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	底径(14.7) 残存高12.1	杯下部40%、柱状部100%、裾部30%残存。№39
杯下部笠ナデ。柱状部指頭による抑えの後ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径15.6 残存高17.5	杯下部・柱状部・裾部40%残存。
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。杯底部ハケ目整形の後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径(16.2) 残存高 4.5	口縁部20%、杯下部30%残存。№8
	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(17.2) 残存高 4.6	口縁部20%残存。
口縁部内面荒れる。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(20.5) 残存高 6.0	口縁部30%残存。 №146
	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(22.4) 残存高 4.9	口縁部20%残存。
器面が剥落して、荒れている。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	口径(20.0) 残存高 4.9	口縁部20%、杯下部30%残存。
杯底部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(18.8) 残存高 4.8	口縁部20%、杯下部30%残存。№62
杯底部笠ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色 (黒色)	口径(19.0) 残存高 6.5	杯下部 100% 残存。 №97
器面が剥落して荒れている。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径(21.5) 残存高 5.9	口縁部30%残存。
杯底部器面が剥落して荒れている。ホゾをもつ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色 (灰褐色)	残存高 3.9	杯下部50%残存。 №98
杯底部器面が剥落して荒れている。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高 4.6	杯下部40%残存。 №49
杯底部ナデ。柱状部上端絞り目。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高 5.2	杯下部70%残存。 №97, 101
杯底部ナデ。ホゾは杯底部から充填したものと思われる。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高 2.4	杯下部 100% 残存。 №164
杯底部器面が剥落して荒れている。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高 4.0	杯下部 100% 残存。 №96
口縁部下端笠ナデ。杯底部ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	残存高 4.1	杯下部 100% 残存。 №167

器種	番号	形態の特徴	外 面 の 観 察
高 杯	117		杯下部ナデ。柱状部ナデ。
高 杯	118		杯下部範削りの後ナデ。
高 杯	119		口縁部・杯下部範削り。
高 杯	120		杯下部範削り。柱状部範磨き。
高 杯	121		杯下部範削りの後ナデ。柱状部ハケ目整形の後ナデ。
高 杯	122	口縁部と杯下部の境目に粘土接合痕を残す。	据部横ナデ。他は器面が摩滅して不明。
高 杯	123	据部で屈曲して、水平に開く。	柱状部範磨き。据部横ナデの後範磨き。
高 杯	124		柱状部範磨き。据部横ナデの後範磨き。
高 杯	125		柱状部範磨きか。
高 杯	126		柱状部粗い範磨き。
高 杯	127		柱状部範磨きか。
高 杯	128	柱状部から据部への屈曲はゆるやか。	柱状部粗い範磨き。据部は、端部近くを横ナデの後粗い範磨き。
高 杯	129		柱状部範磨きか。器面が剥落して荒れている。
高 杯	130		杯下部範削り。柱状部ナデ。柱状部から据部にかけて、沈線を暗文状に入れる。
高 杯	131		柱状部ハケ目整形の後ナデ。据部横ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
杯底部ナデ。柱状部窓削り。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 8.9	杯下部30%、柱状部40%残存。No.172
杯底部ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 2.4	杯下部10%残存。No.13
杯底部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	残存高 5.2	口縁部10%、杯下部30%残存。No.9, 10
杯底部窓磨き。柱状部上半指ナデ、下半窓削りの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高12.1	杯下部40%、柱状部80%残存。No.119
杯底部ナデ。柱状部窓削り。裾部横ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	残存高12.0	杯下部30%、柱状部100%残存。No.36, 94, 106
柱状部上半指ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高16.5	口縁部30%、杯下部80%、柱状部100%、裾部20%残存。No.48
柱状部上半絞り目を残す。下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径13.7 残存高10.4	柱状部100%、裾部20%残存。No.12
柱状部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高10.3	柱状部100%残存。No.9
柱状部窓削り。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高10.2	柱状部100%残存。
柱状部粗いナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	褐色	残存高10.0	柱状部100%残存。No.168
柱状部上端指ナデの後絞り、以下はナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	残存高 8.9	柱状部100%残存。No.87
柱状部上端ナデ、以下を窓削りする。裾部上端を窓ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径14.0 残存高 8.4	柱状部100%、裾部50%残存。No.43, 98
柱状部指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高 8.1	柱状部80%残存。No.110
柱状部上半指ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高11.2	杯下部60%、柱状部50%残存。No.47, 97
柱状部指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高10.2	柱状部100%残存。No.61

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
高 杯	132		柱下部ハケ目整形の後笠削り、その後ナデ。柱状部ナデ。据部に墨斑。
高 杯	133		柱状部上端笠削りの後ナデ。柱状部ハケ目整形の後ナデ。
高 杯	134		柱状部ハケ目整形の後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	135		柱状部目の細かいハケ目整形の後ナデ。
高 杯	136		柱状部ハケ目整形の後ナデ。
高 杯	137		柱状部粗いハケ目整形の後ナデ。
高 杯	138	据部水平に開く。	柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	139		柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	140		柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	141	柱状部から据部へ強く屈曲して開く。	柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	142	柱状部から据部への移行はゆるやかで、据部の開きが弱い。	柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	143		柱状部笠削りの後ナデ。
高 杯	144	エンタシス状の柱状部をもつ。	柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	145		柱状部笠削りの後ナデ。据部横ナデ。
高 杯	146		柱状部笠削りの後ナデ。
高 杯	147	据部二段に開く。据部の端部は上段。下段とも立ち上がる。	据部下段横ナデか。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
杯底部ハケ目整形の後ナデ。柱状部上半指頭による押え、下半指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	残存高10.8	柱状部100%残存。 Na125
柱状部上半指ナデの後ナデ、下半指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高10.3	柱状部60%残存。 Na112
柱状部指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	残存高11.1	柱状部100%残存。 Na162
柱状部上半指ナデの後絞り、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	残存高8.7	柱状部100%残存。 Na161
柱状部上半指ナデ、下半ナデ。接合部上端指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	残存高7.7	柱状部100%残存。 Na101
柱状部上半指ナデの後絞り、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	残存高8.3	柱状部100%残存。 Na75
柱状部上端に絞り目を残すが、以下は範削り。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色 (黒色)	底径(15.4) 残存高13.2	柱状部100%、据部30%残存。 Na26, 30, 32
柱状部上半指頭による押え、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高10.8	柱状部100%残存。 Na85
柱状部上端絞り目残す。以下はナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	残存高11.4	柱状部100%残存。 Na39
柱状部上半指ナデ、下半指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	底径(16.2) 残存高12.2	柱状部100%、据部20%残存。 Na120
柱状部上半指ナデ、下半指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	灰褐色	底径11.1 残存高10.0	柱状部100%、据部60%残存。 Na166
柱状部指ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	残存高5.7	柱状部40%残存。 Na61
柱状部上半絞り目を残す。下半指頭による押え。据部上端範ナデの後横ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	底径12.2 残存高10.3	柱状部100%、据部70%残存。 Na163
柱状部指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	残存高10.3	柱状部100%残存。 Na22
柱状部ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高7.1	柱状部100%残存。
	A + B + C + D + F + 細砂粒	黄褐色	底径(24.3) 残存高2.8	据部下段30%残存。

器種	番号	形態の特徴	外観の観察
高杯	148	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	149	裾部二段に開き、端部は上段。下段とも立ち上がる。	柱状部ナデ。裾部上段ナデ、下段横ナデ。
高杯	150	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	151		柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	152		柱状部ナデ。
高杯	153	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	154	柱状部上端から下端にかけて開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	155		柱状部ナデ。
高杯	156	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	157	柱状部から裾部へ強く屈曲して開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	158	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	159		柱状部ナデ。
高杯	160		杯下部ナデ。柱状部ナデ。
高杯	161		柱状部ナデ。
高杯	162		柱状部ナデ。
高杯	163		柱状部ナデ。裾部横ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
柱状部箝削りの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径(14.8) 残存高13.2	柱状部100%、裾部 30%残存。No34, 85
柱状部箝削りの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	底径17.2 残存高12.0	柱状部100%、裾部 80%残存。No37
柱状部箝削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	底径(14.0) 残存高7.4	柱状部60%，裾部20% 残存。No16
柱状部箝削り。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高12.4	柱状部100%残存。 No123
柱状部箝削りの後上半を箝先によるナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高12.0	柱状部100%残存。 No61
柱状部丁寧なナデの後続り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	底径13.6 残存高10.2	柱状部100%，裾部 40%残存。No29
柱状部上半指ナデの後続り、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	底径(13.6) 残存高10.3	柱状部100%，裾部 40%残存。No11, 167
柱状部上半指ナデの後続り、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	残存高9.9	柱状部100%残存。 No118
柱状部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	底径(16.9) 残存高10.5	柱状部100%，裾部 20%残存。No20, 51
柱状部箝削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色 (黒色)	底径(13.1) 残存高10.0	柱状部100%，裾部40% 残存。No48, 49, 63
柱状部上半指ナデの後続り、下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	底径13.8 残存高10.9	柱状部100%，裾部50% 残存。No29, 35
柱状部上半指ナデの後続り、下半指頭による押え。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高10.4	柱状部90%残存。 No94
杯底部ナデ。柱状部下半を指頭による押えの後、全体を指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高11.5	杯下部10%，柱状部 70%残存。No57
柱状部上端指ナデの後続り、以下は指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	残存高10.6	柱状部100%残存。 No54
柱状部上端に絞り目を残すが、以下は箝削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	残存高7.9	柱状部100%残存。 No171
柱状部上半指ナデの後続り。下半ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	橙褐色	残存高8.0	柱状部100%，裾部 20%残存。

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
高 杯	164		柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	165		杯下部範削りの後ナデ。柱状部ナデ。
高 杯	166		柱状部不明。摩滅著しい。
高 杯	167		柱状部ナデ。
高 杯	168		柱状部ナデ。
高 杯	169		柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	170	裾部水平に開く。	柱状部ナデ。
高 杯	171		柱状部・裾部不明。器面が剥落して荒れている。
高 杯	172		柱状部ナデ。
高 杯	173		柱状部範削りの後ナデ。
高 杯	174		柱状部範削りの後ナデ。

188 号住居跡出土土器（第221～225図）

小型壺	1	最大径を胴部中央より下にもち、肩部が張る。口縁部は、内鷲気味に開く。	口縁部横ナデ。胴部上半丁寧なナデ、下半範削りの後ナデ。底部範削りの後ナデか。
小型壺	2	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。
壠	3	口縁部直線的に開く。口径が胴部最大径を凌ぐ。	口縁部横ナデ。胴部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
柱状部上端に紋り目を残すが、以下はナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高10.7	柱状部70%残存。 No.102
杯底部ナデ。柱状部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 9.2	柱状部 100 % 残存。 No.38
柱状部上半箝削り、下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高 9.7	柱状部 100 % 残存。
柱状部上半指ナデの後紋り、下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 9.8	柱状部 100 % 残存。 No.129, 130
柱状部上半指ナデの後紋り、下半ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	茶褐色	残存高 9.2	柱状部 100 % 残存。 No.46
柱状部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	橙褐色	残存高10.4	柱状部 100 %、裾部 10%残存。No.135
柱状部指頭による押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	黄褐色	残存高10.5	柱状部 100 % 残存。 No.140
柱状部指ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	底径13.2 残存高 7.2	柱状部40%、裾部60% 残存。No.153
柱状部指頭による押え。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 9.2	柱状部 100 % 残存。 No.170
柱状部上半指ナデの後紋り、下半指頭による押えの後ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 6.6	柱状部 100 % 残存。 No.79
柱状部指ナデの後紋り。	A+B+C+D+F+細砂粒	赤褐色	残存高 3.9	柱状部30%残存。 No.128

胴部上端指頭による押え。胴部粗い箝ナデ。	A+B+C+D+F+粗砂粒	赤褐色	口径14.9 底径(6.8) 胴部最大径15.8 器高16.8	口縁部・胴部70%、 底部40%残存。No.29, 32
胴部ナデ。	A+B+C+D+F+細砂粒	淡褐色	口径(13.0) 残存高 6.6	口縁部20%、胴上部 10%残存。No.13
胴部ナデ。	A+B+C+D	橙褐色	口径(9.8) 胴部最大径 9.3 残存高 6.8	口縁部50%、胴部上 半30%残存。No.17

器種	番号	形 態 の 特 徴	外 面 の 観 察
小型壺	4	口縁部外反する。口径と胴部最大径が、ほぼ等しい。丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部ナデ、中央部笠削り。胴下部は摩滅が著しく不明。
壺	5	丸底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半ナデ、下半笠削り。
壺	6	丸底を呈す。	胴部下半笠削り。
鉢	7	口縁部は、体部からゆるやかに屈曲して開く。底部は、笠削りによって作りだす。	口縁部横ナデ。頭部指頭による押え。体部笠削りの後ナデ。底部笠削り。体部から底部にかけて黒斑。
小型壺	8	頸部に粘土接合痕を残す。	口縁部指頭による押え。胴上部ナデ。
瓶	9	複合口縁を呈す。底部は突出し、中央に1孔を有す。	口縁部指頭による押え。胴部・底部ナデ。
壺	10	複合口縁を呈す。端部は、弱い凹面を呈す。	口縁部横ナデ。頭部ハケ目整形の後横位のナデ。
小型壺	11		口縁部横ナデ。胴部笠削りの後ナデか。火を受けている。
小型壺	12	口縁部外反気味に開く。最大径を胴部中央にもつ。平底か。	口縁部笠磨き。胴部笠削りの後笠磨き。底部笠削り。
甕	13	口縁部外反する。胴部中央に最大径をもち、胴部球形を呈す。上げ底を呈す。	口縁部・胴部上端横ナデ・胴上部・中央部ハケ目整形の後ナデ、下部笠削りの後ナデ。底部笠削りの後ナデ。胴部中央に黒斑。
甕	14	口縁部外反する。最大径を胴部中央にもつ。底部笠削りによって粗く作りだす。	口縁部・胴部上端横ナデ。胴部上半ハケ目整形の後ナデ、下半笠削り。底部笠削り。
甕	15	口縁部外反する。胴部中央に最大径をもち、胴部中央が強く張る。上げ底を呈す。	口縁部横ナデ。胴部上半笠削りの後ナデ、下半笠磨り。底部笠削りの後ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
胴上部指頭による押え。以下は笠ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径(10.9) 胴部最大径10.8 器高 9.2	口縁部30%、胴部100%残存。No.22, 25
胴部上半ナデ、下半指ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	淡褐色	胴部最大径 9.2 残存高 7.5	胴部70%残存。No.44
胴部ナデ。底部笠ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 4.6	胴部30%残存。No.44
体部上半笠ナデ、下半笠削り。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	口径(12.4) 底径 4.6 器高 8.2	口縁部30%、胴部40%残存。No.9
口縁部・胴上部笠ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(12.0) 残存高 4.8	口縁部10%、胴上部20%残存。No.8
胴部笠ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	口径(17.7) 底径 5.5 器高 8.8	口縁部30%、胴部40%残存。No.40
頸部ハケ目整形の後横位のナデ。	A + B + C + D + E	淡褐色	口径16.5 残存高 4.7	口縁部90%、頸部100%残存。
胴部粗い笠ナデ。粘土接合痕を残す。	A + B + C	赤褐色	残存高 9.9	口縁部10%、胴部上半30%残存。No.41
口縁部笠磨き。胴部ナデ。	A + B + C + D	淡褐色	口径(14.6) 底径 5.2 胴部最大径17.1 器高18.3	口縁部40%、胴部70%、底部30%残存。No.36
胴部粗い笠ナデ。	A + B + C + 細砂粒	灰褐色	口径16.4 底径 6.4 胴部最大径22.3 器高23.5	口縁部60%、胴部70%残存。No.36, 37, 38
胴部ナデ。部分的に笠削り。胴部に黒色有機物付着。	A + B + C + D + F + 細砂粒	灰褐色	口径(16.6) 底径 7.7 胴部最大径21.2 器高23.3	口縁部30%、胴部60%残存。No.43
胴部上半笠ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	灰褐色	口径17.7 底径 5.0 胴部最大径23.7 器高22.5	口縁部80%、胴部60%残存。No.34

器種	番号	形態の特徴	外因の観察
甕	16	口縁部は頸部で強く屈曲して開く。肩部が張る。	口縁部横ナデ。胴上部窓削りの後ナデ、中央部窓削り。
甕	17	弱い上げ底を呈す。	底部ナデ。
甕	18	口縁部外反する。胴部中央に最大径をもつ。平底を呈す。	口縁部横ナデ。胴上部から中央部にかけてナデ、下部窓削り。底部窓削り。
甕	19	胴部最大径を中央にもつ。平底を呈す。	胴上部窓削りの後ナデ、中央部・下部窓削り。底部窓削り。
甕	20	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴上部ハケ目整形、中央部は、ハケ目整形の後ナデ。
甕	21	口縁部外反する。	口縁部横ナデ。胴部上半窓削りの後ナデ。
台付甕	22	脚台部内面に粘土接合痕を折り返し状に残す。	脚台部粗いナデ。
台付甕	23		脚台部ナデ。
高杯	26	口縁部直線的に開く。杯部に段をもつ。柱状部から裾部へ強く屈曲部で水平に開く。	口縁部横ナデ。柱状部ナデ。柱状部上端・裾部横ナデ。
高杯	27	杯部に弱い段をもつ。杯部と脚部で歪み著しい。	口縁部横ナデ。杯下部ナデ。柱状部ナデ。
高杯	28	窓削りにより杯部に弱い棱を作りだす。口縁部外反する。	口縁部上半横ナデ、下半ハケ目整形の後ナデ。杯下部窓削り。口縁部に黒斑。
高杯	29	杯部に棱をもつ。	口縁部横ナデか。柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	30	口縁部内彎気味に開く。窓削りにより棱を作りだす。	口縁部ハケ目整形の後窓削り、その後上半のみ横ナデ。
高杯	31	口縁部内彎気味に開く。	口縁部横ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
口縁部笠ナデの後横ナデ。胴部粗い笠ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	口径15.7 残存高12.7	口縁部70%、胴部上半60%残存。No.42
底部笠ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径 4.8 残存高 3.0	底部100%残存。No.31
胴部ナデ。下部、部分的に笠削り。	A + B + C + D + 粗砂粒	黄褐色	口径17.2 底径 7.1 胴部最大径25.6 器高28.5	口縁部80%、胴部60%残存。No.26
胴部丁寧な笠ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	底径 6.2 胴部最大径23.8 残存高21.3	胴部70%残存。No.3
胴上部笠ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径(19.6) 残存高 8.2	口縁部20%残存。 No.5
胴部上半笠ナデ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径(17.5) 残存高11.1	口縁部・胴部上半20%残存。No.2
脚台部上半指ナデ、下半ナデ。接合部両面に砂粒を多く含む粘土を貼付。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	底径(10.7) 残存高 6.0	脚台部60%残存。 No.23
脚台部ハケ目調整。	A + B + C + D + 細砂粒	茶褐色	残存高 3.1	脚台部20%残存。 No.20
口縁部ハケ目整形の後横ナデ。柱状部上半指ナデの後絞り、下半指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(21.3) 底径(16.9) 器高19.3	口縁部40%、柱状部90%、底径40%残存。 No.22, 25
杯底部ナデ。柱状部笠削り。	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径(20.4) 残存高11.4	口縁部20%、杯下部30%、柱状部30%残存。 No.4, 34
口縁部上半横ナデ、下半ナデ。杯底部ナデ。ホゾをもつ。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径16.5 残存高 6.5	杯部100%残存。No.1
杯底部ナデ。柱状部上端指ナデの後絞り。以下はナデ。	A + B + C + D + E + 細砂粒	赤褐色	残存高13.5	杯部10%、柱状部100%残存。No.3, 12
器面が剥落して荒れている。	A + B + C + D + 粗砂粒	赤褐色	口径17.5 残存高 6.3	杯部50%残存。No.41
	A + B + C + D + 粗砂粒	黄褐色	口径20.2 残存高 4.3	口縁部30%残存。 No.35

器種	番号	形態の特徴	外面の觀察
高杯	32	杯部に段をもつ。	杯下部窓削りの後ナデ。
高杯	33	口縁部内彎気味に開く。	口縁部上半横ナデ、下半ナデ。
高杯	34	杯部に稜をもつ。	口縁部横ナデか。
高杯	35	杯部に稜をもつ。	口縁部横ナデか。
高杯	36	杯部に明瞭な段をもつ。	口縁部横ナデか。杯下部ナデ。
高杯	37	杯部に明瞭な段をもつ。	杯下部ナデ。
高杯	38	杯部に段をもつ。	杯下部ナデ。
高杯	39		柱状部窓磨き。
高杯	40	柱状部から裾部へ強く屈曲して開く。	柱状部窓磨き。裾部横ナデの後窓磨き。
高杯	41	柱状部から裾部へゆるやかに移行して開く。	柱状部不明。裾部横ナデ。
高杯	42		柱状部ハケ目整形の後ナデ。
高杯	43	裾部水平に開く。	杯下部窓削り。柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高杯	44		柱状部ナデ。
高杯	45	杯部に稜をもつ。	杯下部不明。柱状部窓削りの後ナデ。
高杯	46	二段に開く裾部であるが上段の裾部が鈎状を呈す。	不明。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
杯底部ナデ。	A + B + C + D + F + 細砂粒	茶褐色	残存高 4.2	杯下部30%残存。 No.19
	A + B + C + D + F + 細砂粒	赤褐色	口径18.0 残存高 4.2	口縁部80%残存。 No.18
杯底部器面が剥落して荒れている。ホゾをもつ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 3.4	杯下部30%残存。 No.7
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 3.1	杯下部20%残存。 No.41
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 3.8	口縁部・杯下部20% 残存。
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高 3.5	杯下部80%残存。 No.23
杯底部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 3.4	杯下部30%残存。 No.21
柱状部箇削り。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高 8.1	柱状部80%残存。 No.12
柱状部上端指ナデの後絞り。以下はナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径(13.5) 残存高10.2	柱状部80%、据部50% 残存。No.6
柱状部ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	底径14.2 残存高12.3	柱状部100%、据部50% 残存。No.22
柱状部上半指ナデ、下半指頭による押え。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	残存高10.3	柱状部50%残存。 No.27
杯底部ナデ。柱状部上半指ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	赤褐色	底径(14.0) 残存高11.8	杯下部20%、柱状部 100%，据部30%残存。 No.21
柱状部上半指ナデの後絞り、下半指頭による押えの後ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	黄褐色	残存高10.3	柱状部 100 % 残存。 No.11
杯底部箇ナデ。柱状部上半指ナデ、下半ナデ。	A + B + C + D + 細砂粒	橙褐色	残存高11.4	杯下部 100 %、柱状部 70% 残存。No.18, 31, 32, 40
柱状部箇削り。	A + B + C + D + 細砂粒	淡褐色	残存高 5.4	柱状部40%、据部20% 残存。

器種	番号	形 態 の 特 微	外 面 の 観 察
高 杯	47		柱状部ナデ。裾部横ナデ。
高 杯	48		柱状部笠磨き。
高 杯	49		柱状部不明。
高 杯	50		柱状部笠削り。
高 杯	51		杯下部・柱状部笠削りの後ナデ。 
高 杯	52		杯下部ナデ。
高 杯	53		杯下部ナデ。

内面の観察	胎土	色調	法量	備考
柱状部上半指ナゲの後絞り、下半ナ ゲ。	A+B+C+D+ 細砂粒	淡褐色 (黒色)	底径(10.6) 残存高 8.0	柱状部100%、裾部20% 残存。No39, 40
柱状部上半指ナゲの後絞り、下半ナ ゲ。	A+B+C+D+ 細砂粒	赤褐色	残存高 6.5	柱状部 100% 残存。 No 9
柱状部指ナゲの後絞り。	A+B+C+D+ F+細砂粒	赤褐色	残存高 8.3	柱状部80%残存。 No30
柱状部端削り。	A+B+C+D+ 細砂粒	赤褐色	残存高 8.7	柱状部70%残存。
杯底部ナゲ。柱状部指ナゲ。	A+B+C+D+ 細砂粒	赤褐色	残存高 6.0	杯下部・柱状部30% 残存。No19
杯底部ナゲ。ホゾをもつ。	A+B+C+D+ 細砂粒	赤褐色	残存高 2.3	杯下部60%残存。
杯底部ナゲ。ホゾをもつ。	A+B+C+D+ 細砂粒	橙褐色	残存高 2.3	杯下部30%残存。

3 土 製 品

住居跡	図版 No.	器種	大きさ(cm)	形態の特徴	手法の特徴	色調・焼成	胎土	備考
第72住	第48図-66	五徳状底径(12.3) 土製品中央部	上半と底面の邊を欠損。底面は、円削り。他は、指ナデ良好。	底部の周囲は、範 長径(5.0)形で、一方に粘土 寄せ、梢円柱状底面には、沈線状 現存長 4.7 に中央部へ移行する。	橙褐色	A + C + D + F	72号住覆土。若干火 を受けている。	
第74住	第52図-30	五徳状底径 ? 土製品上部径 4.8 現在長 23.6	下端を欠損。片面に 2 本の縫をも が、表面が焼け難 断面は、不規の円形もしくは菱形を 呈す。形状は、先細りでわずかに弧 状を呈す。	指ナデと思われる 良好。	黄褐色	F	74号住 No. 精選されており、他の粒子 をほとんど含まない。	20.かなり 火を受けて ボロボロにな っている。
第95住	第70図-54	五徳状底径(10.8) 土製品現在長 5.4 の一部	底面の強強を欠損 底面は、円形。梢 円柱状に中央部に 移行する土製品の 一部と思われる。	指ナデ。	橙褐色	A + B + C + D + E	95号住覆土。若干火 を受けている。	
第106住	第77図-10	土製支脚 中央部径(6.4) 上面径(8.1) 長さ 10.3	底面と上面がやや 広がる円筒形。粘 土の緋目と思わ れる箇所で縦に割 れている。	指ナデと思われる が不明瞭。	赤褐色	A + B + C + F	106号住覆土。火をう けている。	
第126住	第85図-11	土製支脚 現存長 5.2	半欠品。底面がわ ざかに広がる円筒 形。中心部に底面 で径 3 cm、破損部 で径 1.6 cm の孔が 貫通する。	粗いナデ。粘土の 接合痕を表面に残 す。孔は、底面から ら範状の工具で時 計廻りに穿たれて いる。	赤褐色	A + C + D + F	126号住覆土。一部、強 く火を受けている。底 面に種子状のスタンプ がある。	
第131住	第94図-29	五徳状底径(10.4) 土製品現存長 11.6	底面の強強を欠損 底面は、円形で、 角柱状の稜をもち ながら、弧状に上 部へ移行する。	丁寧なナデ。	黄褐色	A + E	131号住覆土。さほど 精選されてい る。	強く火を受 けていな い。
第131住	第94図 30-1	五徳状底径 12.9 土製品中央部 長径 8.9 短径 6.7 現存長 8.4	上半部を欠損。底 面は、円形で、一 方に粘土を寄せ、 梢円柱状に中央部 へ移行する。	一部範削りを残す が、ほとんどは、 指ナデ。部分的に 強く指痕が残る。 底面は、ナデ。				131号住覆土。火を受 けている。

住居跡	図版 No.	器種大きさ(cm)	形態の特徴	手法の特徴	色調・焼成	胎土	備考
第131 住	第94図 30-2	底径(11.5) 現在長(4.7)	底面の凹強を欠 損。底面は、円形 で、梢円柱状に中 央部へ移行する土 製品の破片と思わ れる。	指ナデ。底面は、 ナデ。	赤褐色 良好。	A + C + D + F Cが特に多い。	131号住復 土。火を受 けている。
第162 住	第151図-9 五德状 土製品 の一部	現存長 8.8	中央部破片のみ。 円形底面から梢円 柱状に中央部へ移 行する土製品の一 部と思われる。	指ナデ。指痕を明 瞭に残す。	赤褐色 良好。	C + D	162号住 No.3 ほとんど火 を受けてい ない。

4 石 器

住居跡	図版 No.	名 称	大きさ(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 質	形 態 の 特 徴	備 考
第64住	第29図-9	凹み石	22.5 × 6.7	3.8	1350	網雲母片岩	断面が三角形を呈する細長い條。 中央部の2箇所が凹む。周辺部の 加工は、特にみられない。	No.1
第79住	第58図-7	砾 石	26.1 × 8.9	6.4	2285	硬質頁岩	断面が扇形を呈する蒲鉾形の石。 A面及びC面に矢印方向の細かい 擦痕が入る。A面とC面の稜部には、細かい、刻み目状の擦痕が入る。	No.2
第93住	第63図-13	砥 石	(5.1) × 5.2	3.1	120	角閃石安山岩	断面が始形を呈する石。上下面と も横に割れている。A面の一部を わずかに使用。	No.6
第93住	第63図-14	砥 石	15.4 × 9.3	4.9	975	安山岩	断面が長梢円形を呈する扁平な 石。縦に割れている。D面のみ使 用。かなり滑らかな面である。	No.1
第95住	第70図-50	砥 石	9.7 × 5.1	3.7	240	頁 岩	断面が三角形の細長い石。D面の みを使用。使用頻度は著しい。矢 印方向に、細かい擦痕が無数に入 る。	
第95住	第70図-51	磨り石	11.6 × 8.7	4.5	604	安山岩	断面が梢円形を呈する比較的扁平 な石。全面が良く磨られている。	No.7
第136 住	第111図 —56	砥 石	8.3 × 5.7	3.1	177	板灰岩	断面が梢円形を呈する扁平な石。 A・B・C・D面を使用。矢印方 向の擦痕が入る。B面のみ矢印方 向の擦痕の後横方向の擦痕が入 る。	No.4

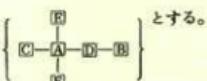
住居跡	図版 No	名 称	大きさ(cm)	厚さ(cm)	重 量(g)	石 質	形 態 の 特 徴	備 考
第140 住	第120図 —11	磨り石	5.7×3.8	3.4	35	輕石	断面が円形を呈する卵形の石。全 面が、良く磨かれている。	No. 1
第152 住	第131図 —63	砥 石	8.1×4.3	3.4	169	安山岩	断面が五角形を呈する細長い石。 下半を欠く。A・B・C・D面と も使用頻度が著しい。特にA面は 8~10mm巾の使用面が5面観察で きる。各面とも矢印方向の擦痕が 入る。	No. 1
第152 住	第131図 —64	砥 石	12.3×5.5	4.2	140	溶岩?	断面が上半は不規形、下半は長方 形を呈する不規形の石。材質が軟 らかく、A・B・C・D面ともに 部分的な使用面が観察できる。擦 痕は、観察できない。	
第158 住	第142図 —31	砥 石	11.5×7.2	4.4	365	砂質頁岩	断面が三角形を呈する細長い疊。 剥離が入った割れ口をもつ。B・ D面に使用痕が観察できる。矢印 方向に細かい擦痕が入る。	No. 1
第158 住	第142図 —32	砥 石	(12.9)×	13.4	5.9	1350 細粒砂岩	断面が長椭円形を呈する扁平な 石。下半及びB面の一部が割れて いる。A・B・D面に使用痕が観 察できる。D面は、特に使用頻度 が著しい。矢印方向に擦痕が入る が、判別しにくい。	No. 2
第162 住	第151図 —10	砥 石	12.6×8.7	6.3	690	板灰岩	断面が眼丸長方形を呈する石。D 面側が欠ける。A・B面に使用痕 が観察できる。矢印方向の擦痕が 観察できるのはA面のみで、A面 の一部及びB面には、巾1~2mm の溝状の使用痕が観察できる。	No. 2
第168 住	第165図 —100	砥 石	10.7×6.6	3.0	176	板灰岩(酸性)	横断面が長方形を呈する扁平な 石。A・B・C・Dの各面とも使 用頻度が著しい。各面とも矢印方 向の擦痕が確認できる。尚、B面 には他の使用痕と直交する方向に 上巾が6~9mm、下巾が約1mmの V字の溝状の使用痕が観察できる	No. 5
第172 住	第170図 —12	砥 石	19.0×8.2	6.1	1190	安山岩	横断面が不規椭円形を呈する細長 い石。A・B面に使用痕が観察で きる。矢印方向に擦痕が観察でき るが、判別しにくい。	No. 1

住居跡	図版 No.	名 称	大きさ(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 質	形 態 の 特 徴	備 考
第172 住	第170図 —13	砥 石	5.4×5.5	3.8	45	輕石	断面が台形状を呈する石。C面に著しい使用痕が観察できる。材質は、軽く、軟らかい。矢印方向の擦痕が観察できる。	柱穴内出土
第177 住	第182図 —76	磨り石	6.6×5.5	4.0	180	角閃石安山岩	縦断面が椭円形を呈する円碌。全面が良く磨られている。	No.7
第179 住	第187図 —41	砥 石	13.9×5.3	4.8	580	安山岩	断面が不規方形を呈する細長い石。A・D面に使用痕が観察できる。矢印方向に擦痕が観察できるが、判別しにくい。A面の一部に蔽いた痕が観察できる。	No.5
第180 住	第189図 —16	砥 石	14.0×8.7	5.1	803	粗粒砂岩	断面が椭円形を呈する円碌。D面の一部分のみを使用している。使用面の巾は、約8mmで、矢印方向に擦痕が観察できる。	No.1
第184 住	第202図 —40	砥 石	24.3×15.9	5.9	3420	角閃石安山岩	B面がわずかに凹み、断面が不規形を呈する扁平で大形の碌。A・B面の数ヶ所で使用痕が観察できる。矢印方向に擦痕が観察できるが、B面中央部は、石墨等として使用された可能性もつよい。	No.5
第184 住	第202図 —41	砥 石	(13.6)×9.9	4.8	821	細粒砂岩	断面が長椭円形を呈する円碌。D面の一部と下半部を欠く。A面のみ使用されている。矢印の方向に擦痕が観察できる。	
第184 住	第202図 —42	砥 石	22.7×11.6	10.8	3490	安山岩	横断面が不規形、縦断面が長椭円形を呈する部厚い大形の碌。A・B・Dの各面で、数ヶ所の使用痕が観察できる。特にA面の3箇所の使用面は、使用頻度が著しく巾1mmほどの溝状の擦痕も観察できる。B面及びD面の使用面は、さほど使用頻度が著しくなく、A面を上面にして、床面に据え、使用していたと思われる。擦痕は、矢印方向に明瞭に観察できる。	
第188 住	第223図 —24	砥 石	10.8×6.8	4.0	403	凝灰岩	横断面が台形を呈する角碌。A面の一部と、B・D面が使用されている。D面は、特に使用頻度が著しく、B面も、良く使われているA面は、巾1mmほどの溝状の擦痕	

住居跡	図版 No.	名 称	大きさ(cm)	厚さ(cm)	重 量(g)	石 質	形 態 の 特 徴	備 考
第188 住	第223図 —25	砥 石	21.2×10.0	2.4	652	細粒砂岩	が数条観察できるのみである。矢印方向の擦痕が明瞭に観察できる	
第188 住	第223図 —54	砥 石	19.8×10.3	3.2	938	細粒砂岩	断面が不規長方形を呈するかなり扁平な硃。A面及びC面の一部が使用されている。C面は、特に良く使用されている。矢印方向に使用痕が観察できるが、判別しにくい。	
							断面が長方形を呈する扁平な硃。A面のみ使用されている。矢印方向に使用痕が観察できる。	

注

○石器の面の名称は、砥石を例にとると



○形態の特徴に於いて特に記っていない場合は横断面をさす。

○計測値は、すべて最大値である。

○()内の数値は現存値を意味する。

5 鉄 器

住居跡	図版 No.	名 称	形 態 の 特 徴	備 考
第51住	第21図—18	刀 子	刃部残欠と考えられる。背部の厚さ約2mm。	覆土中
第95住	第70図—53	鍔	刃長7.2、刃幅11.6cmを測る完形品である。鍔が袋部に進んでいるが、他はほぼ原形を観察できる。鉄板の厚さは6mm程で、刃部に至るに従って薄く仕上げている。折反した袋部は、整で切りっぱなしである。刃物の角度は鍔のため不明。	
第114 住	第81図—14	鍔	柄状着部のみ残存する。背幅2~6mm程の薄手である。小破片のため鍔と限定できるか疑問である。	覆土中
第162 住	第151図—8	斧	基部を欠損する鉄造斧である。鍛造品と異なり鍔の進みで形態が崩れている。基本的には単冊型であるが、刃部でやや広がる。先端刃部の角度は約45°を測る。	残存重量 420g 北壁に接して出土。
第181 住	第191図 —3	鍔	刃部を欠損するが、背は直線的で幅4mmを測る小形品である。	覆土中
第184 住	第200図 —23	鍔	全長17.8cmを測る完形品である。背は直線的で刃幅は広く、刃部研ぎ減りは目立たない。背幅4mm。	床直上
第184 住	第200図 —24	鍔	無基縁の一種で、矢柄木質部を残している。刃部は比較的保存状態良好。他の柄と考えられる鉄片は断面長方形で、前者とは別個体。	

6 その他の遺物

住居跡	図版 No.	名 称	形 索 の 特 徵	備 考
第41住	第15図-7	土 錠	一方がやや砲弾形に突出するが、全体的に球形を呈し、表面研磨なし。石英砂を含み、焼成良好。赤褐色。	重量40g
第51住	第21図-19	紡錘車	軸穴は一方より丁寧に穿がかれ、表面は放射状に沈線が描かれている。一部、整形のための金属器による削り痕がみられる。径4.7厚さ0.9、軸径0.65cm。硬質粘板岩。	重量40g
第51住	第21図-20	白 玉 (上)	算盤玉風に稜線を明瞭に表現し、両側面共に丁寧に研磨している。直径5.7、厚さ3.8、孔内径1.5mm。石質は暗緑色の蛇文岩。	
第51住	第21図-20	白 玉 (下)	稜線を明瞭に表現し、片面のみ研磨しており、一方は打ち欠かれたままの自然面を残す。石質は暗緑色の蛇文岩。直径5.6、厚さ2.1、孔直径1.5mm。	
第152住	第131図 -84	白 玉	稜線を明瞭に表現し、両側面共に丁寧に研磨しているやや大形品である。石質は暗緑色の蛇文岩。直径5.9、厚さ4.3、孔直径1.6mm。	
第152住	第131図 65~83	ガラス 玉	全て、同一原料による色調アズキ色を示し、直径はともかく、厚さ、孔径は不揃いである。	
			(No.) (直径) (厚さ) (孔径) (No.) (直径) (厚さ) (孔径)	
			65 — 4.8 2.9 1.3 75 — 4.0 4.6 1.1	
			66 — 4.4 2.6 1.1 76 — 4.2 3.4 1.5	
			67 — 4.6 3.0 1.2 77 — 4.5 3.4 1.6	
			68 — 4.3 3.8 1.5 78 — 4.2 2.7 2.0	
			69 — 5.1 2.5 2.0 79 — 3.4 3.2 1.1	
			70 — 4.4 3.5 1.3 80 — 3.3 2.8 1.1	
			71 — 4.2 3.8 1.4 81 — 3.2 2.8 1.2	
			72 — 4.3 3.5 1.5 82 — 4.1 3.3 1.5	
			73 — 4.2 4.4 1.4 83 — 3.8 5.2 1.1	
			74 — 3.3 3.0 0.9 (単位: mm)	
第165住	第152図	有孔 円板	両面・側面共に自然面を残すことなく、丁寧に研磨されている秀品である。器肉は厚く一定で、中央円孔が小さく石製模造品としては古い様相を呈している。石質は暗緑色を示す蛇文岩。	
第187住	第214図 -97	劍形品	劍形品の未製品である。柄部は打ち欠いただけの未調整部分を残すが、刃部は側面まで鋭利な鉄器で削られ粗形を整えている。器肉は厚く、かつ刃部に難ながら稜線を残す特徴から、完成品は比較的古手の石製模造品を意図したものかもしれない。石質は硬質網雲母片岩	
第187住	第214図 -98	有孔 円板	有孔円板の未製品である。両面・側面共に縦に打ち欠き、さらに金属器で削っている。裏面が彎曲し抉れしていることより、平滑にした場合厚さを保てず未製品に終ったものとも考えられる。石質は蛇文岩。	

遺物レベル一覧表

(水系レベル = L)

10号住居跡
L = 68.00m

No.	標高
1	67.63
2	67.77
3	67.71
4	67.62
5	67.67
6	67.90
7	67.72
8	67.72
9	67.73
10	67.71
11	67.75
12	67.67
13	67.73
14	67.74
15	67.67
16	67.67
17	67.72
18	67.64
19	67.78
S1	67.61
S2	67.80
S3	67.73

No.	標高
17	67.86
18	67.87
19	67.90
20	67.81
21	67.83
22	67.79
23	67.84
24	67.83
25	67.85
26	67.78

No.	標高
11	67.66
12	67.50

No.	標高
20	67.61
21	67.56
22	67.59
23	67.62
24	67.45
25	67.58
26	67.68
27	67.60
28	67.70
29	67.64
30	67.66
31	67.69
32	67.75
33	67.58
34	67.62
35	67.51
36	67.49
37	67.56
38	67.39
S1	67.58
1	67.30
2	67.41
3	67.33
4	67.61
5	67.50
S1	67.58

No.	標高
19	67.52
20	67.52
21	67.66
22	67.58
23	67.64
24	67.66
25	67.62
26	67.62
27	67.48
28	67.58
29	67.62
30	67.61
31	67.57
32	67.59
33	67.54
34	67.49
35	67.50
36	67.56
37	67.63
38	67.53
39	67.54

No.	標高
S1	67.56
S2	67.56
S3	67.57
S4	67.55

77号住居跡
L = 68.00m

No.	標高
1	67.47
2	67.56
3	67.51
4	67.63
5	67.48
6	67.49
7	67.53
8	67.46
9	67.33
10	67.42
11	67.39
12	67.44
13	67.42
14	67.44
15	67.35
16	67.57
17	67.51
S1	67.46

17号住居跡
L = 68.00m

No.	標高
1	67.88
2	67.78
3	67.80
4	67.81
5	67.82
6	67.81
7	67.81
8	67.80
9	67.80
10	67.80
11	67.82
12	67.82
13	67.85
14	67.85
15	67.80
16	67.79

No.	標高
10	67.56
11	67.57
12	67.41
13	67.62
14	67.48
S1	67.52

No.	標高
1	67.53
2	67.59
3	67.73
4	67.56
5	67.54
6	67.53
7	67.53
8	67.52
9	67.53
10	67.58
11	67.69
12	67.69
13	67.59
14	67.53
15	67.54
16	67.64
17	67.56
18	67.60
19	67.59

No.	標高
1	67.61
2	67.59
3	67.65
4	67.60
5	67.63
6	67.58
7	67.59
8	67.61
9	67.63
10	67.58
11	67.57
12	67.58
13	67.57
14	67.60
15	67.58
16	67.62
17	67.57
18	67.59
19	67.60
20	67.59

No.	標高
1	67.61
2	67.59
3	67.65
4	67.60
5	67.63
6	67.58
7	67.61
8	67.63
9	67.63
10	67.58
11	67.57
12	67.58
13	67.57
14	67.60
15	67.58
16	67.62
17	67.57
18	67.59
19	67.60
20	67.59

No.	標高
S1	67.56
S2	67.49
S3	67.49
S4	67.49

No.	標高
1	67.59
2	67.60
3	67.69
4	67.59
5	67.54
6	67.53
7	67.53
8	67.52
9	67.53
10	67.58
11	67.69
12	67.69
13	67.59
14	67.53
15	67.54
16	67.64
17	67.56
18	67.60
19	67.59
20	67.59

No.	標高
1	67.51
2	67.51
3	67.56
4	67.56
5	67.56
6	67.55
7	67.55
8	67.55
9	67.55
10	67.58
11	67.63
12	67.60
13	67.61
14	67.55
15	67.55
16	67.57
17	67.57
18	67.58
19	67.60
20	67.59

No.	標高
1	67.60
2	67.49
3	67.49
4	67.49
5	67.49
6	67.40
7	67.54
8	67.57
9	67.57
10	67.58
11	67.57
12	67.58
13	67.57
14	67.60
15	67.58
16	67.62
17	67.57
18	67.59
19	67.60
20	67.54

No.	標高
S1	67.46
S2	67.49
S3	67.49
S4	67.51

No.	標高
1	67.60
2	67.49
3	67.49
4	67.49
5	67.49

No	標 高
14	67.52
15	67.50
16	67.53
17	67.52
18	67.53
19	67.53
20	67.49
21	67.50
22	67.47
23	67.46
24	67.50
S1	67.51
S2	67.48
S3	67.52

82号住居跡
L = 68.00 m

No	標 高
1	67.05
2	67.42
3	67.34
4	67.36
5	67.35
6	67.36
7	67.30
8	67.36
9	67.34
10	67.33
11	67.31
12	67.30

93号住居跡
L = 78.00 m

No	標 高
1	67.39
2	67.26
3	67.26
4	67.25
5	67.43
6	67.40
7	67.24
8	67.38
9	67.25
10	67.32
11	67.39

No	標 高
12	67.34
S1	67.25
S2	67.26
S3	67.27
S4	67.38
S5	67.41
S6	67.43
S7	67.25
S8	67.25

95号住居跡
L = 67.70 m

No	標 高
1	67.47
2	67.48
3	67.29
4	67.45
5	67.45
6	67.45
7	67.43
8	67.45
9	67.46
10	67.45
11	67.43
12	67.40
13	67.39
14	67.38
15	67.38
16	67.38
17	67.45
18	67.40
19	67.37
20	67.34
21	67.41
22	67.41
23	67.42
24	67.45
25	67.36
26	67.35
27	67.40
28	67.37
29	67.37
30	67.37
31	67.34
32	67.35
33	67.36

No	標 高
34	67.40
35	67.37
S2	67.26
S3	67.27
S4	67.38
S5	67.41
S6	67.43
S7	67.25
S8	67.25

98号住居跡
床面 67.22 m

No	標 高
1	67.18
2	67.26
3	66.92
4	67.15
5	67.17
6	67.18

100号住居跡
L = 67.70 m

No	標 高
45	67.41
46	67.55
47	67.44
48	67.46
49	67.42
50	67.42
51	66.44
52	67.40
53	67.40
54	67.43
55	67.43
56	67.45
57	67.39
58	67.44
59	66.86
60	67.46
61	67.35
62	67.38
63	67.41
64	67.38
65	67.40
66	67.53
67	67.43
68	67.43
69	67.09

137号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
S1	67.09
S2	67.10
S3	67.19
S4	67.23
S5	67.09

138号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.61
2	67.55
3	67.57
S1	67.60

139号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
44	67.38
45	67.44
46	67.38
47	67.39
S1	67.41
S2	67.40
S3	67.34
S4	67.46
S5	67.42
S6	67.34
S7	67.28
S8	67.42
銀先	67.43

140号住居跡
L = 67.70 m

No	標 高
48	67.44
49	67.39
50	67.43
51	67.41
52	67.43
53	67.43
54	67.36
55	67.37
56	67.44
57	67.44
58	67.39

No	標 高
11	67.47
12	67.43
13	67.46
14	67.41
15	67.42
16	67.44
17	67.45
18	67.40
19	67.43
20	67.44
21	67.44
22	67.41
23	67.43
24	67.44
25	67.45
26	67.44
27	67.53
28	67.43
29	67.42
30	67.40
31	67.36
32	67.41
33	67.52

137号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
38	67.41
39	67.38
40	67.43
41	67.35
42	67.36
43	67.36

138号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
44	67.38
45	67.44
46	67.38
47	67.39
48	67.44

139号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.24
2	67.29
3	67.32
4	67.29
5	67.28
6	67.26
7	67.32

145号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.29
2	67.24
3	67.22
4	67.21
5	67.24
6	67.22
7	67.22
8	67.21
9	67.19
10	67.22
11	67.26
12	67.22
13	67.07
14	67.20
S1	67.21

152号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.27
2	67.28
3	67.30
4	67.33
5	67.30
6	67.29
7	67.33
8	67.29
9	67.32
10	67.29
11	67.31
12	67.33
13	67.29
14	67.26
15	67.30
S1	67.31

153号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.26
2	67.29
3	67.32
4	67.33

No	標 高
26	67.30
27	67.29
28	67.29
29	67.29
30	67.25
31	67.33
32	67.26
33	67.30
34	67.36
35	67.32
36	67.32
37	67.29
38	67.26
39	67.19
40	67.22
41	67.27
42	67.34
43	67.36
44	67.37
45	67.32
46	67.32
47	67.31
48	67.31

154号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.29
2	67.31
3	67.31
S1	67.27
S2	67.26
S3	67.28

157号住居跡
L = 67.80m

No	標 高
1	67.32

158号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.13
2	67.32
3	67.30
4	67.43
5	67.36

No	標 高
S1	67.40
S2	67.23

159号住居跡
床面 = 67.28m

No	標 高
1	67.36
2	67.38
3	67.38
4	67.29
5	67.38
6	67.33
7	67.41
8	67.33
9	67.42
10	67.40
S1	67.25
S2	67.25
S3	67.31

166号住居跡
L = 67.23m

No	標 高
14	67.33
15	67.31
S1	67.31

166号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	66.99
2	66.99
3	67.25
4	67.34
5	67.30
6	67.33
7	67.32
8	67.32
9	67.32
10	67.35
11	67.30
12	67.27
13	67.41
14	67.32
15	67.30
S1	67.31

168号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.30
2	67.18
3	67.16
4	67.16
5	67.18
6	67.22
7	67.16
8	67.17
9	67.34
10	67.17
11	67.21
S1	67.16
S2	67.17
S3	67.24
S4	67.19
S5	67.16

168号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.22
2	67.29
3	67.29
4	67.34
5	67.27
6	67.28
7	67.32
8	67.37
9	67.38
10	67.33
11	67.24
12	67.36

162号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	67.23
2	67.28
燒土塊	67.22
鐵斧	67.29

166号住居跡
床面 = 67.23m

No	標 高
1	66.92
2	67.22
3	67.25
4	67.34
5	67.30
6	67.33
7	67.32
8	67.32
9	67.32
10	67.35
11	67.30
12	67.27
13	67.41
14	67.32
15	67.30
S1	67.31

No	標 高
13	67.16
14	67.22
15	66.76
16	67.29
17	67.33
燒土塊	67.22
鐵斧	67.35

170号住居跡
L = 67.50m

No	標 高
1	66.99
2	66.99
3	67.37
4	67.36
5	67.38
6	67.36
7	67.37
8	67.35
9	67.43
S1	67.32

168号住居跡
L = 68.00m

No	標 高
1	67.42
2	67.55
3	67.45
4	67.44
5	67.40
6	67.42
7	67.45
8	67.44
9	67.46
10	67.47
11	67.48
12	67.48

No	標 高
12	67.42
S1	67.37

176号住居跡
L = 67.70 m

No	標 高
1	67.57
2	67.50
3	67.49
4	66.77
S1	67.48

177号住居跡
L = 68.00 m

No	標 高
1	67.46
2	67.43
3	67.45
4	67.40
5	67.42
6	67.39
7	67.40
8	67.47
9	67.39
10	67.44
11	67.49
12	67.47
13	67.43
14	67.43
15	67.44
16	67.44
17	67.42
18	67.39
19	67.42
20	67.41
21	67.42
22	67.43
23	67.39
24	67.46
25	67.46
26	67.48
27	67.44
28	67.46
29	67.47
30	67.41

No	標 高
31	67.39
32	67.44
33	67.52
34	67.40
35	67.44
36	67.55
37	67.47
38	67.55
39	67.53
40	67.46
41	67.49
S1	67.38

178号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
S1	67.37
S2	67.35
S3	67.38
S4	67.37
S5	67.41
S6	67.33
S7	67.38

180号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.21
2	67.20
3	67.17
4	66.76
5	66.69
6	67.17
7	67.18
8	67.18
9	66.71
10	66.59
S1	67.25
S2	67.07

181号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.06
2	67.04
3	67.15
S1	67.08
S2	67.06
S3	67.04

182号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.31
2	67.24

No	標 高
3	67.31
4	67.05
5	67.34
S1	67.26

183号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.28
2	67.27
3	67.26
4	67.25
5	67.34
6	67.24
7	67.26
8	67.31
9	67.19
10	67.28
11	67.30
12	67.25
13	67.27
14	67.21
15	67.22
16	67.22
17	67.28
18	67.29
19	67.24
S1	67.19

185号住居跡
L = 67.80 m

No	標 高
1	67.23

No	標 高
13	66.96
14	67.08
15	67.12
S1	67.26

187号住居跡
L = 67.50 m

No	標 高
1	67.15
2	67.16
22	67.20
23	67.20
24	67.15
25	67.18
26	67.11
S1	67.06
S2	67.15
S3	67.16
S4	67.14
S5	66.75
S6	67.17
錄上	67.15
下	67.12
(床面)	67.22
錄	67.12

188号住居跡
L = 67.80 m

No	標 高
1	67.23

No	標 高
13	67.15
14	67.11
15	67.15
16	67.19

189号住居跡
L = 67.80 m

No	標 高
45	67.20
46	67.20
47	67.19
48	67.18
49	67.19
50	66.88
51	67.26
52	67.14
53	67.11
54	67.11
55	67.23
56	67.25
57	67.12
58	67.10
59	67.20
60	67.21

No	標 高	No	標 高	No	標 高	No	標 高
61	67.21	109	67.15	157	67.07	13	67.44
62	67.15	110	67.14	158	67.07	14	67.37
63	67.28	111	67.15	156	67.11	15	67.39
64	67.16	112	67.14	160	67.05	16	67.44
65	67.14	113	67.12	161	67.12	17	67.41
66	67.15	114	67.15	162	67.09	18	67.39
67	67.14	115	67.13	163	67.01	19	67.44
68	67.15	116	67.18	164	67.03	20	67.39
69	67.12	117	67.12	165	67.41	21	67.45
70	67.15	118	67.18	166	67.14	22	67.34
71	67.15	119	67.15	167	67.10	23	67.40
72	67.20	120	67.10	168	—	24	67.41
73	67.21	121	67.17	169	67.14	25	67.35
74	67.09	122	67.17	170	67.16	26	67.42
75	67.16	123	67.11	171	67.17	27	67.27
76	67.16	124	67.20	172	66.99	28	67.45
77	67.15	125	66.89	173	67.11	29	67.39
78	67.14	126	66.88	S1	67.07	30	67.47
79	67.09	127	66.88	S2	67.05	31	67.49
80	67.19	128	66.88	S3	67.17	32	67.49
81	67.28	129	67.14	S4	67.12	33	67.36
82	67.20	130	67.12	S5	67.09	34	67.38
83	67.21	131	67.16	S6	67.09	35	67.45
84	67.19	132	67.15	S7	67.15	36	67.39
85	67.19	133	67.19	S8	67.13	37	67.36
86	67.19	134	67.17	S9	67.18	38	67.37
87	67.15	135	67.12	S10	67.13	39	67.38
88	67.28	136	67.10	S11	67.22	40	67.38
89	67.20	137	67.11	S12	66.98	41	67.39
90	67.20	138	67.10	S13	67.09	42	67.47
91	67.11	139	67.23			43	67.36
92	67.20	140	67.06			44	67.40
93	67.20	141	67.07			45	67.43
94	67.20	142	67.12			S1	67.37
95	67.16	143	—			S2	67.37
96	67.18	144	67.11			S3	67.37
97	67.18	145	67.15	No	標 高		
98	67.22	146	67.13	1	67.14		
99	67.22	147	67.17	2	67.39		
100	67.19	148	67.09	3	67.34		
101	67.14	149	67.02	4	67.43		
102	67.21	150	67.11	5	67.43		
103	67.21	151	67.13	6	67.41		
104	67.21	152	67.07	7	67.41		
105	67.23	153	67.10	8	67.35		
106	67.15	154	67.11	9	67.41		
107	67.15	155	67.10	10	67.43		
108	67.20	156	67.11	11	67.39		
				12	67.44		

188住居跡

床面 - 67.26

m

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第15集

関越自動車道関係
埋蔵文化財発掘調査報告 XIII

後 著 本文編1

昭和57年3月20日印刷

昭和57年3月31日発行

発行 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
印刷 株式会社 誠 美 堂 印 刷 所